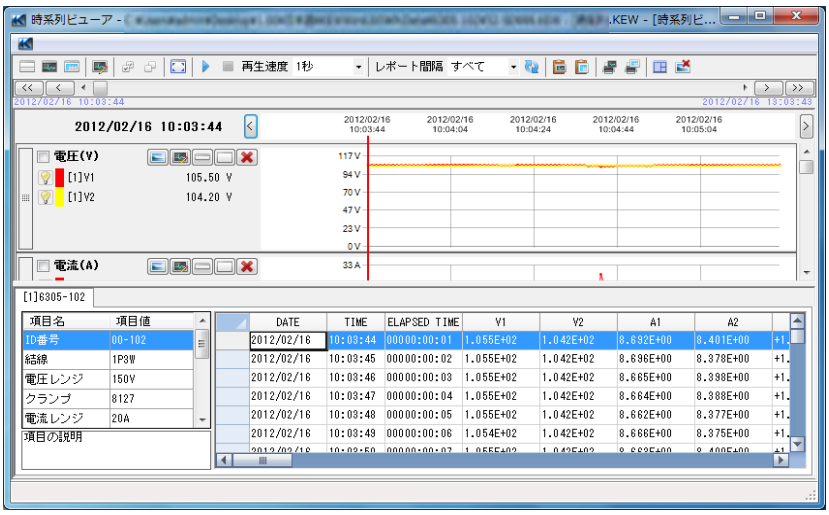
KEW Windows for KEW6305 取扱説明書





目次

1．はじめに

2．使用環境について

3．起動方法
　3－1　KEW Windows for 6305起動方法(KEW6305接続状態)
　3－2　KEW Windows for 6305起動方法(KEW6305未接続状態)

4．データダウンロード
　4－1　内部メモリのダウンロード
　4－2　SDカードのダウンロード

5．データ解析
　5－1　記録データ解析手順
　5－2　データダウンロードからの記録データ解析手順

6．データ解析表示説明
　6－1　グラフの表示項目について
　6－2　リストの表示項目について
　6－3　リスト内の略語について

7．データ解析機能

8．グラフ表示の変更
　8－1　グラフの色変更
　8－2　グラフの日付間隔変更（拡大）
　8－3　グラフの日付間隔変更（縮小）
　8－4　グラフの縦軸メモリ間隔（拡大）
　8－5　グラフの表示
　8－6　グラフの非表示
　8－7　グラフ項目の表示8
　8－8　グラフ項目の非表示

9．本体設定
　9－1　本体設定
　9－2　本体設定保存
　9－3　本体設定ファイル作成
　9－4　本体リセット
　9－5　本体設定ファイル削除

10．本体設定機能説明

11．同期測定
　11－1　同期測定開始
　11－2　同期測定終了
　11－3　2台同期測定開始
　11－4　2台同期測定終了

12．モニタリング
　12－1　モニタリング開始
　12－2　モニタリング終了

13．環境設定
　13－1　本体設定保存先の変更
　13－2　PC取込フォルダの変更
　13－3　表示項目名の変更
　13－4　グラフ名の変更
　13－5　自動再生時のカーソルの停止位置の変更
　13－6　同期測定、モニタリング測定時の更新間隔変更
　13－7　同期測定、モニタリング測定時の表示データ数変更
　13－8　環境設定の保存
　13－9　環境設定の読み込み

14．環境設定項目説明
　14－1　保存タブ
　14－2　グラフ項目タブ
　14－3　グラフ名タブ
　14－4　自動再生タブ
　14－5　リアルタイム測定タブ
　14－6　インポート/エクスポート/初期化

15．印刷
　15－1　グラフ印刷手順
　15－2　リスト印刷手順
　15－3　CSV出力手順
　15－4　レポート印刷手順

16．レポート機能項目説明

17．測定ファイルの取り込み
　17－1　測定ファイルの取り込み手順1
　17－2　測定ファイルの取り込み手順2

18．データ合算
　18－1　個別に測定したデータの合算
　18－2　合算関連付け情報追加ファイル作成
　18－3　PC経由で測定したデータの合算
　18－4　合算データの保存
　18－5　個別測定データ合算の注意点

19．瞬時値測定ファイルについて
　19－1　CSVファイル出力

20．こまったとき

1．はじめに

KEW Windows for KEW6305（以降アプリケーションといいます）はKEW6305専用の
アプリケーションです。アプリケーションでは、KEW6305本体の測定データ解析、
記録データのダウンロード、KEW6305本体の設定、を行うことができます。
アプリケーションの基本機能について説明します。

・本体設定
KEW6305本体の各測定モードでの測定時間設定や、センサー、
電圧レンジ、電流レンジなどの設定が可能
（これらの設定はKEW6305本体でも設定可能）
KEW6305本体で設定した内容を確認することが可能
パソコンで設定した値を本体に送信し、本体の設定を変更することも可能

・ダウンロード
KEW6305内部に保存したデータをパソコンに転送可能
KEW6305外部(SDカード)に保存したデータをパソコンに転送可能

・同期測定
KEW6305をアプリケーションから記録測定開始させ、測定中のデータを
アプリケーションで設定してある更新間隔ごとに受信し、パソコンの画面に
表示させることが可能

・モニタリング
記録測定を行っているKEW6305本体の測定値をアプリケーションで設定してある
更新間隔ごとに受信しパソコンの画面に表示させることが可能
KEW6305本体に直接アクセスすることなくパソコン上で測定データを確認することが可能

・データ表示
KEW6305本体で測定したデータをグラフやリストで表示することが可能
基本的に測定数値の一覧表示と、グラフ表示の２項目
グラフの横軸(時間軸)や縦軸は任意の点で拡大縮小可能

・印刷
グラフやリストを印刷することが可能

・データ合算
個別に測定した2台のデータを合算表示させることが可能
（合算表示する項目は、有効電力、皮相電力、有効電力量、皮相電力量、デマンド）
PCを経由して2台同期測定を行うと、データ解析するときに2つの内どちらか1つ
選択するだけで自動で合算表示することが可能

2. 使用環境について

システム条件について

・CPU：Pentium 4 1.6GHz以上のPentiumプロセッサ

・メモリ： 1Gbyte以上

・対応ＯＳ：WindowsのOSはCDケースのバージョンラベルを参照してください。

・ハードディスク空き容量：1GB以上(.NET Framework再頒分可能パッケージ用の容量も含む)

・CDまたはDVDドライブ：インストールに必要

・ディスプレイ：1,024×768以上の解像度、65536色以上

推奨条件について

・2GHz以上のPentiumプロセッサ

3. 起動方法

ここでは、アプリケーションの起動操作手順を説明します。

3－1 KEW Windows for KEW6305起動方法(KEW6305接続状態)

1. デスクトップのショートカットまたは、スタート→すべてのプログラム→KEW→KEW WindowsV2を選択し、KEW WindowsV2を起動させます。

2. モデルKEW6305の"起動する"を選択します。



″起動する″を選択するとKEW Windows for KEW6305が起動します。

USBまたはBluetoothでKEW6305とPCを接続しているのに、接続状態の欄に″あり″が表示されていない場合は、″再検出する″を選択してください。

再検出を選択しても"あり"が表示されない場合は、"20. こまったとき"を参照ください。

３－２ KEW Windows for KEW6305起動方法(KEW6305未接続状態)

1. デスクトップのショートカットまたは、スタート→すべてのプログラム→KEW→KEW WindowsV2を選択し、KEW WindowsV2を起動させます。



2. モデルKEW6305の"起動する"を選択します。
″起動する″を選択するとKEW Windows for KEW6305が起動します。

4. データダウンロード

ここでは、KEW6305で測定した測定ファイルをパソコンに取り込む操作手順を説明します。

4-1 内部メモリのダウンロード

1. メニュー画面の"記録データをPCへ保存する"を選択します。
   メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
   ″メニューを開く″を選択すると表示されます。

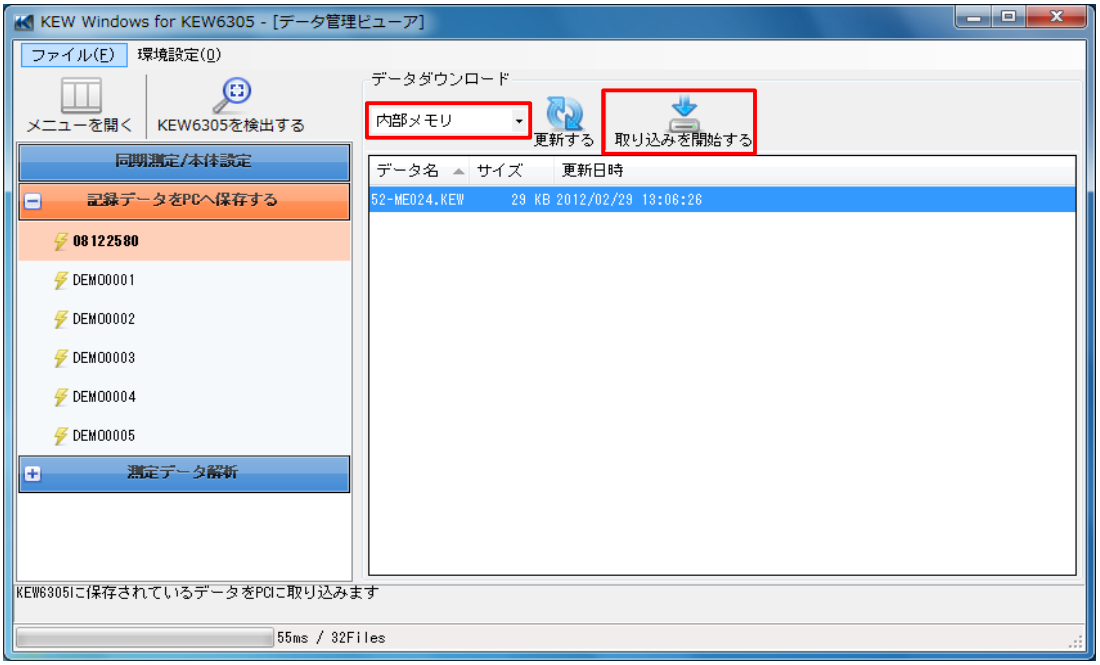


2. ナビゲータの″記録データをPCへ保存する″の下に表示されているシリアル番号を
   選択します。
   シリアル番号はPCと接続しているKEW6305本体の裏に記載されています。

3. ダウンロード基を選択します。(内部メモリ)

4. ダウンロードしたいファイルを選択します。

5. ″取り込みを開始する″を選択するとダウンロードを開始します。



データダウンロード画面が閉じるとダウンロード完了です。

4-2 SDカードのダウンロード

1. メニュー画面の"記録データをPCへ保存する"を選択します。
   メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
   ″メニューを開く″を選択すると表示されます。

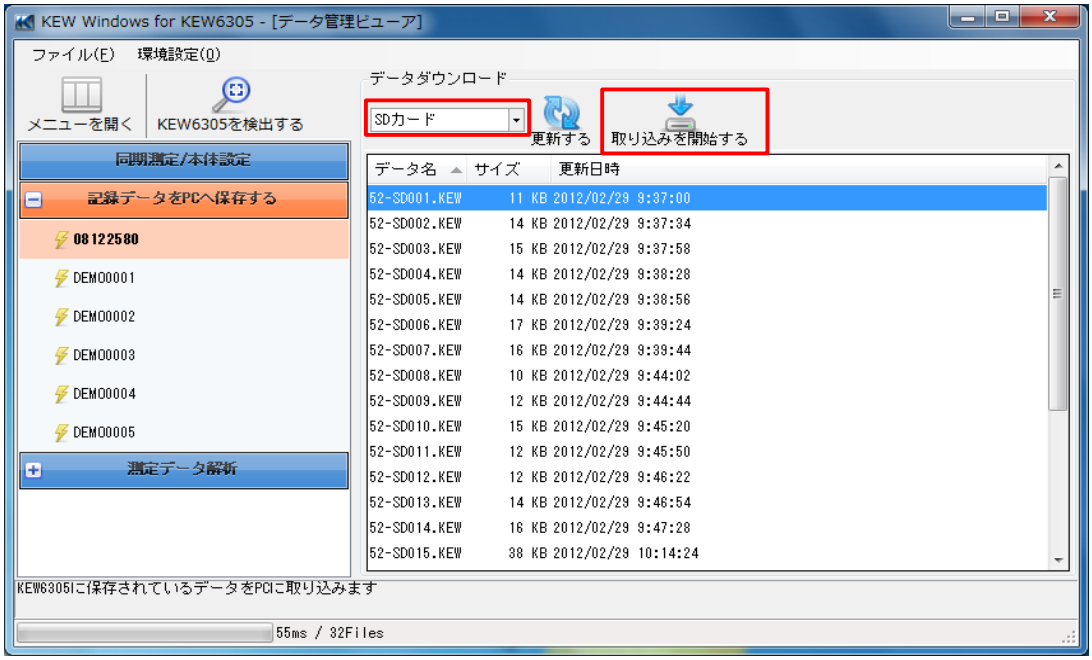


2. ナビゲータの″記録データをPCへ保存する″の下に表示されているシリアル番号を
   選択します。
   シリアル番号はPCと接続しているKEW6305本体の裏に記載されています。

3. ダウンロード基を選択します。(SDカード)

4. ダウンロードしたいファイルを選択します。

5. ″取り込みを開始する″を選択するとダウンロードを開始します。



データダウンロード画面が閉じるとダウンロード完了です。

5．データ解析

ここではKEW6305の保存データをアプリケーションで表示する操作手順を説明します。

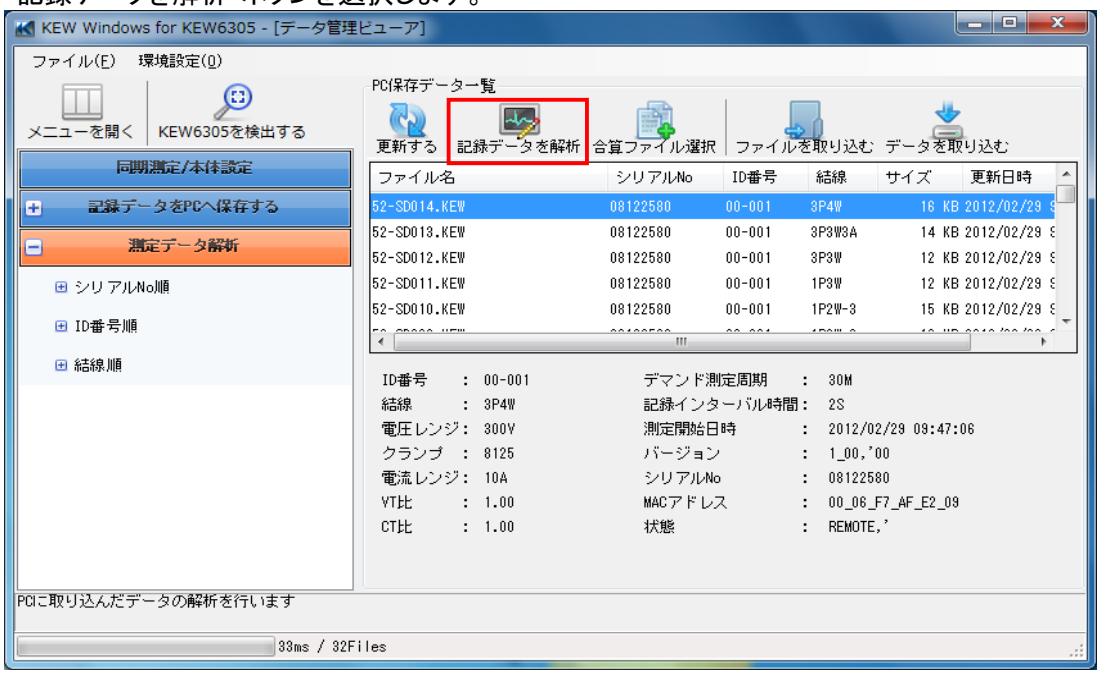
５－１ 記録データ解析手順

1．メニュー画面の"記録データを解析する"を選択します。
メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
"メニューを開く"を選択すると表示されます。

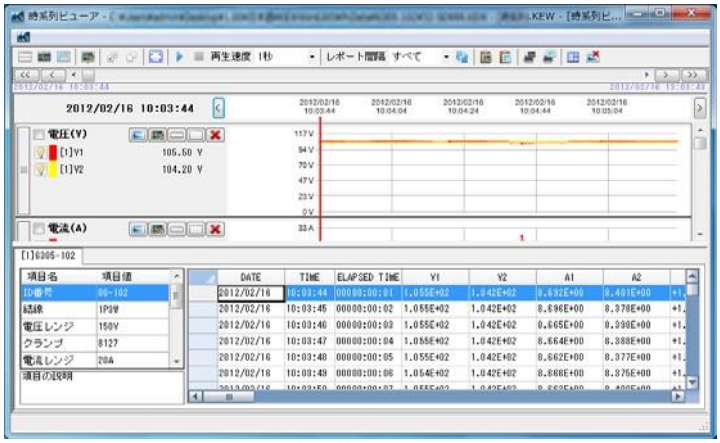


2．PC保存データー覧から解析したいファイルを選択します。

3．"記録データを解析"ボタンを選択します。



選択したファイルのデータが表示されます。

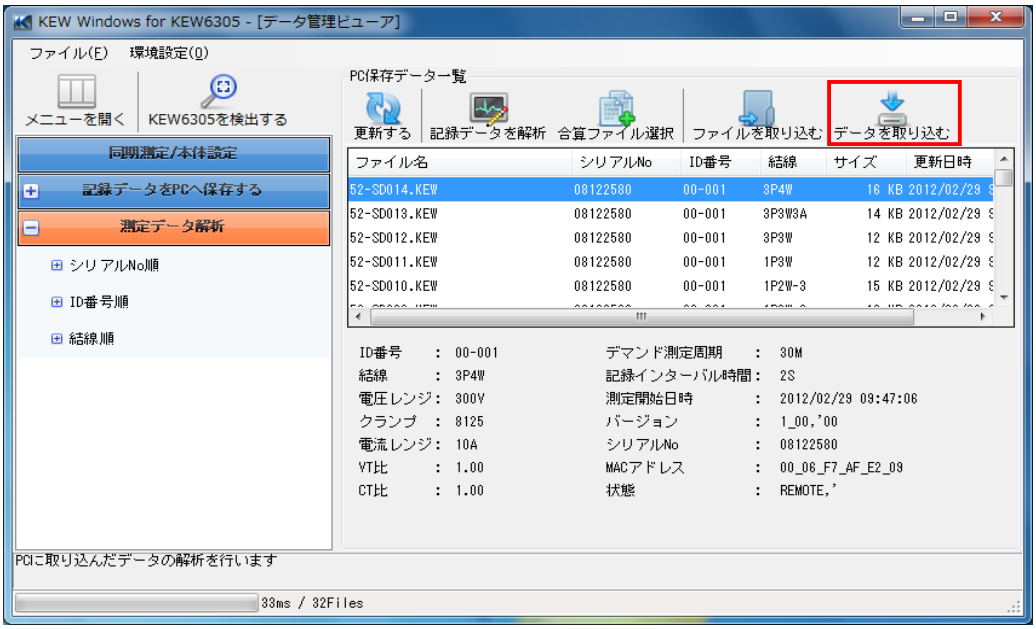


５－２ データダウンロードからの記録データ解析手順

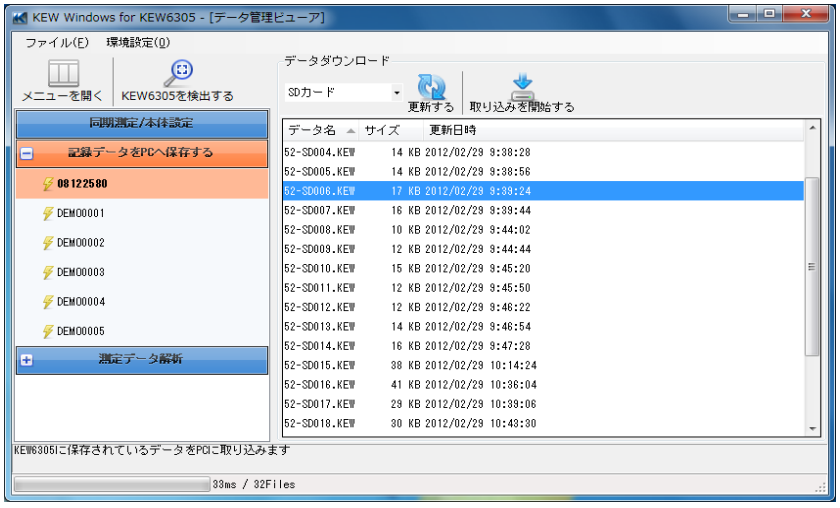
1. メニュー画面の"記録データを解析する"を選択します。
   メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
   "メニューを開く"を選択すると表示されます。



2. "データを取り込む"を選択します。



3. ナビゲータの"記録データをPCへ保存する"の下に表示されているシリアル番号を選択します。
   シリアル番号はPCと接続しているKEW6305本体の後ろに記載されています。

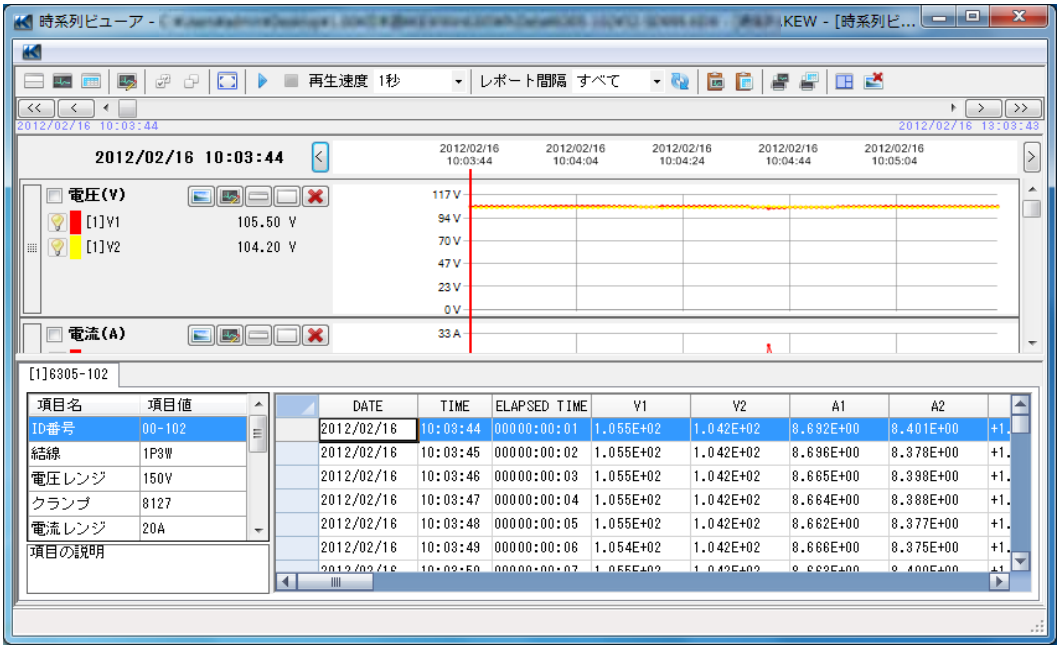


4．ダウンロード基を選択します。(SDカードまたは内部メモリ)

5．ダウンロードしたいファイルを選択します。

6．″取り込みを開始する″を選択するとダウンロードを開始します。

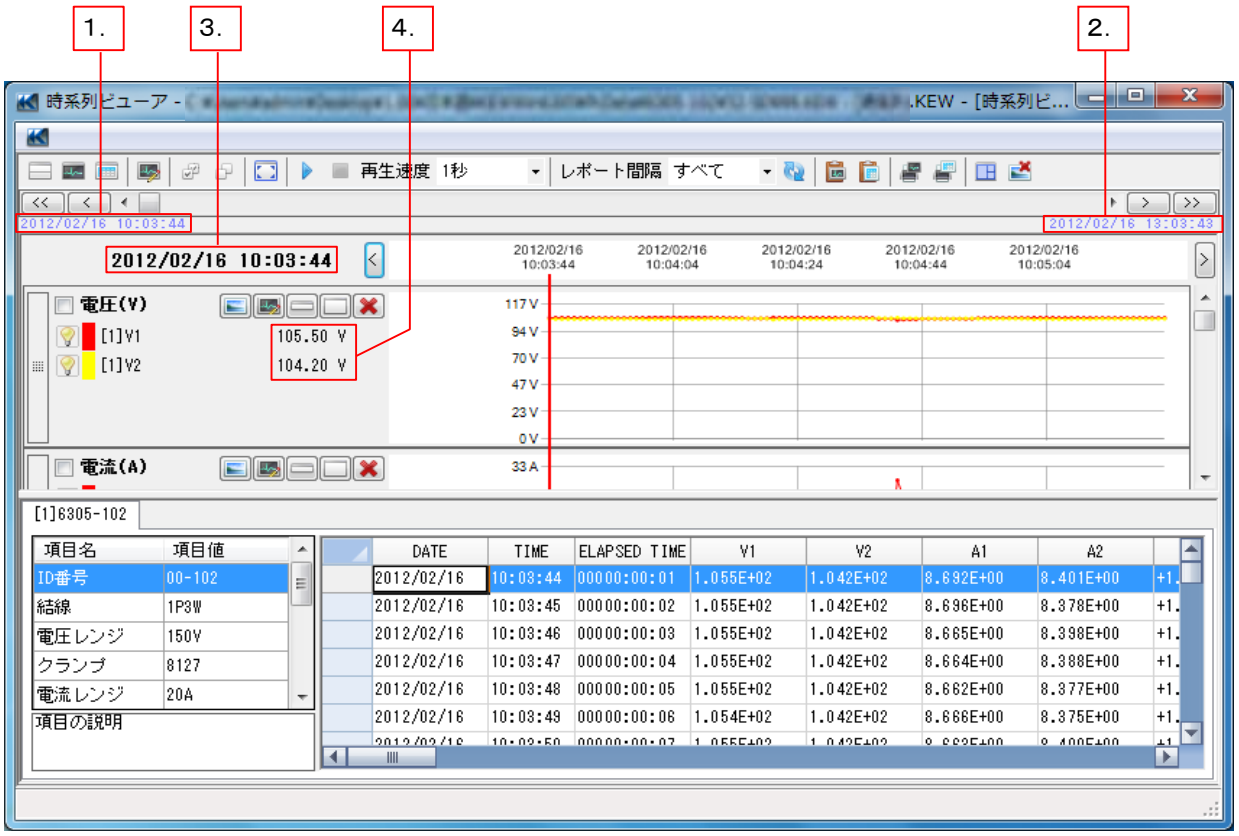
データダウンロード画面が消えると、ダウンロードしたデータが表示されます。



6．データ解析表示説明

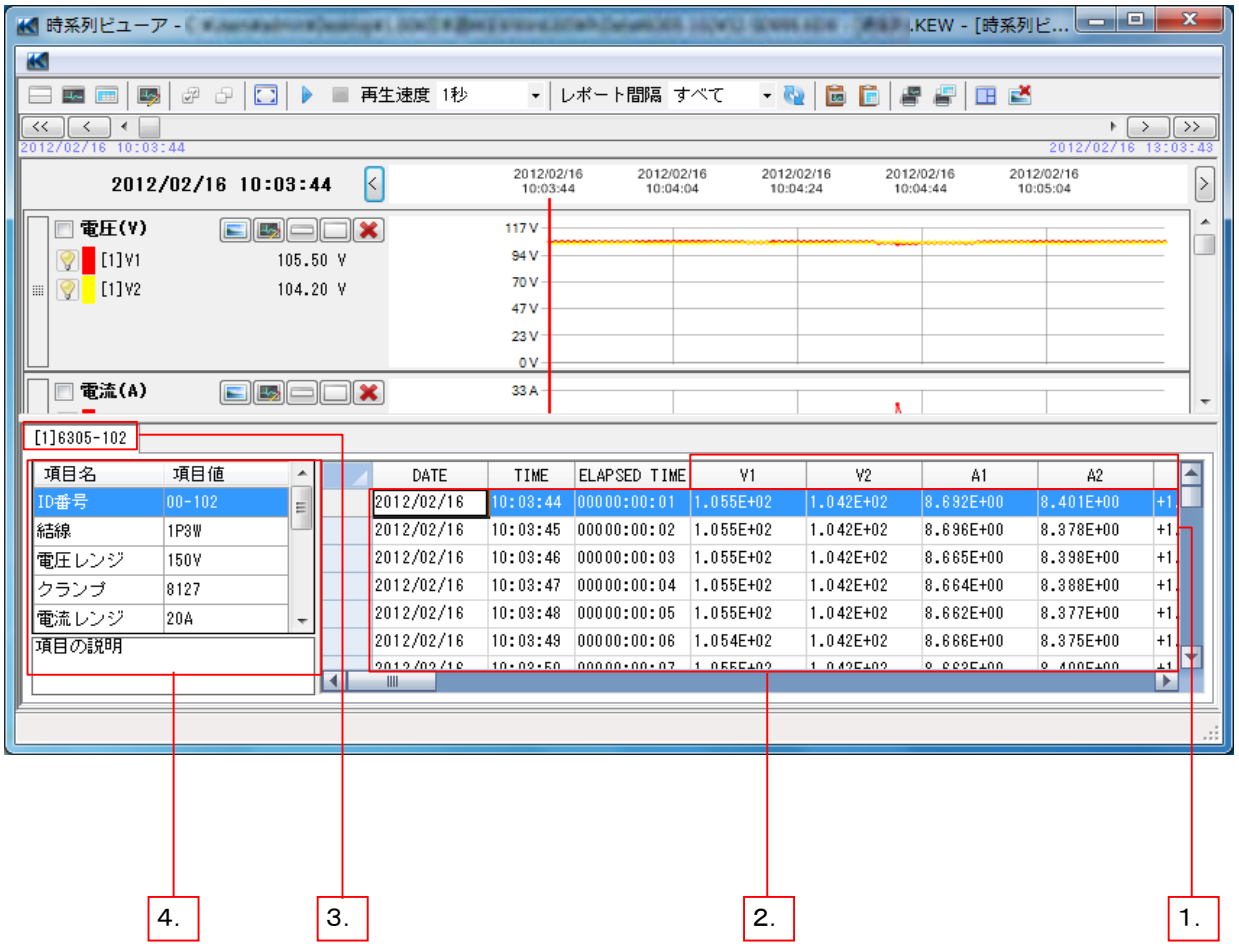
ここでは、データ解析のグラフ、リストの表示項目について説明します。

6－1 グラフの表示項目について



1．解析データの１件目のデータの日時を表示します。
2．解析データの最後のデータの日時を表示します。
3．カーソルを合わしているデータの日時を表示します。
4．カーソルを合わしているデータの値を表示します。

6－2 リストの表示項目について



1．グラフに表示している項目の数だけ表示します。
2．グラフに表示している部分の測定値を表示します。
3．解析データのシリアル番号を表示します。
4．解析データの測定環境を表示します。

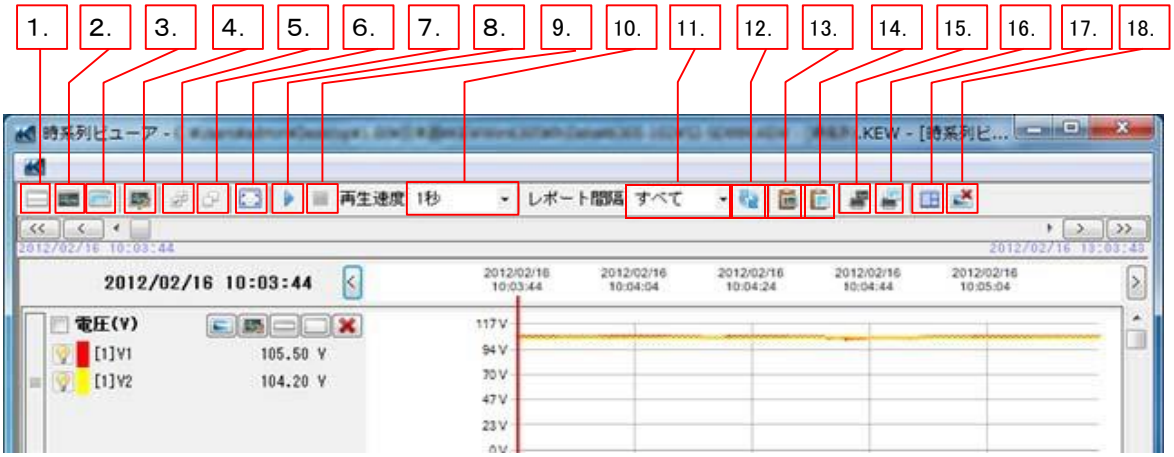
6－3 リスト内の略語について

DATE	TIME	ELAPSED TIME	V1	V2	V3	A1	A2
16/06/2021	11:15:31	00000:00:51	PWOF	PWOF	PWOF	PWOF	PWOF
16/06/2021	11:16:08	00000:01:28	PWON	PWON	PWON	PWON	PWON
16/06/2021	11:16:08	00000:01:28	SDIN	SDIN	SDIN	SDIN	SDIN
16/06/2021	11:16:40	00000:02:00	233,90000	239,60000	236,30000	6,66100	8,15900
16/06/2021	11:17:10	00000:02:30	PWOF	PWOF	PWOF	PWOF	PWOF
25/05/2021	17:16:37	00671:04:45	PWON	PWON	PWON	PWON	PWON
25/05/2021	17:16:37	00671:04:45	SDIN	SDIN	SDIN	SDIN	SDIN
25/05/2021	17:16:39	00671:04:47	LWBT	LWBT	LWBT	LWBT	LWBT

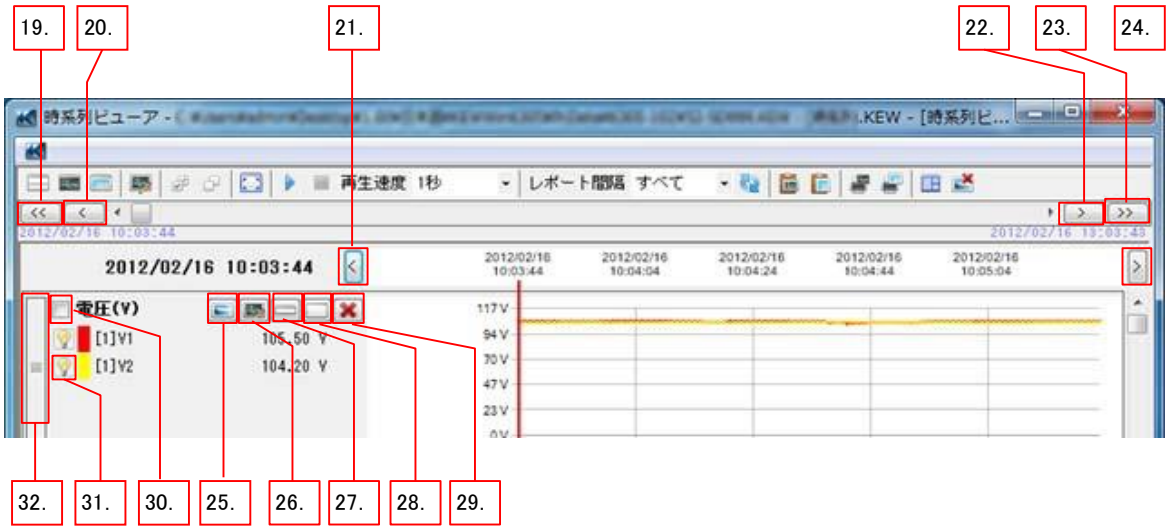
PWOF：本体の電源OFFを表しています。
PWON：本体の電源ONを表しています。
SDIN：SDカードの挿入を表しています。
LWBT：本体の電池電圧警告を表しています。
TZBG：時間帯指定での記録開始を表しています。
TZED：時間帯指定での記録終了を表しています。

7. データ解析機能

ここでは、データ解析時に使用できる機能について説明します。



1.	すべて表示	時系列ビューア画面にグラフとリストを表示します。
2.	グラフのみ表示	時系列ビューア画面にグラフだけ表示します。
3.	リストデータのみ表示	時系列ビューア画面にリストだけ表示します。
4.	表示編集	グラフ、グラフ項目の表示、非表示を設定します。
5.	全選択	全グラフのチェックボックスにチェックマークが付きます。
6.	選択解除	チェックボックスのチェックをすべて外します。
7.	フルスケール表示	1件目から最後のデータまでを1画面に表示します。
8.	自動再生開始	自動再生を開始します。
9.	自動再生停止	自動再生を停止します。
10.	再生速度	自動再生時の更新速度を設定します。
11.	レポート間隔	データを表示する間隔を変更します。
12.	レポート間隔を変更	変更したレポート間隔を反映します。
13.	グラフをコピー	現在表示してる期間のグラフを表示します。
14.	リストをコピー	リストの選択している部分をコピーします。
15.	グラフを印刷	現在表示している期間のグラフを印刷します。
16.	レポート/リスト出力	レポート/リスト出力画面が表示します。
17.	ウィンドウの整列	時系列ビューア画面の大きさに合わせてグラフ、 リストのサイズを最適化します。
18.	サブグラフを閉じる	サブグラフの画面を閉じます。



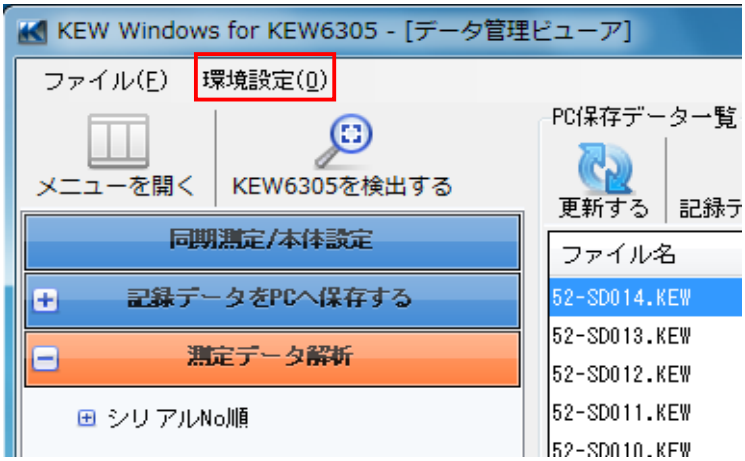
19. グラフ表示期間変更(大)前	最大、表示データ数の1/2左にスクロールします。
20. グラフ表示期間変更(小)前	最大、表示データ数の1/4左にスクロールします。
21. カーソル移動ボタン前	カーソル(赤い縦棒)を左に動かします。
22. グラフ表示期間変更(小)後	最大、表示データ数の1/4右にスクロールします。
23. グラフ表示期間変更(大)後	最大、表示データ数の1/2右にスクロールします。
24. カーソル移動ボタン後	カーソル(赤い縦棒)を右に動かします。
25. サブグラフ表示	グラフ項目の値を別画面で表示します。
26. グラフ編集	選択したグラフの表示編集画面が表示します。
27. 最小化	選択したグラフを最小化します。
28. 最大化	選択したグラフを最大化します。
29. 閉じる	選択したグラフだけ閉じます。
30. チェックボックス	チェックボックスにチェックを付けて操作を行うと、 他のグラフにも範囲されます。
31. ランプ	ランプマークを消すと、グラフのみが非表示になります。
32. グラフ移動エリア	選択したグラフを移動させるためのエリアです。

8．グラフ表示の変更

ここでは、グラフ表示を変更する操作手順について説明します。

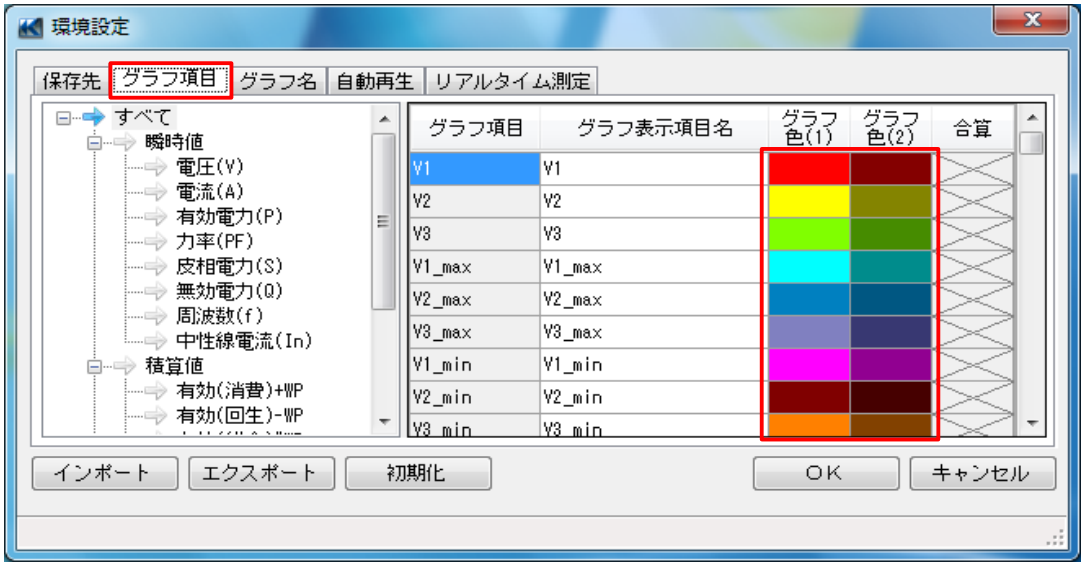
8－1 グラフの色変更

1．データ管理ビューア画面の"環境設定"を選択します。



2．環境設定画面の"グラフ項目"タブを選択します。

3．変更したいグラフ表示項目項目のグラフ色をダブルクリックします。



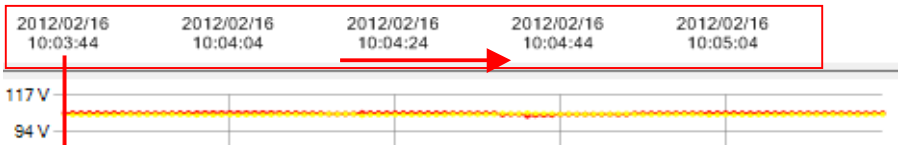
4．色の設定画面で変更したい色を選択して"OK"を選択します。

5．環境設定画面の"OK"を選択し画面を閉じます。

データ解析からグラフを表示すると、選択した項目のグラフの色が変更されています。

８－２ グラフの日付間隔変更（拡大）

1. グラフの測定日時を表示している部分にカーソルを合わせます。



2. カーソルが変更したら左から右に向けてドラッグします。

   ドラッグすると日付間隔が拡大されます。
   ドラッグする幅によって拡大する間隔は異なります。

８－３ グラフの日付間隔変更（縮小）

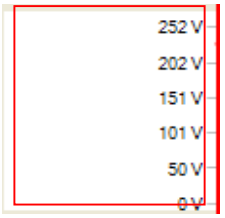
1. グラフの測定日時を表示している部分にカーソルを合わせます。

2. カーソルが変更したら縮小したい部分を右から左に向けてドラッグします。

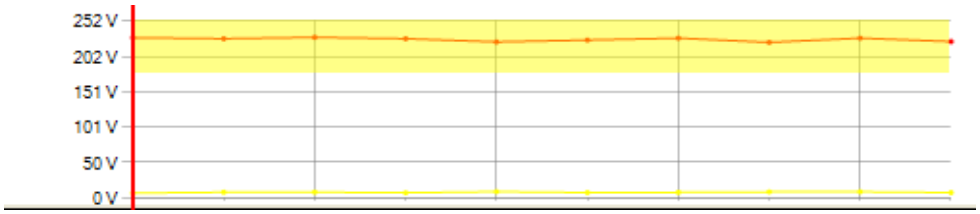
   ドラッグすると日付間隔が縮小されます。
   ドラッグする幅によって縮小する間隔は異なります。

８－４ グラフの縦軸メモリ間隔（拡大）

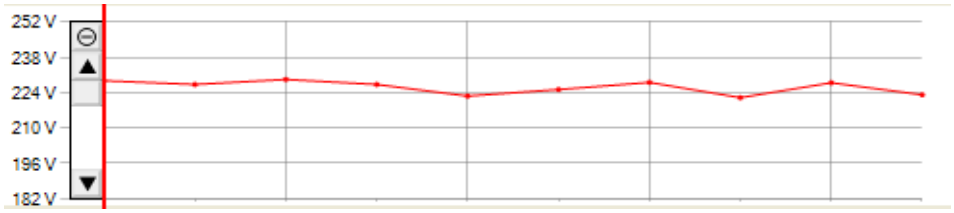
1. グラフの測定値を表示している縦軸部分にカーソルを合わせます。



2. カーソルが変更したら拡大したい部分をドラッグします。



3. ドラッグした部分が基準に拡大され表示されます。



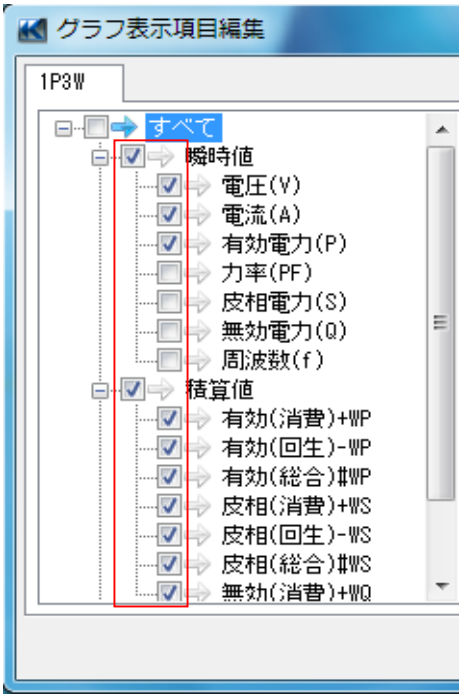
   拡大した後元に戻す場合は、⊖　を選択してください。
   選択すると、拡大が解除されます。

８－５ グラフの表示

1. 時系列ビューアの"グラフ表示項目編集"ボタンを選択します。



2. 表示させたいグラフのチェックボックスにチェックを付けます。



"OK"を選択しグラフ表示項目編集ウィンドウを閉じると、
チェックを付けたグラフが表示されます。

８－６ グラフの非表示

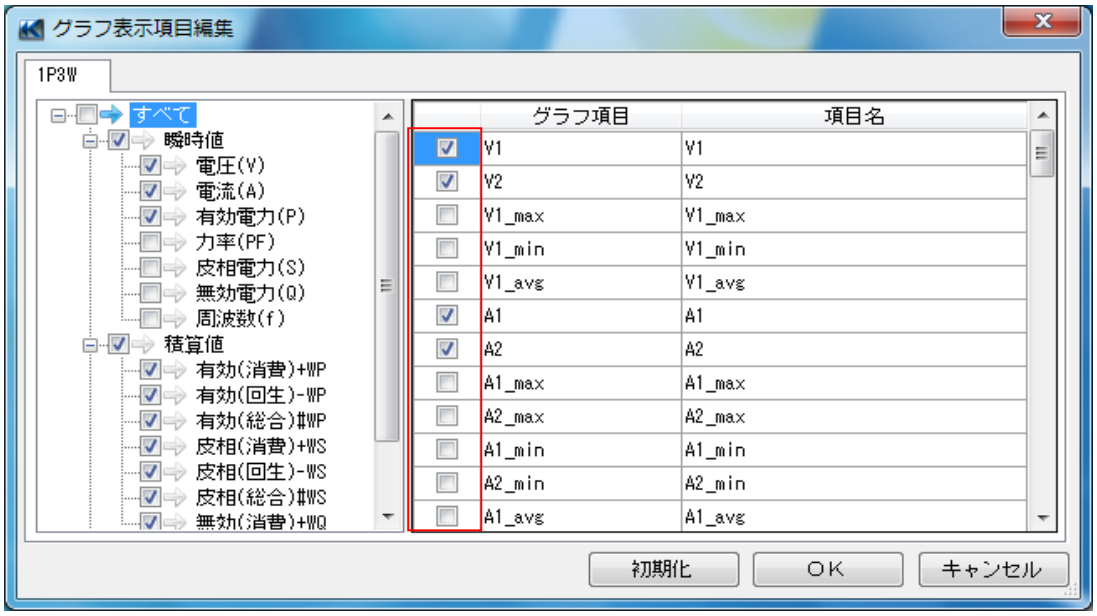
1. 時系列ビューアの"グラフ表示項目編集"ボタンを選択します。

2. 非表示させたいグラフのチェックボックスのチェックを外します。

"OK"を選択するとチェックを外したグラフが非表示になります。

８－７ グラフ項目の表示

1. 時系列ビューアの"グラフ表示項目編集"ボタンを選択します。
2. 表示させたいグラフ項目のチェックボックスにチェックを付けます。



OKを選択するとチェックを付けたグラフ項目が表示されます。

８－８ グラフ項目の非表示

1. 時系列ビューアの"グラフ表示項目編集"ボタンを選択します。
2. 非表示させたいグラフ項目のチェックボックスのチェックを外します。
   OKを選択するとチェックを外したグラフ項目が非表示になります。

９．本体設定

ここでは、KEW6305本体の設定を変更する操作手順について説明します。

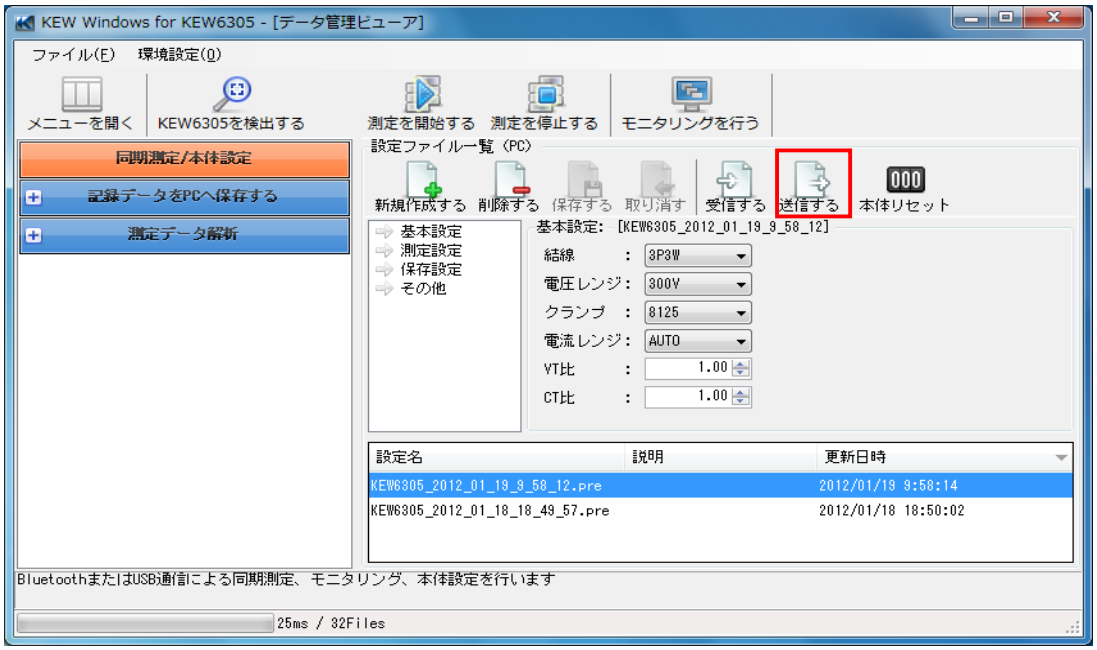
９－１ 本体設定

1．メニュー画面の″同期測定・本体設定をする″を選択します。
メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
″メニューを開く″を選択すると表示されます。



2．KEW6305本体に送信する設定ファイルを選択します。
送信するファイルが無い場合は、設定ファイルを作成してから送信してください。
設定ファイル作成手順はこの後に説明する９－３本体設定ファイル作成を参照
ください。

3．″送信する″ボタンを選択します。



4．本体設定送信画面が表示されたら、設定したいKEW6305のシリアルNo.を選択して
″OK″を選択してください。



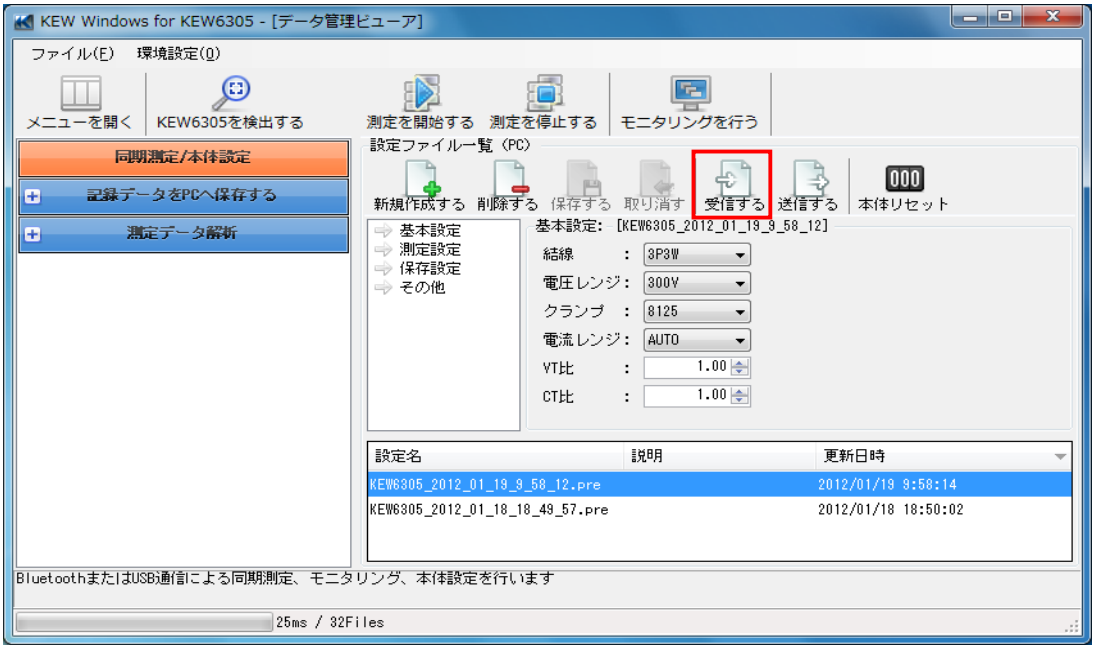
5.　下記画面が表示されたら設定完了です。
″OK″を選択して画面を閉じて終了してください。



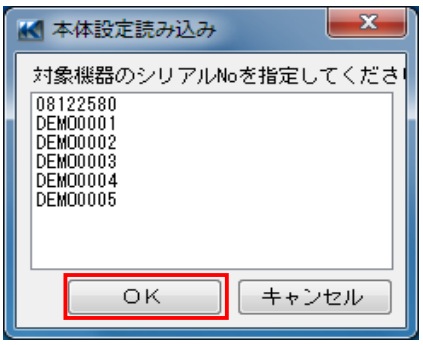
９－２ KEW6305本体設定保存

1. メニュー画面の″同期測定・本体設定をする″を選択します。
メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
″メニューを開く″を選択すると表示されます。

2. ″受信する″を選択します。



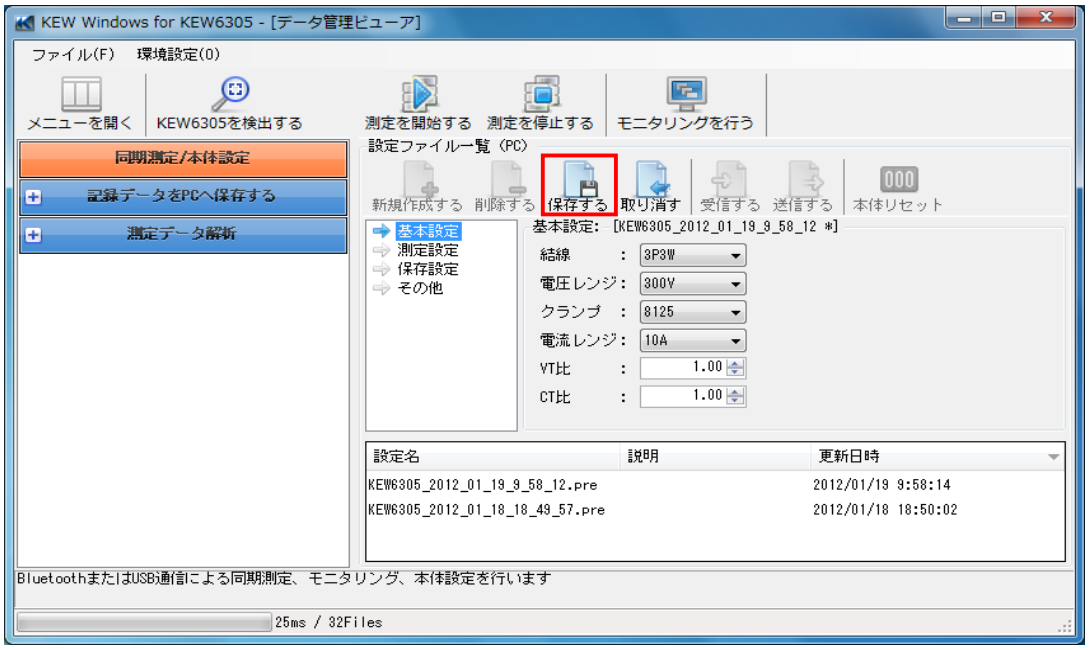
3.　本体設定読み込み画面で取得したい設定の本体を選択し"OK"を選択します。



4. 下記画面が表示されたら受信完了です。
″OK″を選択して画面を閉じてください。



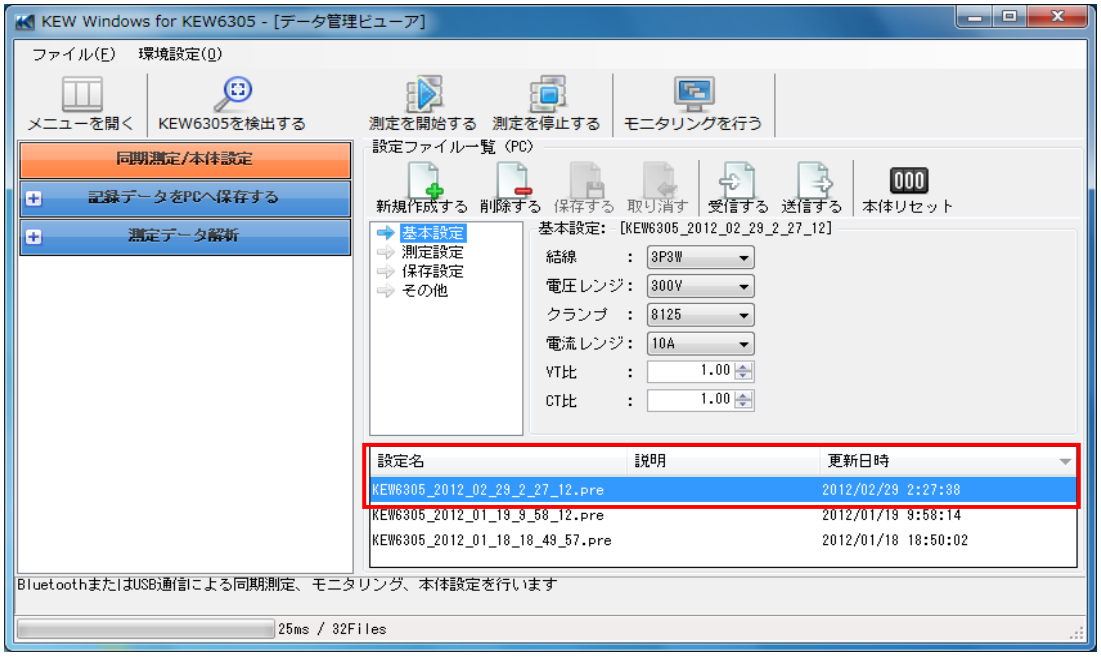
5. ″保存する″を選択してください。
保存しない、再度受信したい場合は、″取り消す″を選択してください。



6. 下記画面が表示されたら名前を付けて″OK″を選択してください。

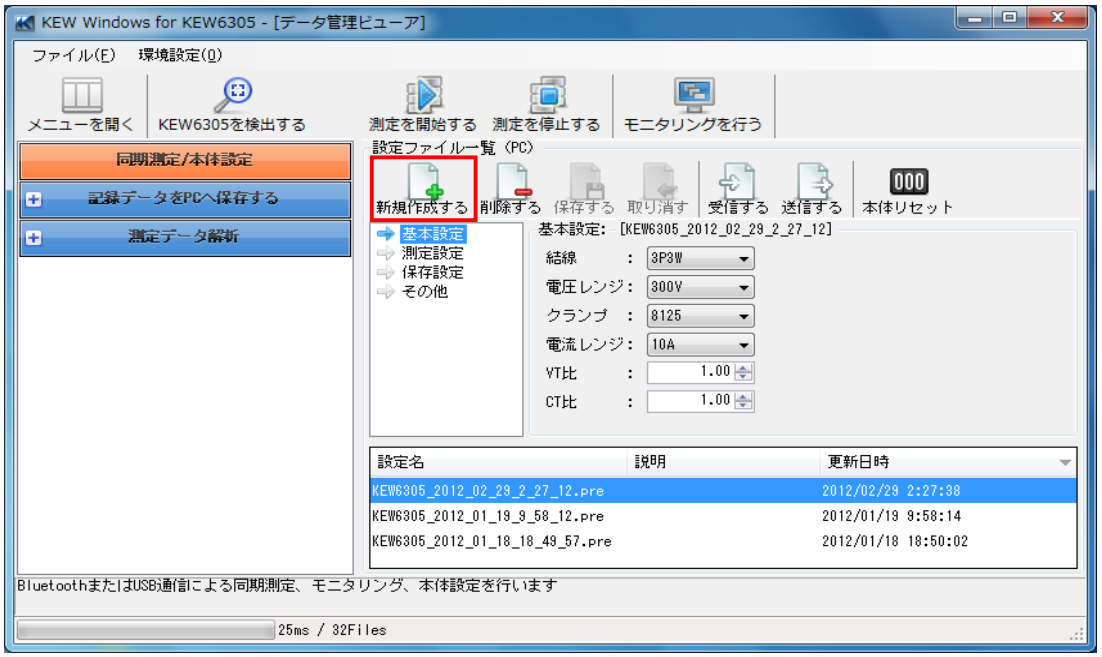


保存されたファイルが追加されたら保存完了です。
基本設定、測定設定、保存設定、その他を選択し設定内容を確認して、
選択した本体の設定と一致していることを確認してください。



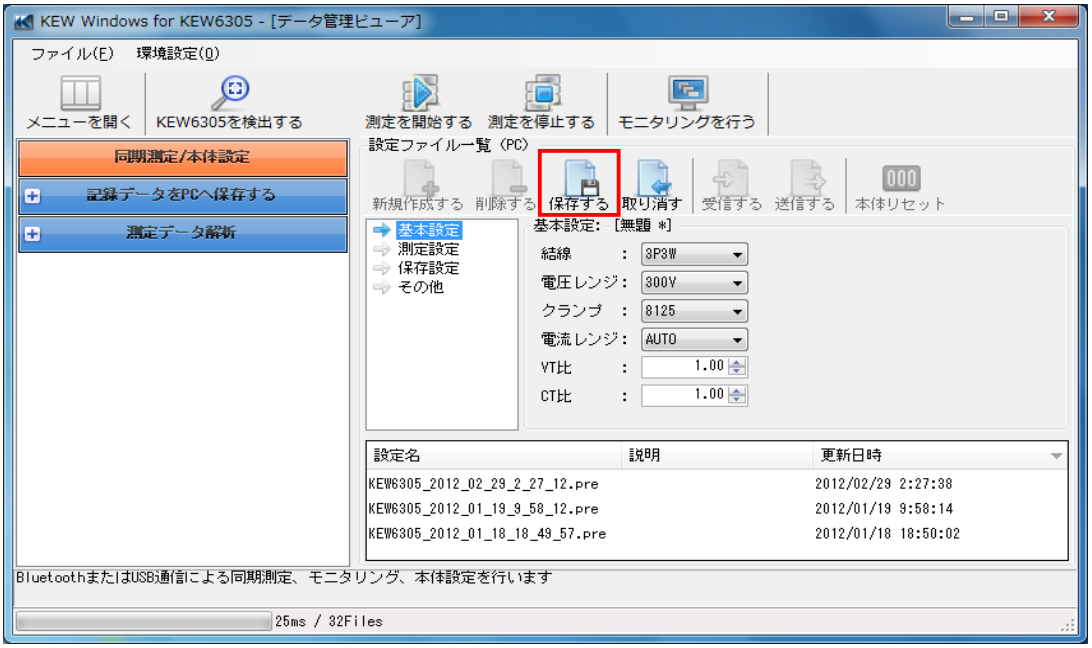
９－３　本体設定ファイル作成

1. ″新規作成する″を選択します。



2. 基本設定、測定設定、保存設定、その他を必要に応じて変更します。

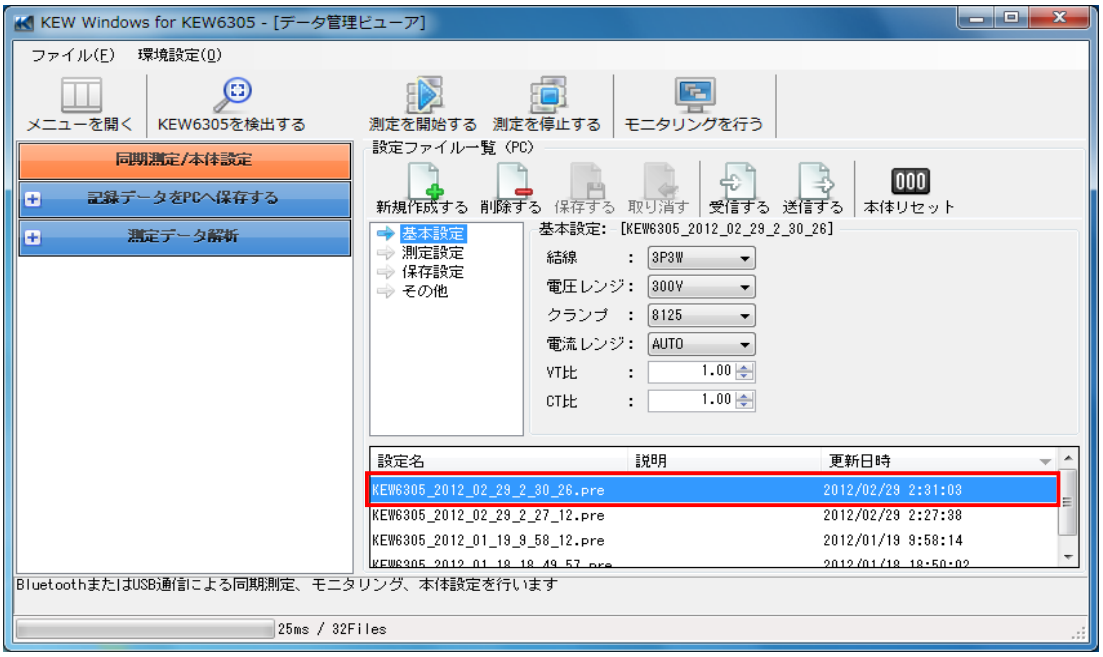
3. 設定が終了したら″保存する″を選択します。



4. 下記画面が表示されたら名前を付けて″OK″を選択してください。

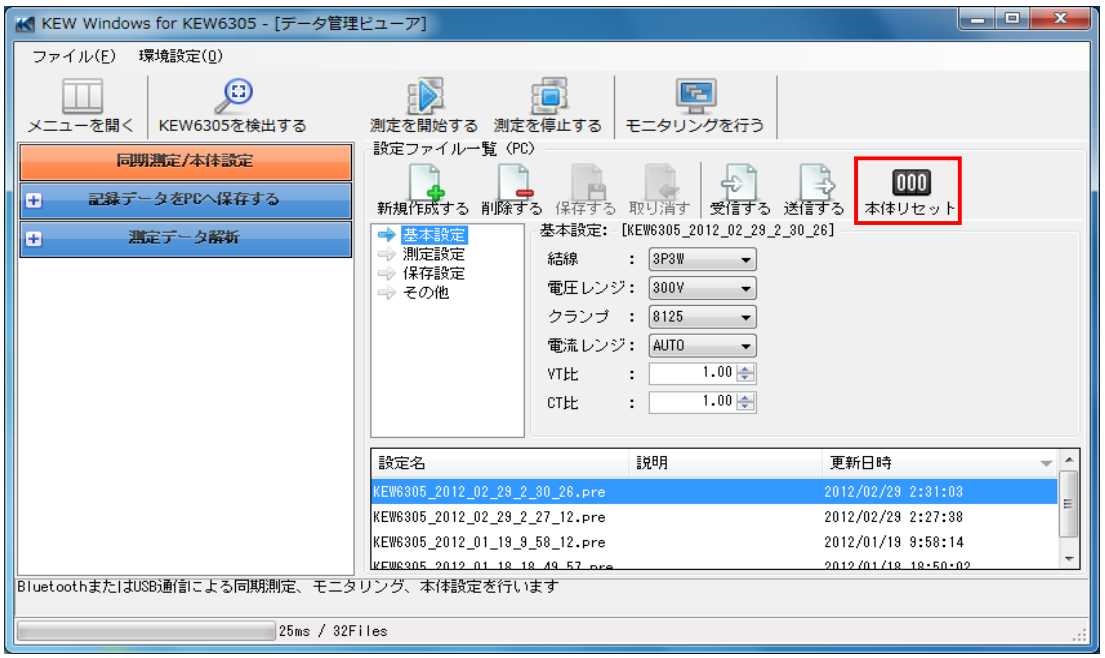


保存されたファイルが追加されたら保存完了です。

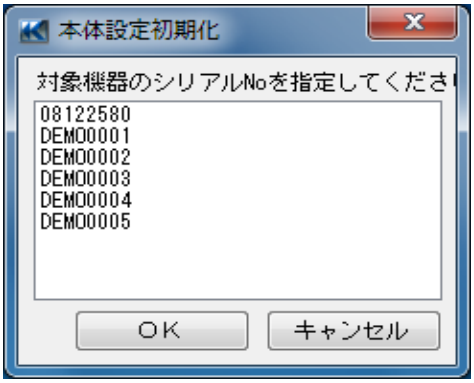


９－４ 本体リセット

1. ″本体リセット″を選択します。



2. 本体設定初期化画面で初期化したい本体を選択し"OK"を選択します。



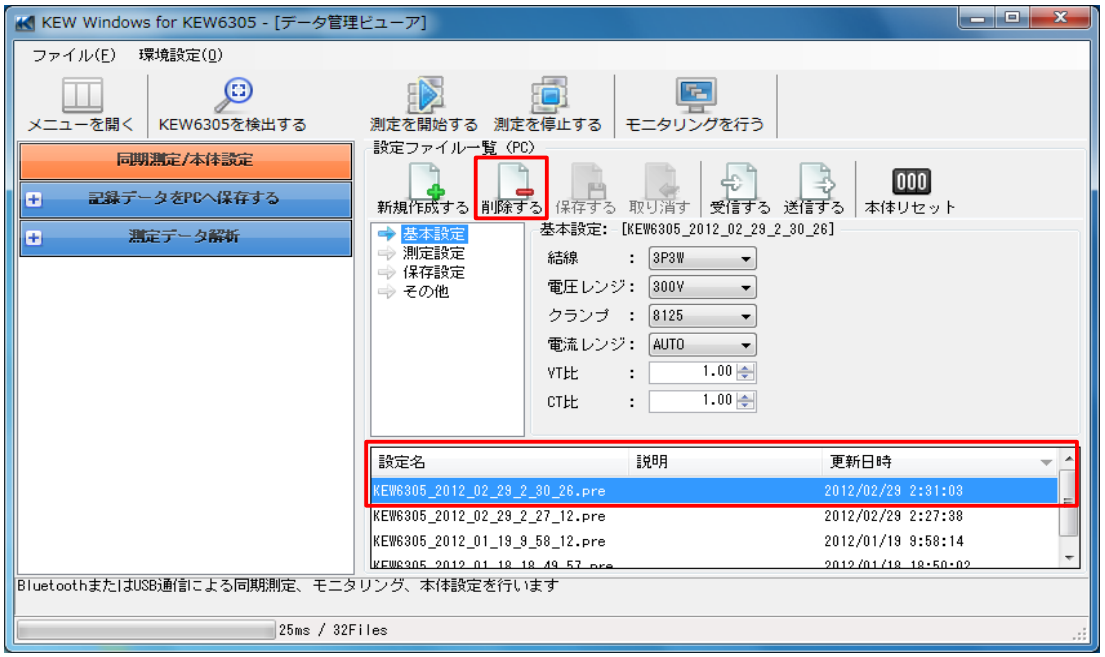
3. 下記画面が表示されたらリセット完了です。
   OKを選択して画面を閉じてください。



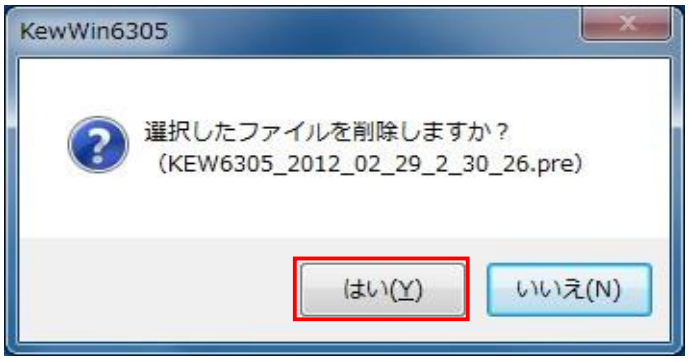
9－5 本体設定ファイル削除

1. 削除するファイルを選択します。

2. ″削除する″を選択します。



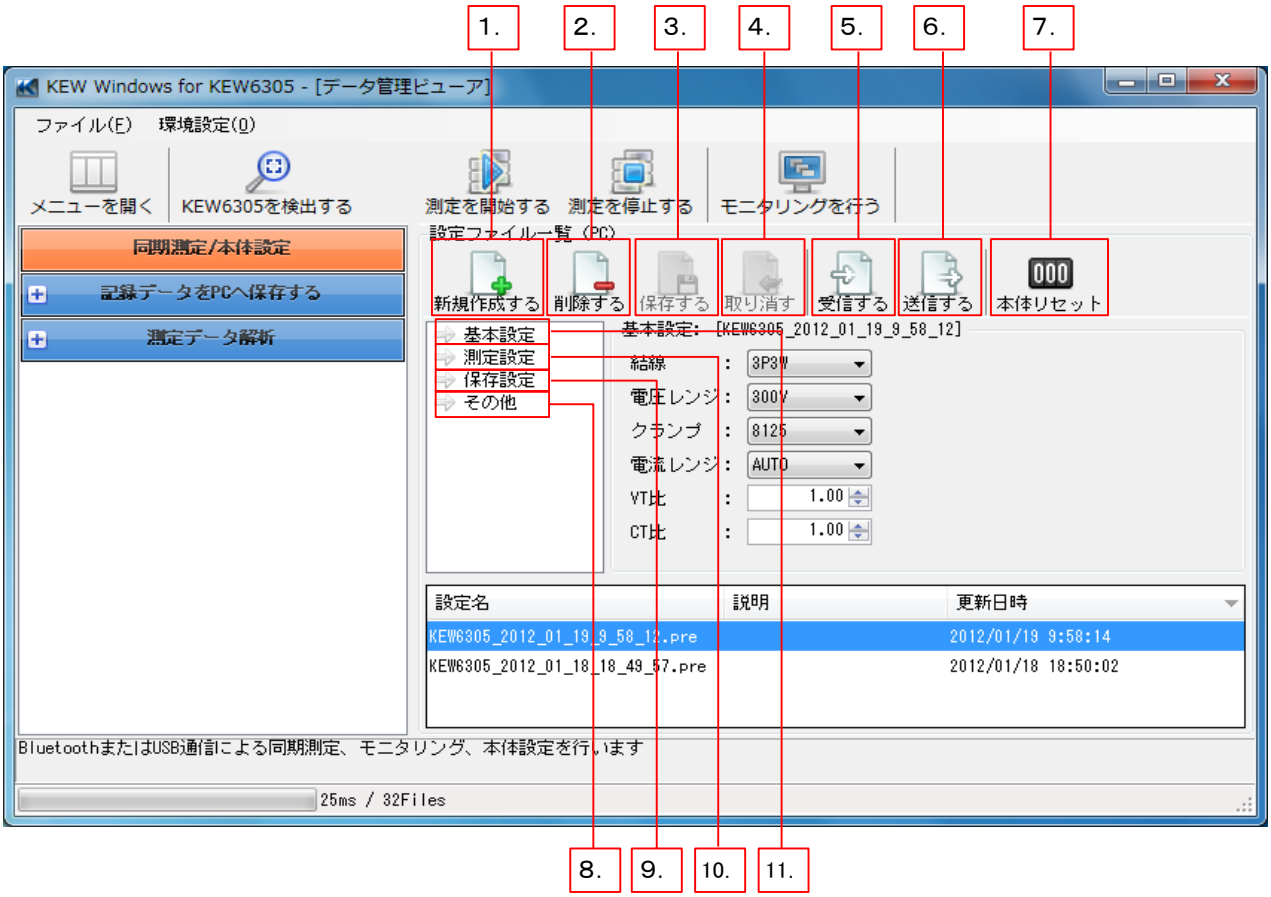
3. 削除確認画面が表示されたら、″はい(Y)″を選択します。



選択したファイルが設定ファイル一覧から削除されたら完了です。

10. 本体設定機能

ここでは、本体設定で使用する機能の説明をします。



1. 新規作成する　　本体設定ファイルを新規に作成します。

2. 削除する　　本体設定を削除します。

3. 取り消す　　本体設定の編集を取り消します。

4. 保存する　　本体設定をファイルに保存します。

5. 受信する　　本体から設定を読込みます。

6. 送信する　　PCで作成した設定を本体に反映させます。

7. 本体リセット　　本体の設定を初期値に戻します。

8. 基本設定　　結線、電圧レンジ、クランプ、電流レンジ、VT比、CT比を設定します。

9. 測定設定　　デマンド測定周期、デマンド警告周期、記録インターバル時間、
デマンド目標値、デマンド目標単位の設定を行います。

10. 保存設定　　保存方法、開始日時、終了日時を設定します。

11. その他　　説明、ブザー音、ID番号を設定します。

11. 同期測定

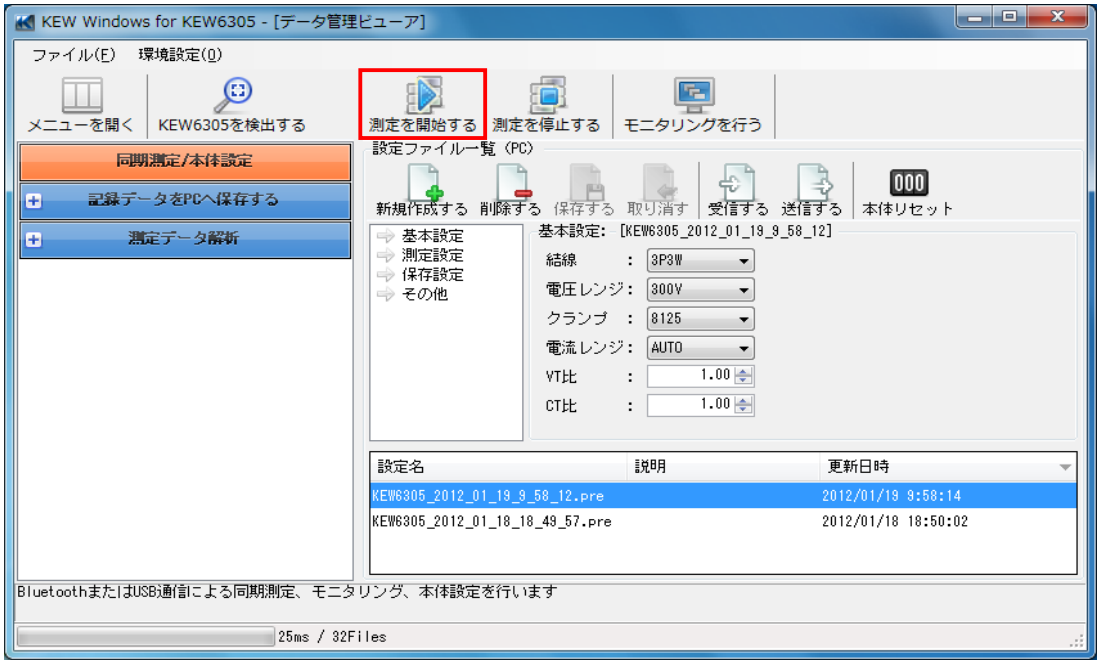
ここでは、同期測定の操作手順について説明します。

11－1 同期測定開始

1. メニュー画面の"同期測定・本体設定をする"を選択します。
   メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
   "メニューを開く"を選択すると表示されます。

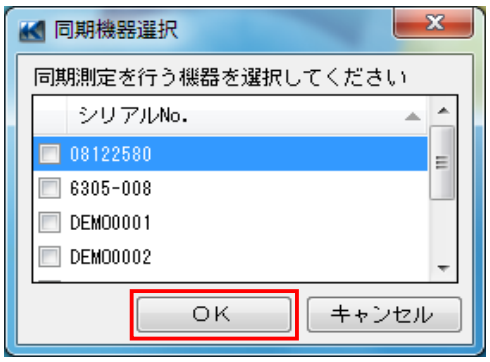


2. "測定を開始する"を選択します。



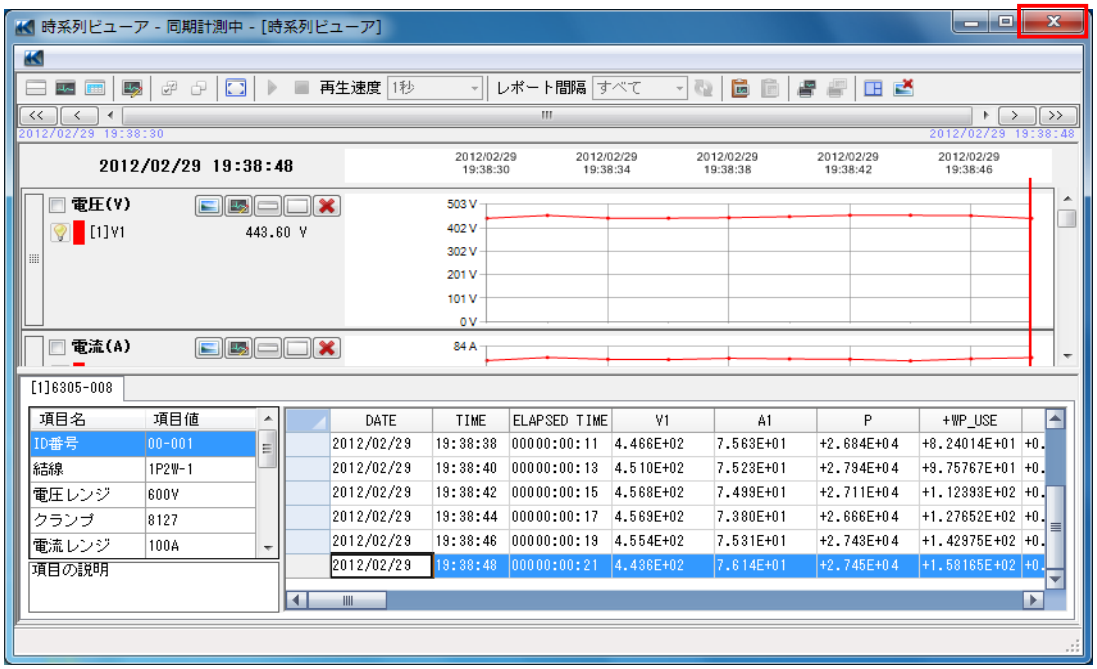
3. 同期機器選択画面に表示されているシリアルNo.のチェックボックスにチェックを付け
   "OK"を選択します。
   2台で同期測定する場合は、2つのチェックボックスにチェックを付けます。

4. "OK"を選択すると、選択した製品の同期測定が開始されます。

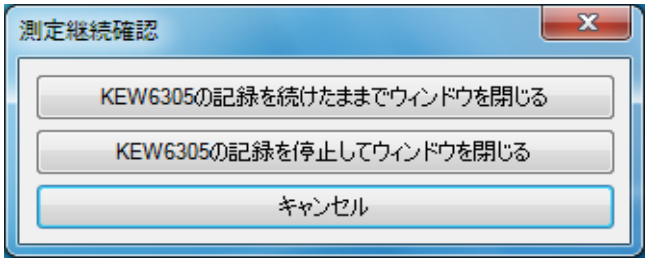


11－2 同期測定終了

1. 時系列ビューア画面の″×″を選択します。



2. アプリケーションの同期測定のみ終了させる場合は、″KEW6305の記録を続けたままウィンドウを閉じる″を選択します。
アプリケーションとKEW6305の記録測定を終了させる場合は、"KEW6305の記録を停止してウィンドウを閉じる″を選択します。



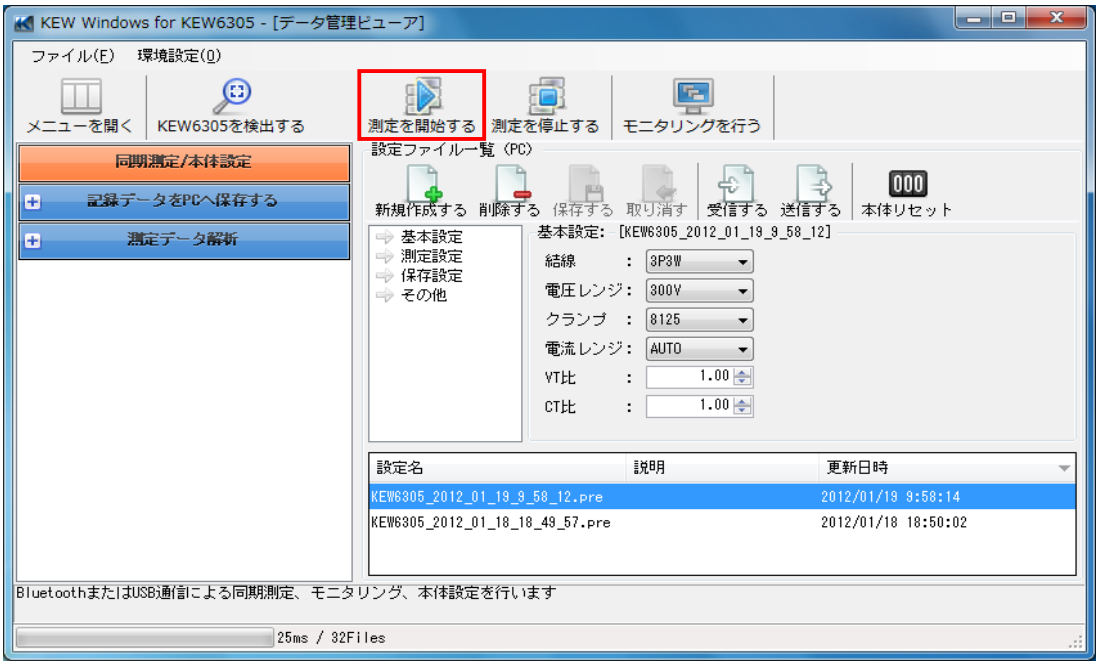
時系列ビューア画面が閉じるとアプリケーションの同期測定終了です。

11－3 2台同期測定開始

1. メニュー画面の"同期測定・本体設定をする"を選択します。
   メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
   "メニューを開く"を選択すると表示されます。

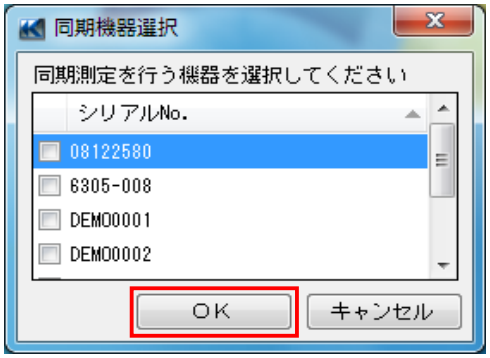


2. "測定を開始する"を選択します。



3. 同期機器選択画面で、2台同期測定を行いたいシリアルNo.のチェックボックスに
   チェックを付け"OK"を選択します。

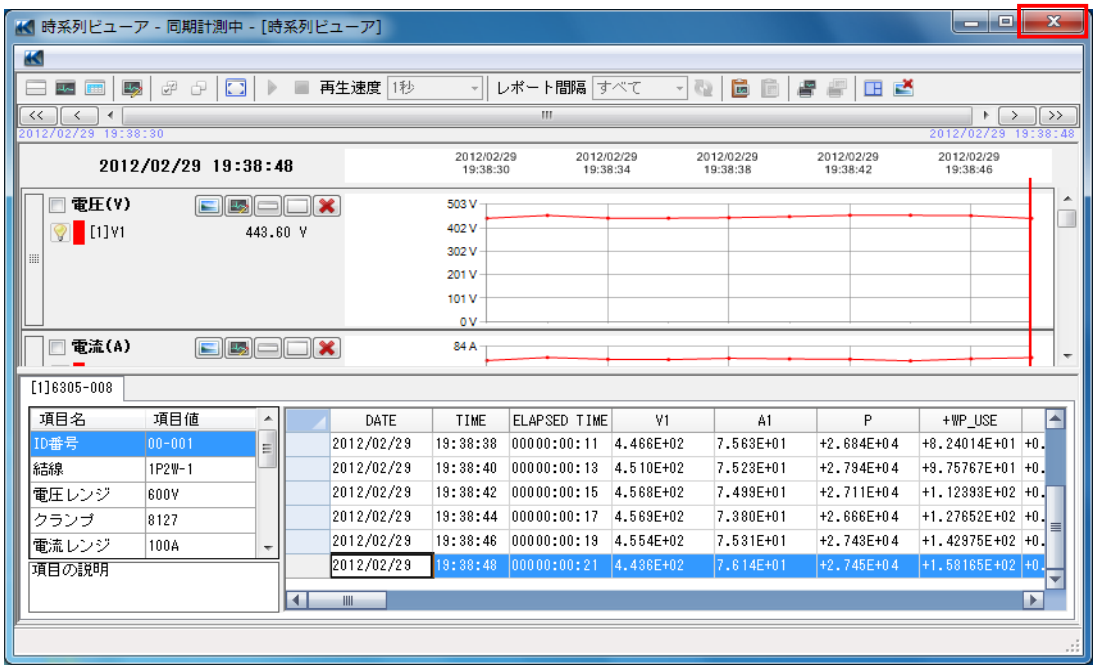
4. "OK"を選択すると、選択した製品の同期測定が開始されます。



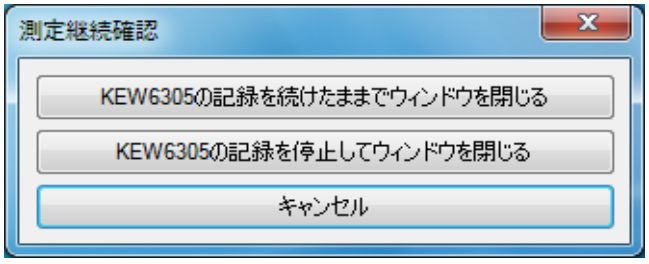
2台同期測定が開始されると、グラフとリストに合算された値が表示されます。

11－4 2台同期測定終了

1. 時系列ビューア画面の″×″を選択します。



2. アプリケーションの同期測定のみ終了させる場合は、″KEW6305の記録を続けたままウィンドウを閉じる″を選択します。
アプリケーションとKEW6305の記録測定を終了させる場合は、"KEW6305の記録を停止してウィンドウを閉じる″を選択します。



時系列ビューア画面が閉じるとアプリケーションの同期測定終了です。

12. モニタリング

ここでは、モニタリング測定の操作手順について説明します。

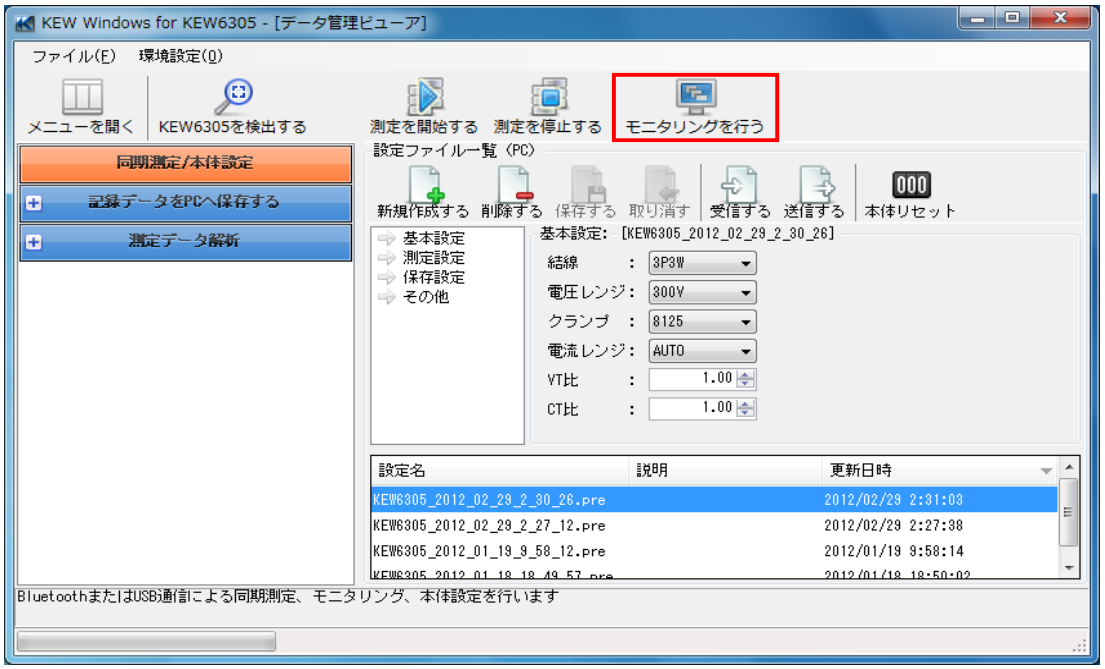
モニタリングを開始するときには、KEW6305本体を記録測定状態にしておく必要があります。
記録測定状態にするには同期測定を行い、測定継続確認画面で"KEW6305の記録を
続けたままでウィンドウを閉じる"を選択します。
またはKEW6305本体のSTART/STOPボタンを1秒以上押し続けると記録測定状態になります。
その他、KEW6305本体を記録測定状態にする方法については、
"6305取扱説明書"を参照してください。

12－1 モニタリング開始

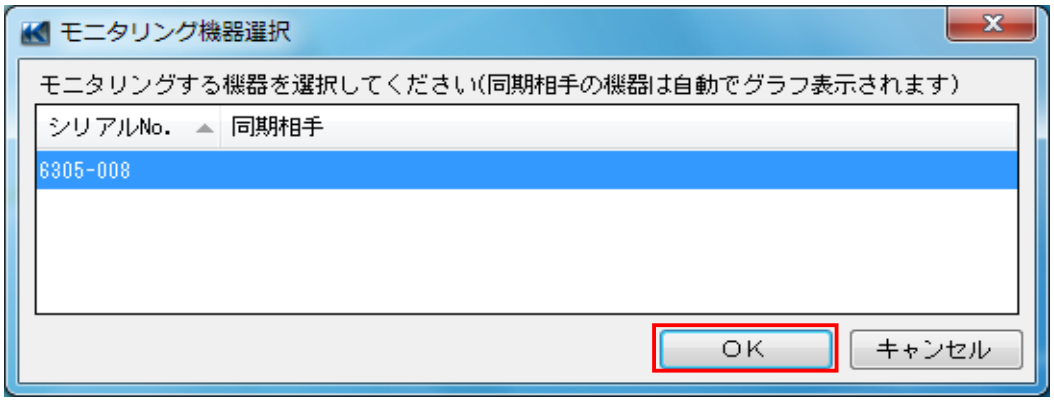
1. メニュー画面の"同期測定・本体設定をする"を選択します。
   メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
   "メニューを開く"を選択すると表示されます。



2. "モニタリングを行う"を選択します。



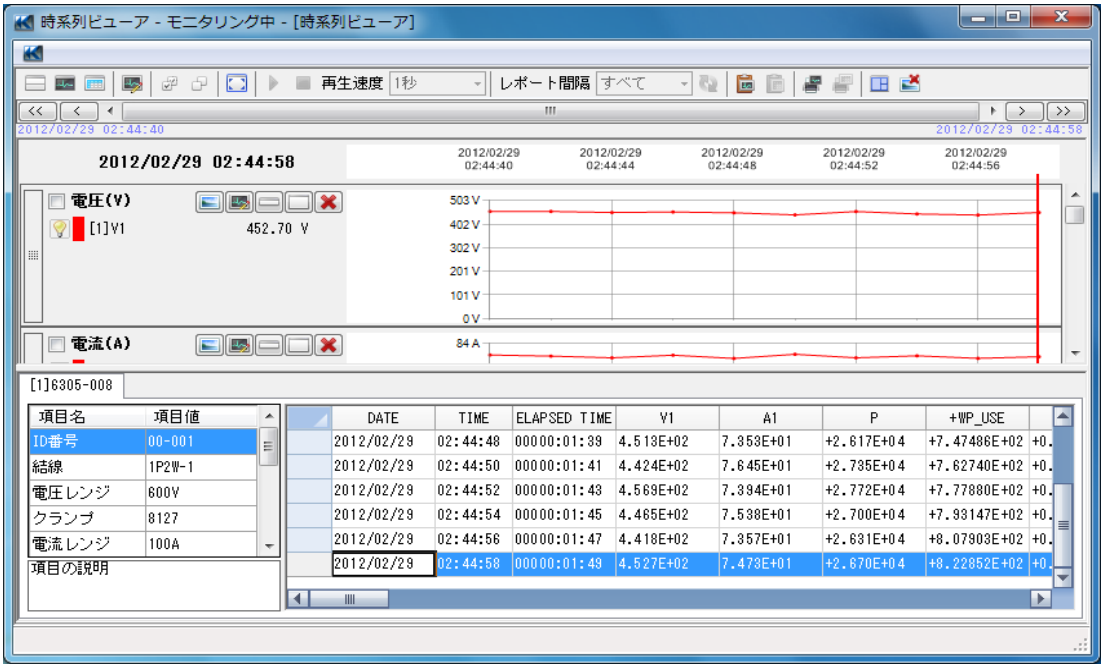
3. モニタリング計器選択に表示されているシリアルNo.を選択し"OK"を選択します。



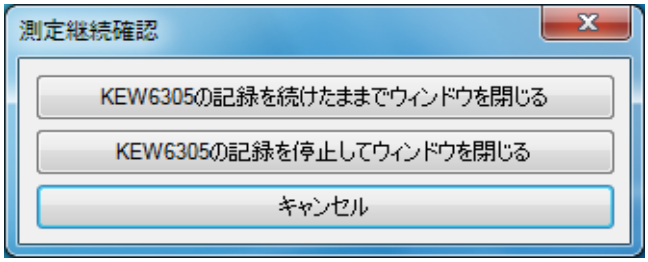
選択した製品のモニタリングが開始されます。

12－2 モニタリング終了

1. 時系列ビューア画面の×を選択します。



2. モニタリングのみ終了させる場合は、″KEW6305の記録を続けたままウィンドウを閉じる″を選択します。
モニタリングとKEW6305の記録測定を終了させる場合は、"KEW6305の記録を停止してウィンドウを閉じる″を選択します。



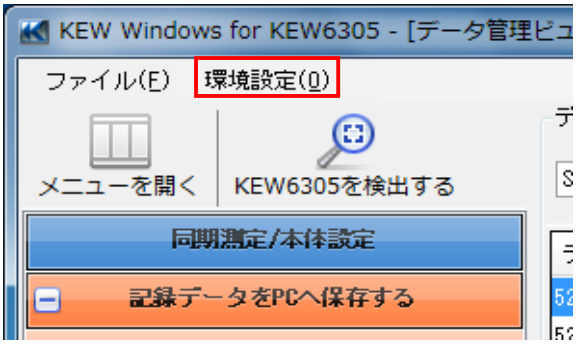
時系列ビューア画面が閉じるとモニタリング終了です。

13. 環境設定

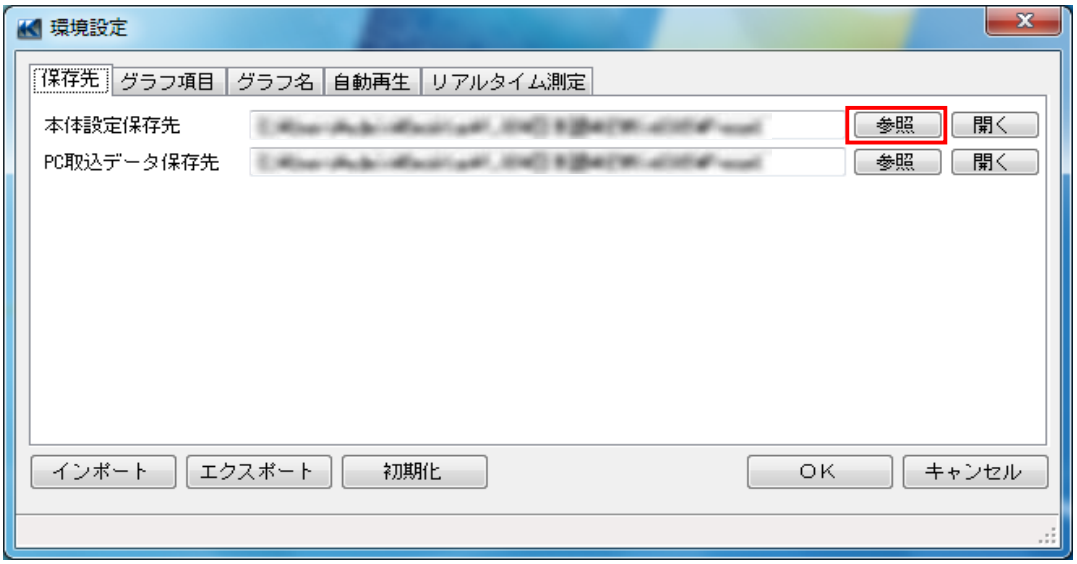
ここでは、環境設定の各項目の変更操作手順について説明します。

13－1 本体設定保存先の変更

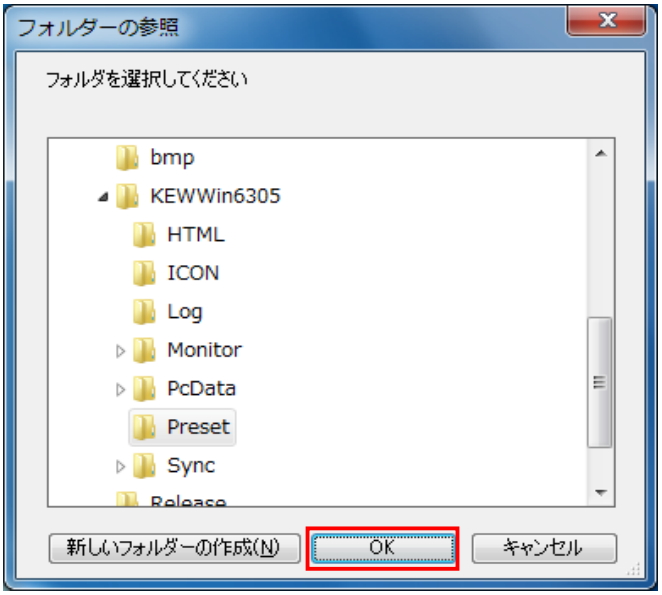
1. データ管理ビューアの"環境設定"を選択します。



2. 保存先タブの本体設定保存先の"参照"を選択します。



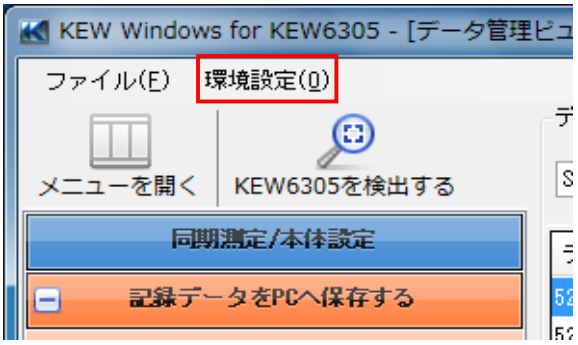
3. "フォルダーの参照"画面から変更先のフォルダを選択し"OK"を選択します。



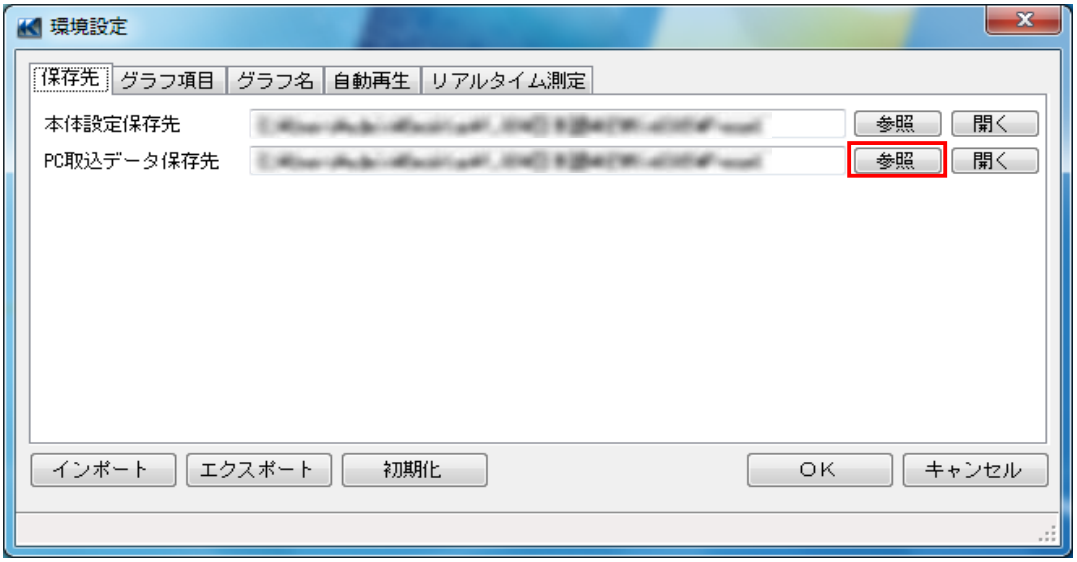
環境設定画面のOKを選択すると変更完了です。

１３－２ PC取込フォルダの変更

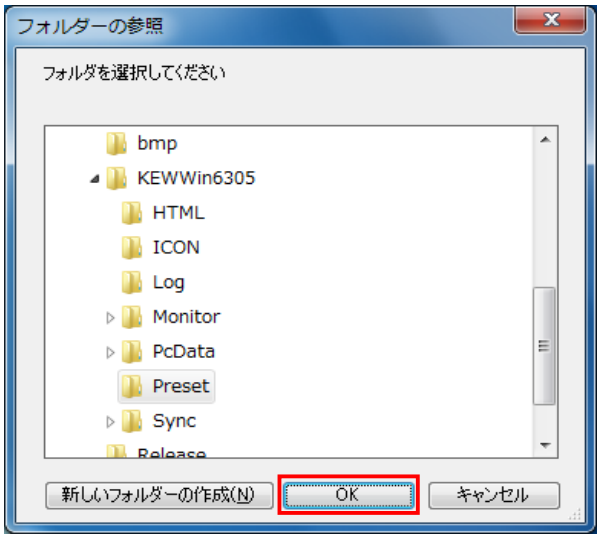
1. データ管理ビューアの″環境設定″を選択します。



2. 保存先タブのPC取込データ保存先の"参照"を選択します。



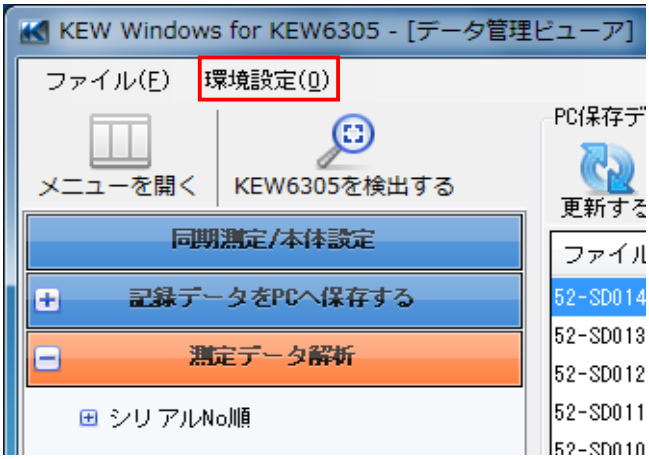
3. ″フォルダーの参照″画面から変更先のフォルダを選択し″OK″を選択します。



環境設定画面のOKを選択すると変更完了です。

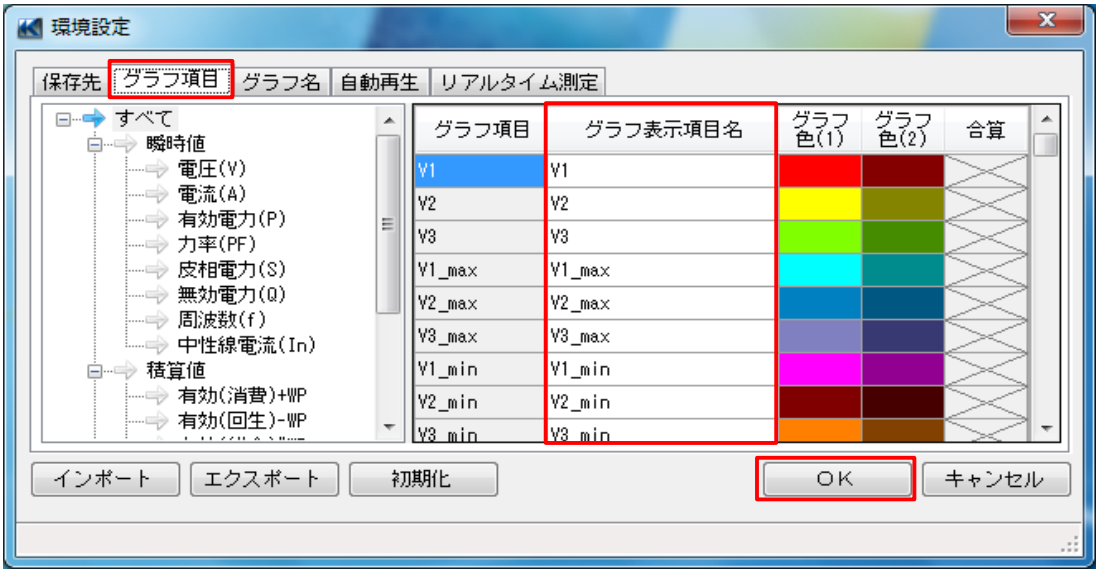
13－3 表示項目名の変更

1. データ管理ビューアの"環境設定"を選択します。



2. グラフ項目タブを選択します。

3. 変更したいグラフ項目の表示項目名を変更します。



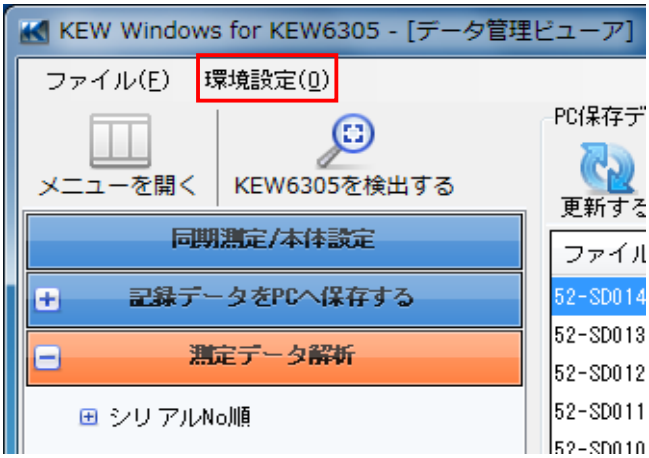
"OK"を選択すると変更完了です。

データ解析を行っている状態で変更しても変更内容は反映されません。

変更内容をグラフに反映させたい場合は、一度グラフを閉じて再度
グラフを表示させてください。

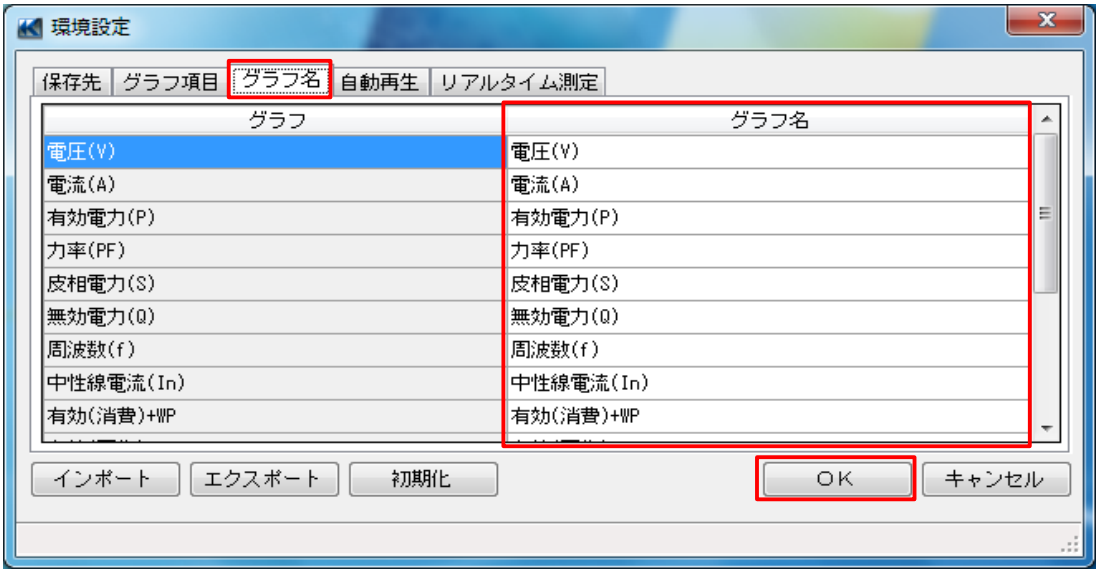
13－4 グラフ名の変更

1. データ管理ビューアの"環境設定"を選択します。



2. グラフ名タブを選択します。

3. 変更したいグラフのグラフ名を変更します。



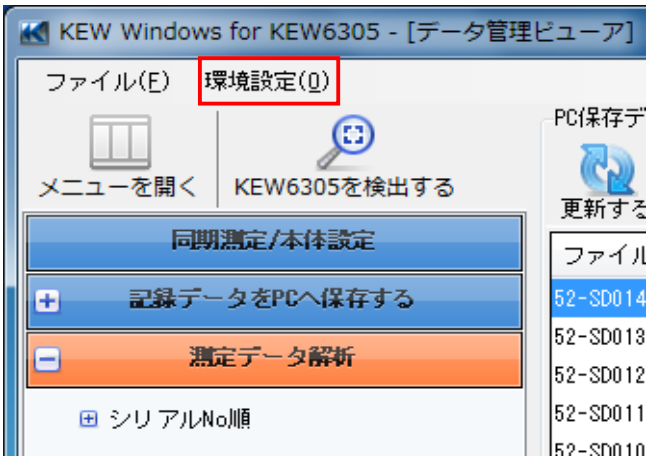
"OK"を選択すると変更完了です。

データ解析を行っている状態で変更しても変更内容は反映されません。

変更内容をグラフに反映させたい場合は、一度グラフを閉じて再度
グラフを表示させてください。

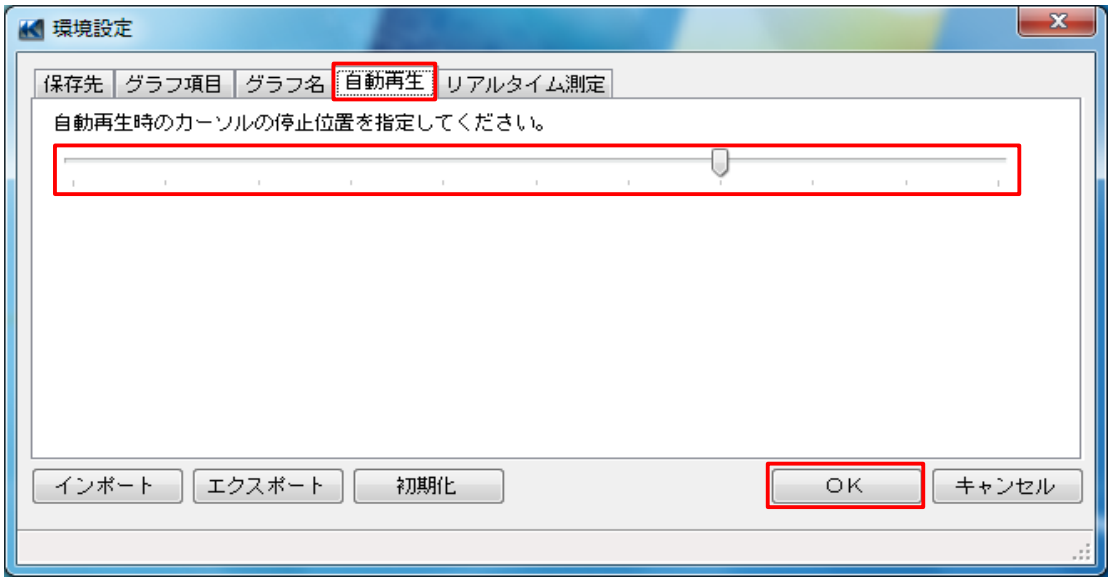
13－5 自動再生時のカーソルの停止位置の変更

1. データ管理ビューアの"環境設定"を選択します。



2. 自動再生タブを選択します。

3. カーソルの移動を止めたい位置にカーソルを合わせます。



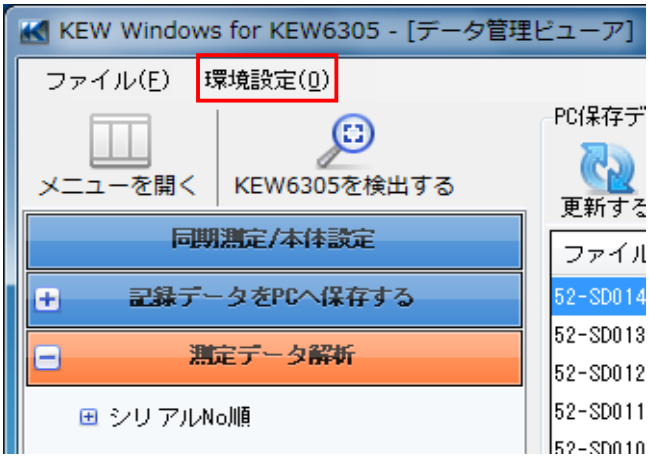
"OK"を選択すると変更完了です。

データ解析を行っている状態で変更しても変更内容は反映されません。

変更内容をグラフに反映させたい場合は、一度グラフを閉じて再度
グラフを表示させてください。

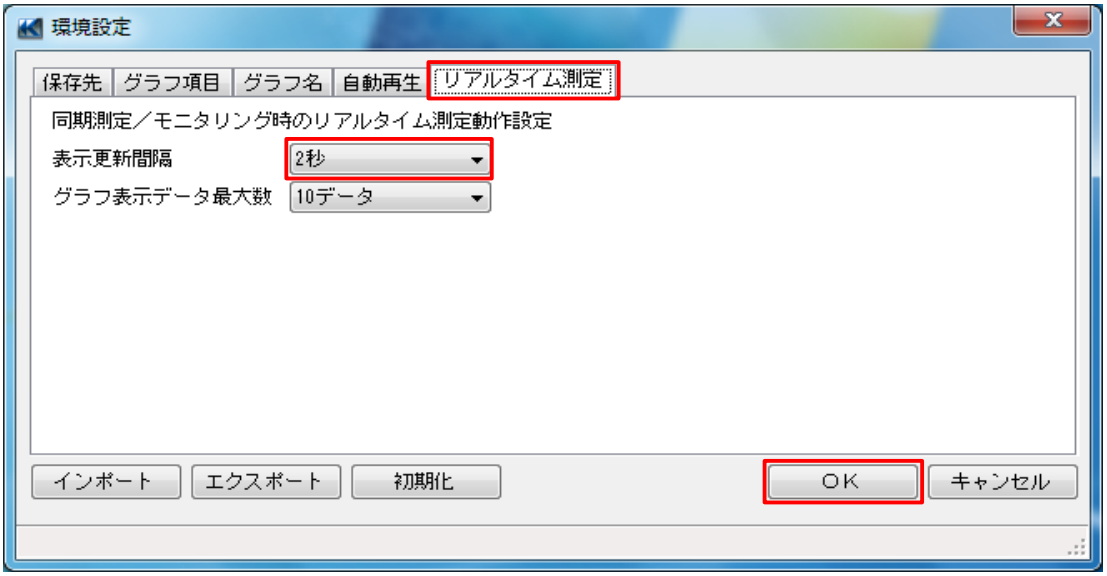
13－6 同期測定、モニタリング測定時の更新間隔変更

1. データ管理ビューアの"環境設定"を選択します。



2. リアルタイム測定タブを選択します。

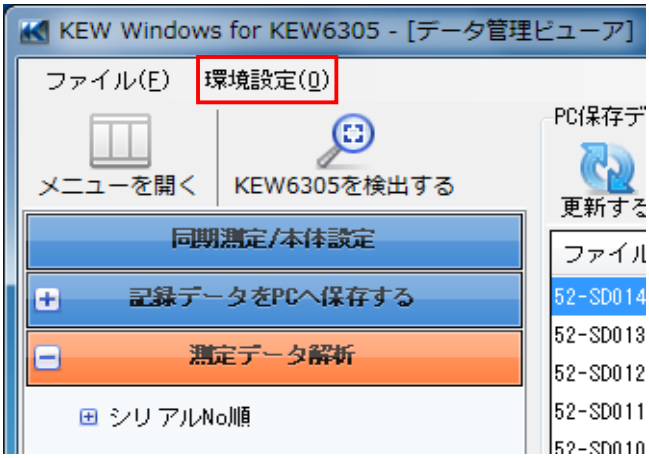
3. 表示更新間隔を変更します。



"OK"を選択すると変更完了です。

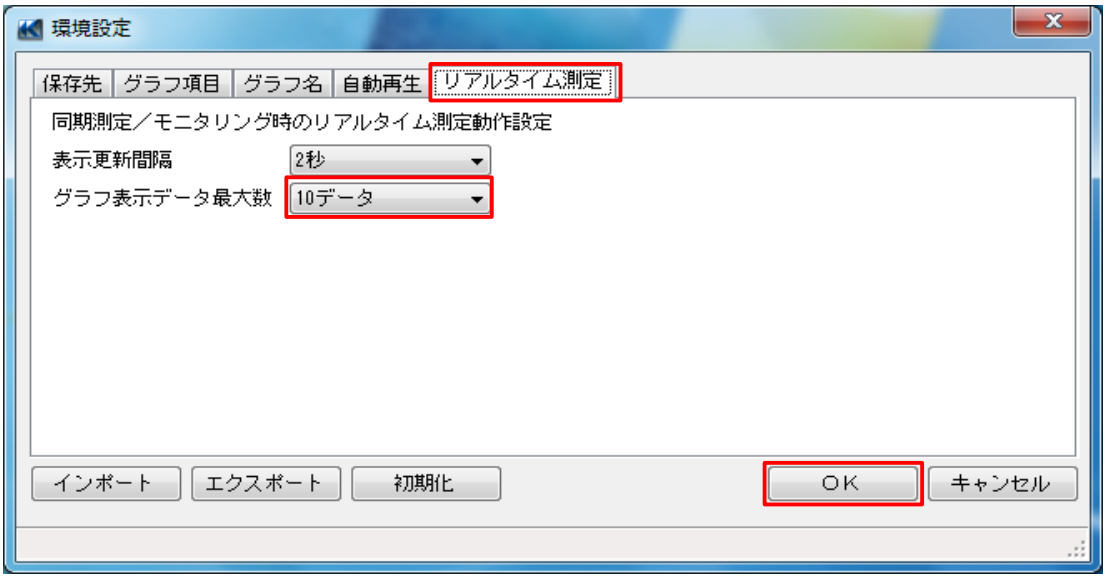
13－7 同期測定、モニタリング測定時の表示データ数変更

1. データ管理ビューアの″環境設定″を選択します。



2. ″リアルタイム測定″タブを選択します。3.

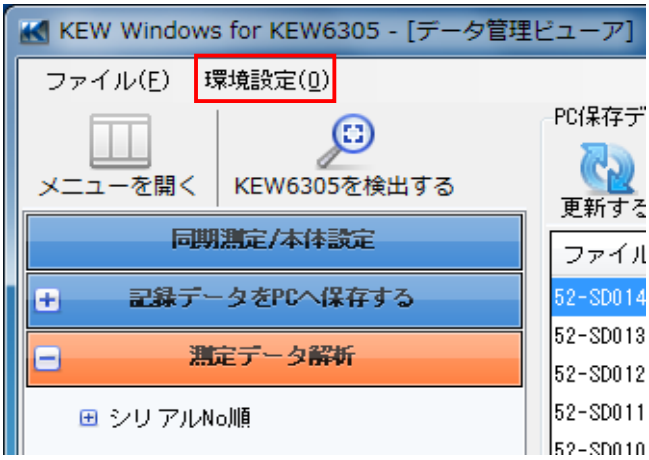
″グラフ表示データ最大数″を変更します。



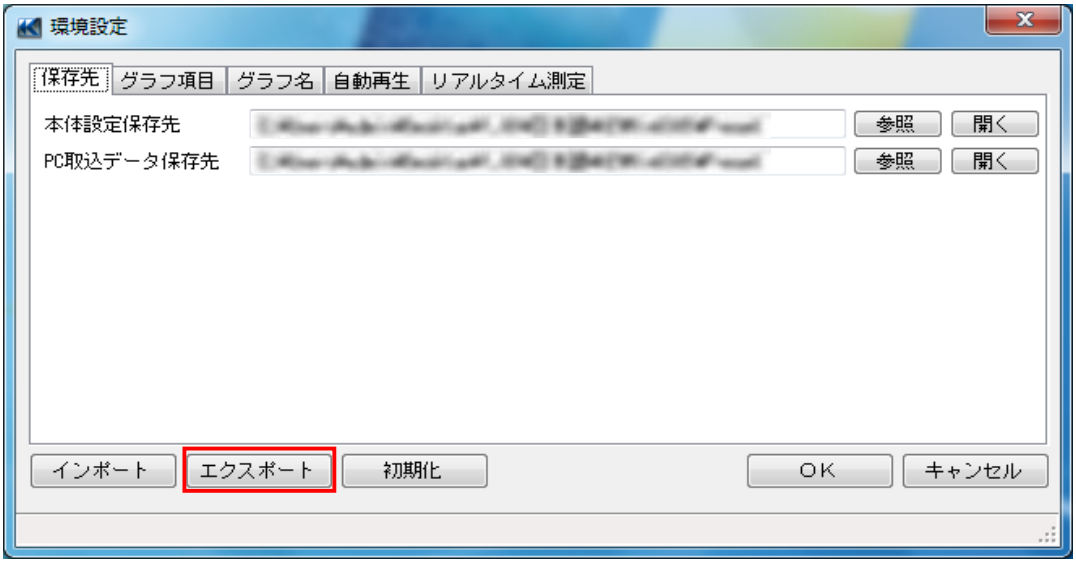
"OK"を選択すると変更完了です。

13－8 環境設定の保存

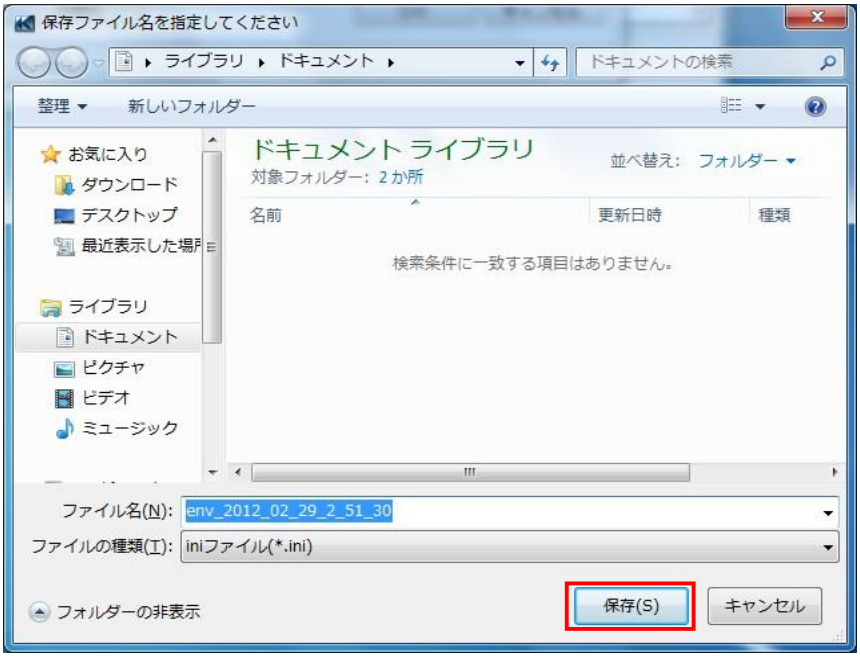
1. データ管理ビューアの"環境設定"を選択します。



2. "エクスポート"ボタンを選択します。



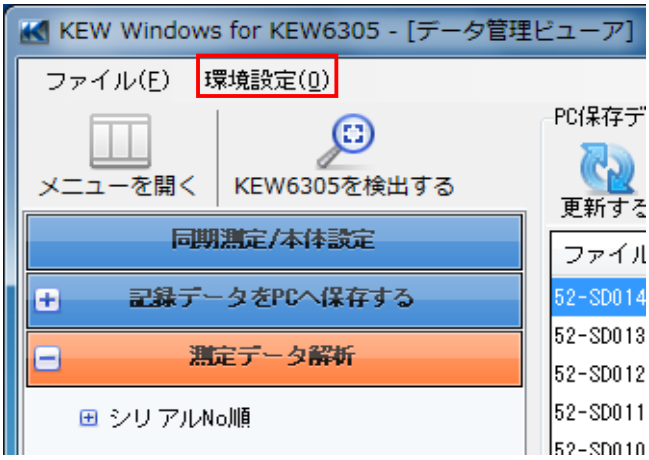
3. 保存先を選んで"保存"ボタンを選択します。



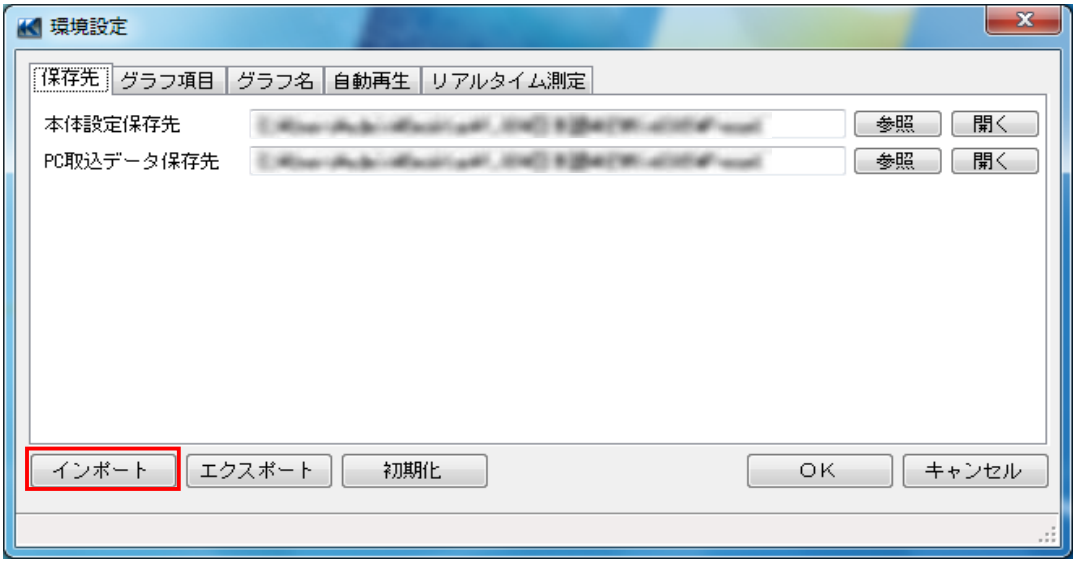
設定ファイルの保存完了です。

13－9 環境設定の読み込み

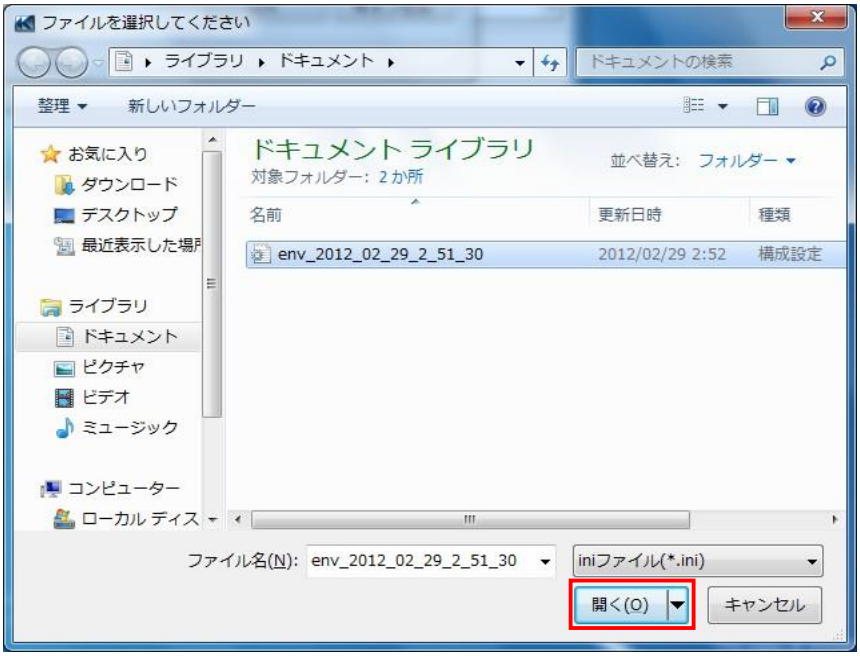
1. データ管理ビューアの"環境設定"を選択します。



2. "インポート"ボタンを選択します。



3. 読込みたい設定ファイルを選択して"開く"ボタンを選択します。

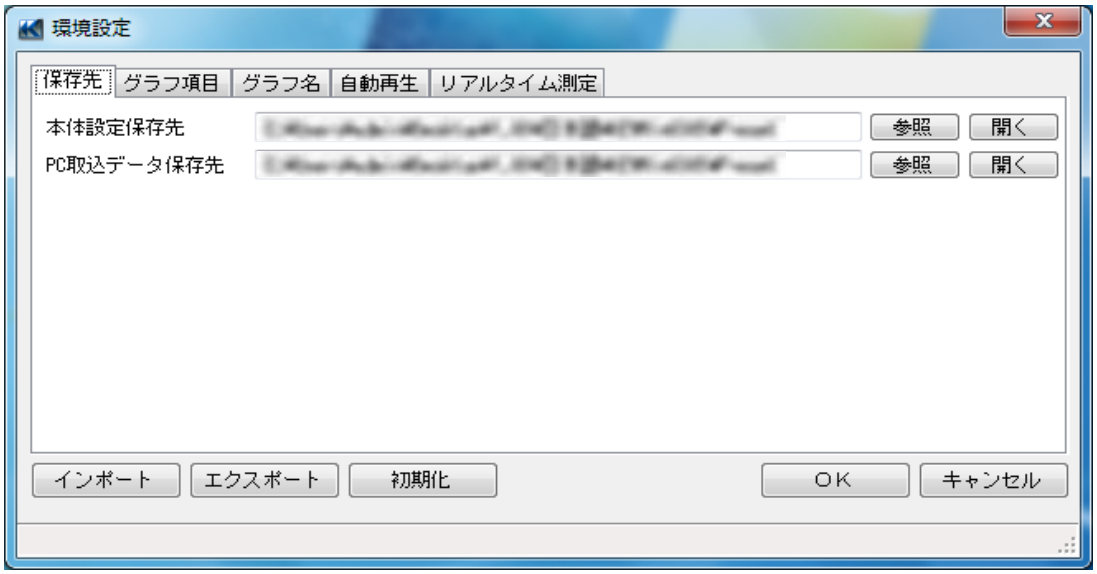


読み込み完了です。

14. 環境設定項目説明

ここでは、環境設定の各項目について説明します。

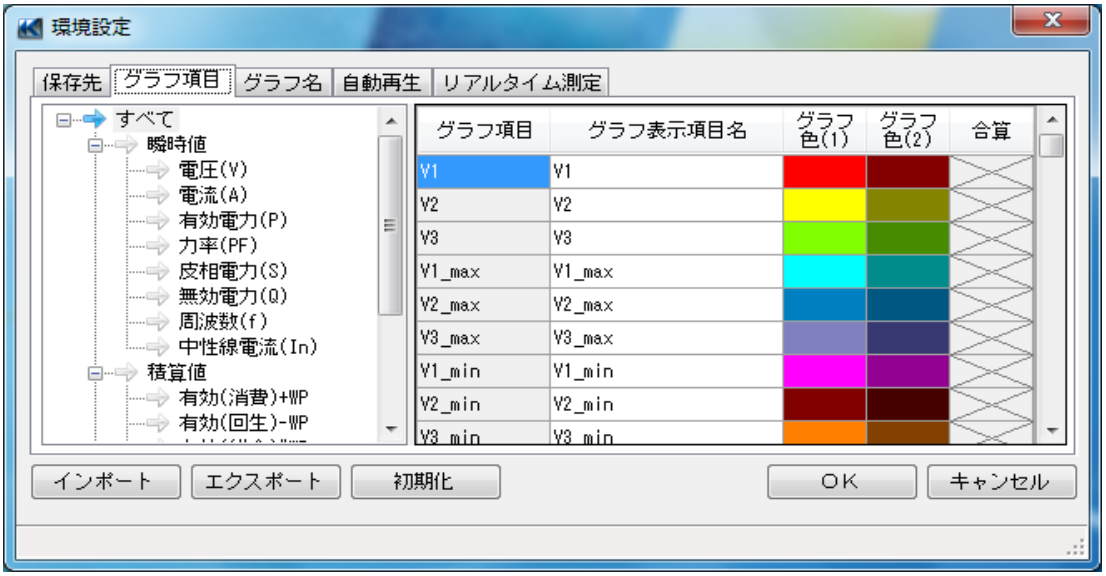
14－1 保存先タブ



- 本体設定保存先　　本体設定のファイルを保存するディレクトリの設定を行います。

- PC取込みデータ先保存先　　ダウンロードしたファイルを保存するディレクトリの設定を行います。

14－2 グラフ項目タブ



- ツリービューア　　ツリー表示のグラフ名を選択すると、選択したグラフに表示する項目を右側に表示します。

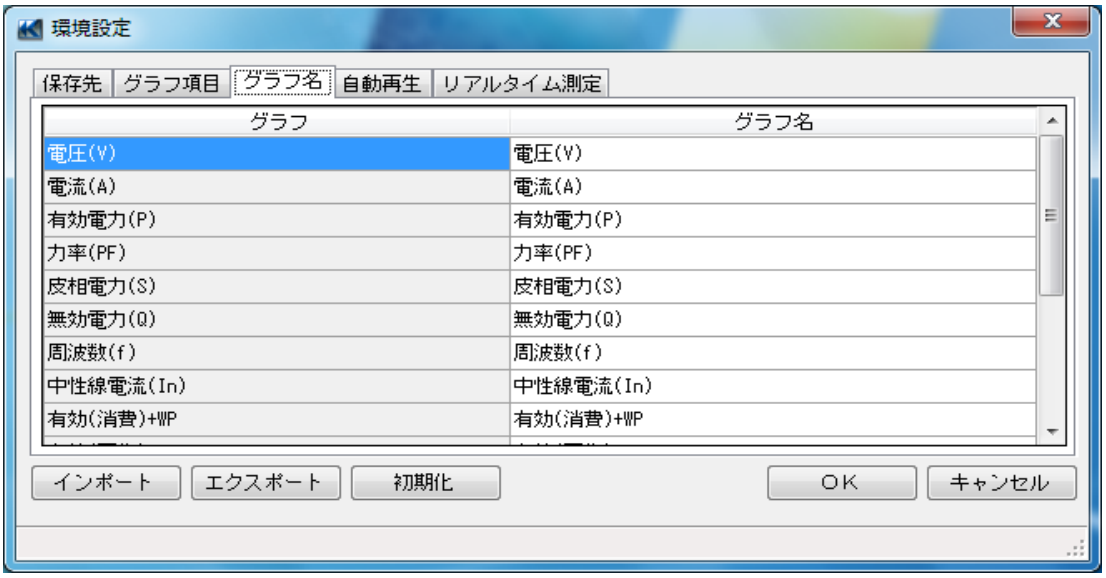
- グラフ表示項目名　　表示項目名を変更するとグラフ表示したときの項目名が変更されます。

- グラフ色(1)　　グラフ色(1)は、1台で測定したデータを読込んだときのグラフに使用します。

- グラフ色(2)　　グラフ色(2)は、2台で測定したデータを読込んだときに2台目のグラフに使用します。

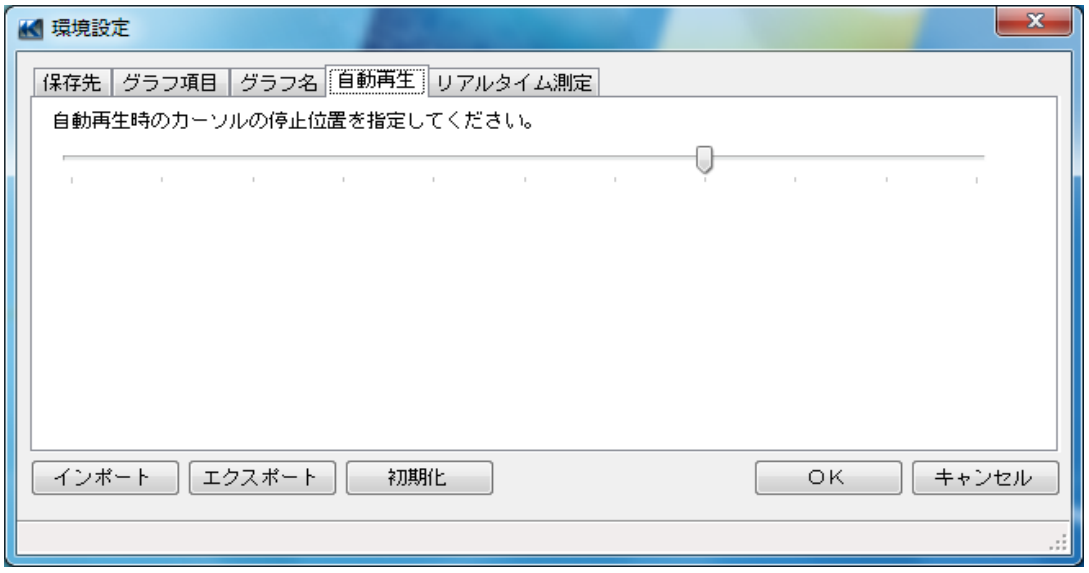
- 合算　　合算は、2台の合算値のグラフに使用します。

14－3 グラフ名タブ



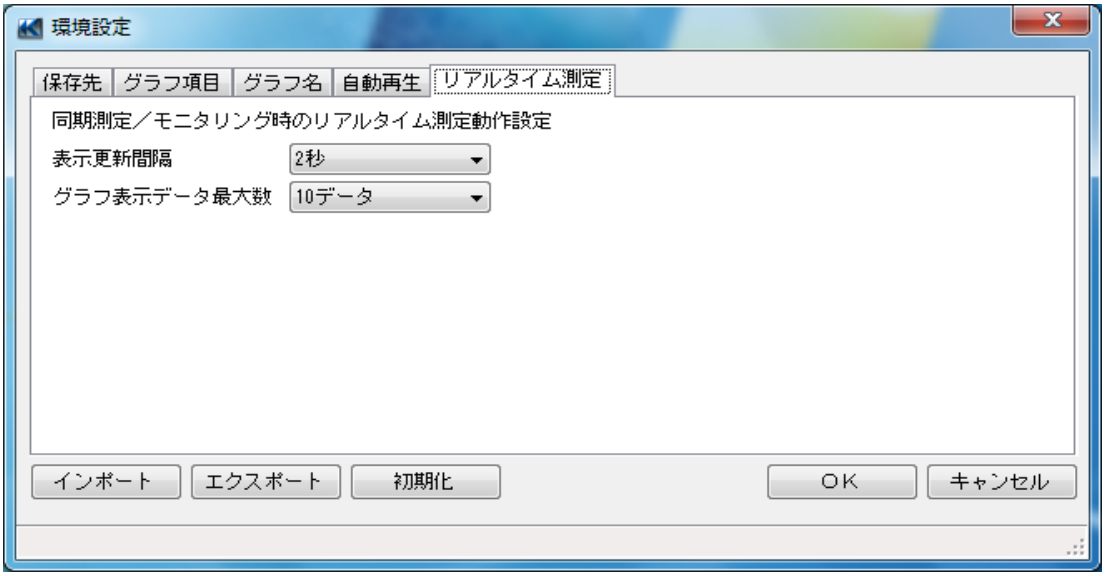
■ 表示グラフ名　　表示カテゴリ名は、グラフ表示したときにグラフ名に使用します。

14－4 自動再生タブ



■ 自動再生カーソル位置　　自動再生しときに、グラフのカーソルを停止させる位置です。

14－5 リアルタイム測定タブ



- 表示更新間隔　　同期測定/モニタリング時のグラフを更新する間隔です。
- グラフ表示データ最大数　　同期測定/モニタリング時のグラフに表示するデータ数です。

14－6 インポート/エクスポート/初期化

- インポート　　環境設定で設定した値を保存します。
- エクスポート　　環境設定を保存したファイルを読込みます。
- 初期化　　環境設定を初期値に戻します。

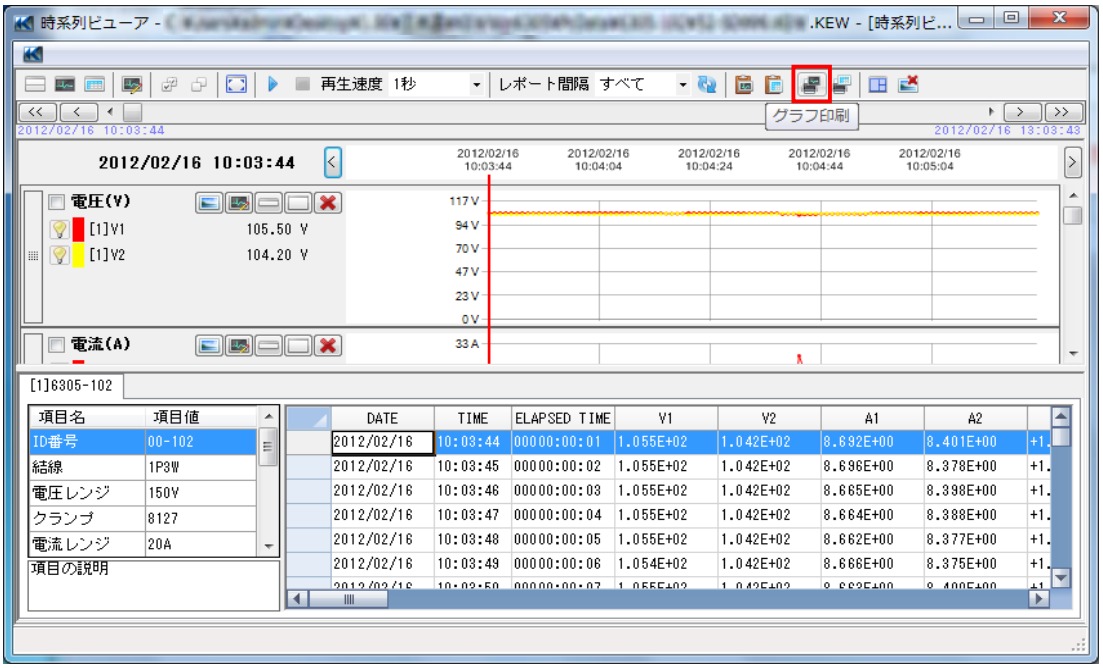
環境設定を変更した場合は必ずOKを選択して画面を閉じてください。
OKを選択しないで画面を閉じると変更が反映されません。

15. 印刷

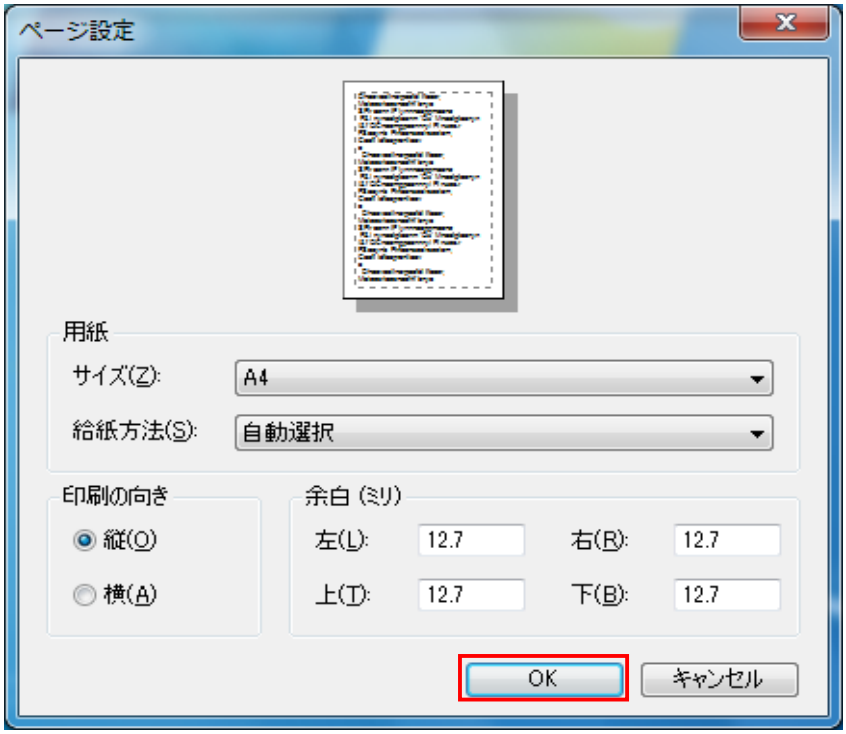
ここでは、印刷操作手順について説明します。

15－1 グラフ印刷手順

1. 時系列ビューアのグラフを印刷を選択します。

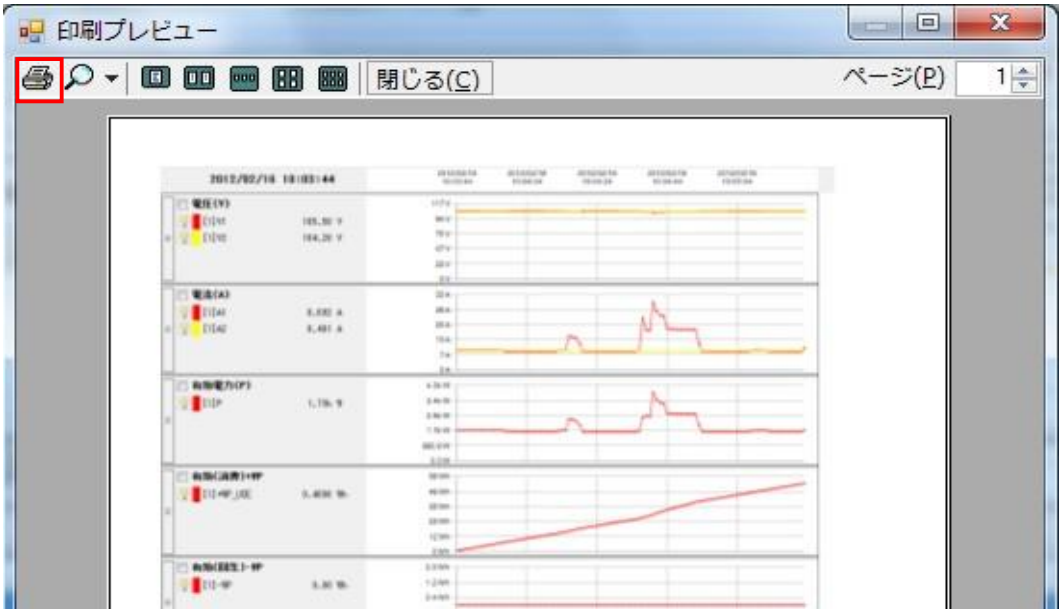


2. ページ設定画面が表示されたら設定を確認し"OK"を選択します。

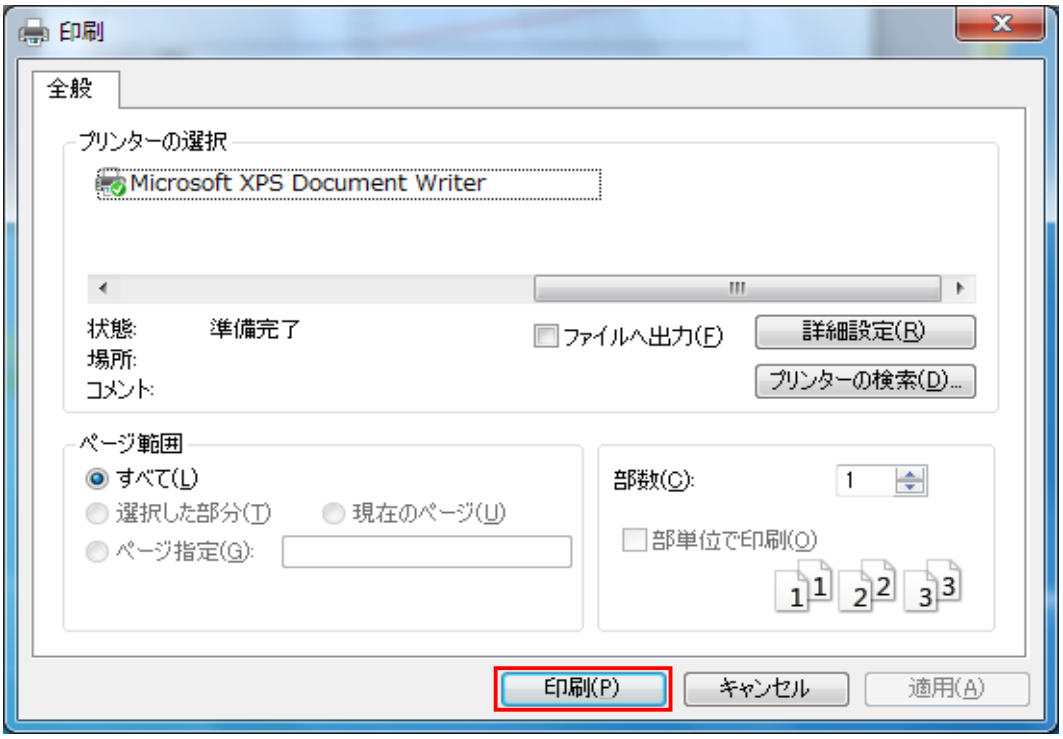


3．”OK”を選択すると印刷プレビューが表示されます。

4．″印刷″を選択すると印刷画面が表示されます。

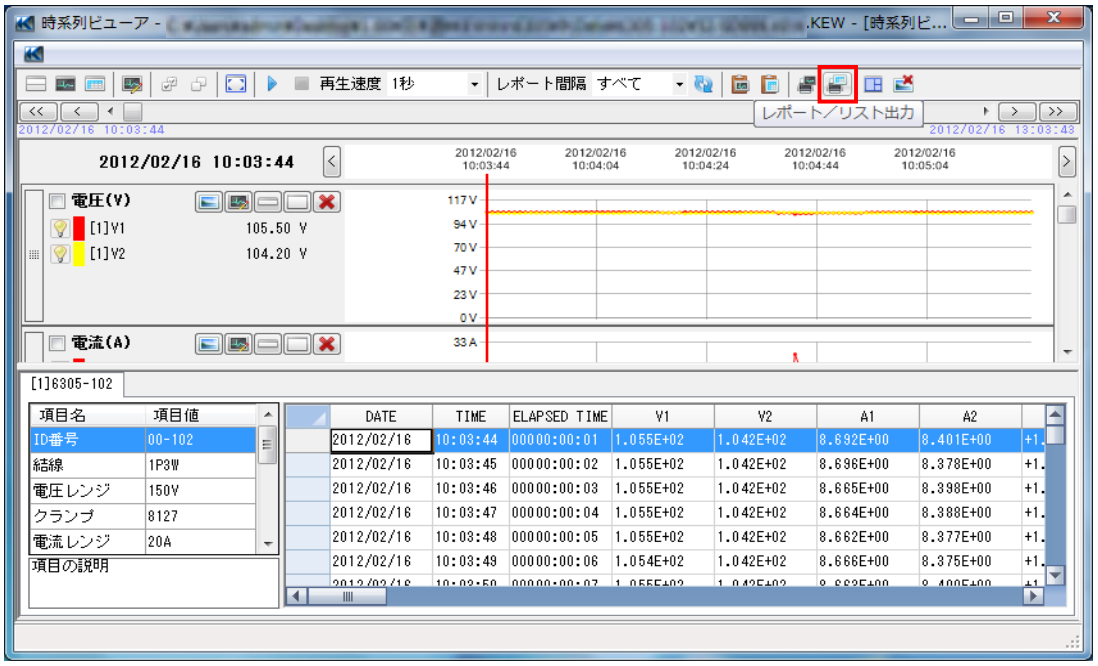


5．″印刷″を選択するとグラフが印刷されます。

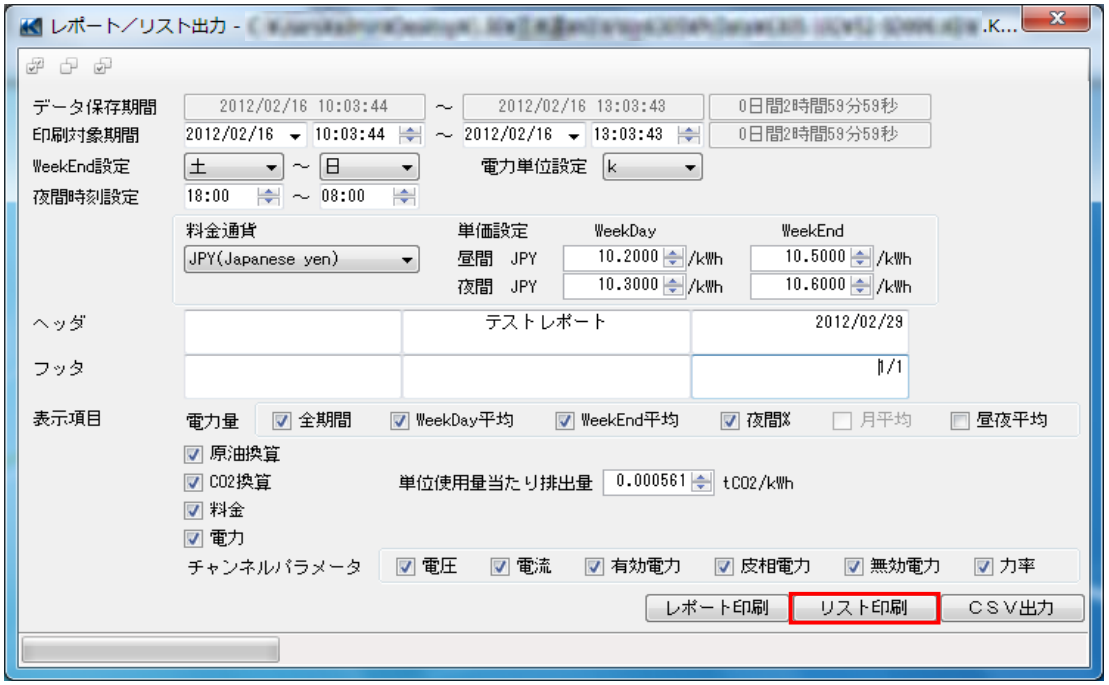


15－2 リスト印刷手順

1. 時系列ビューアの"レポート/リスト出力"を選択されます。

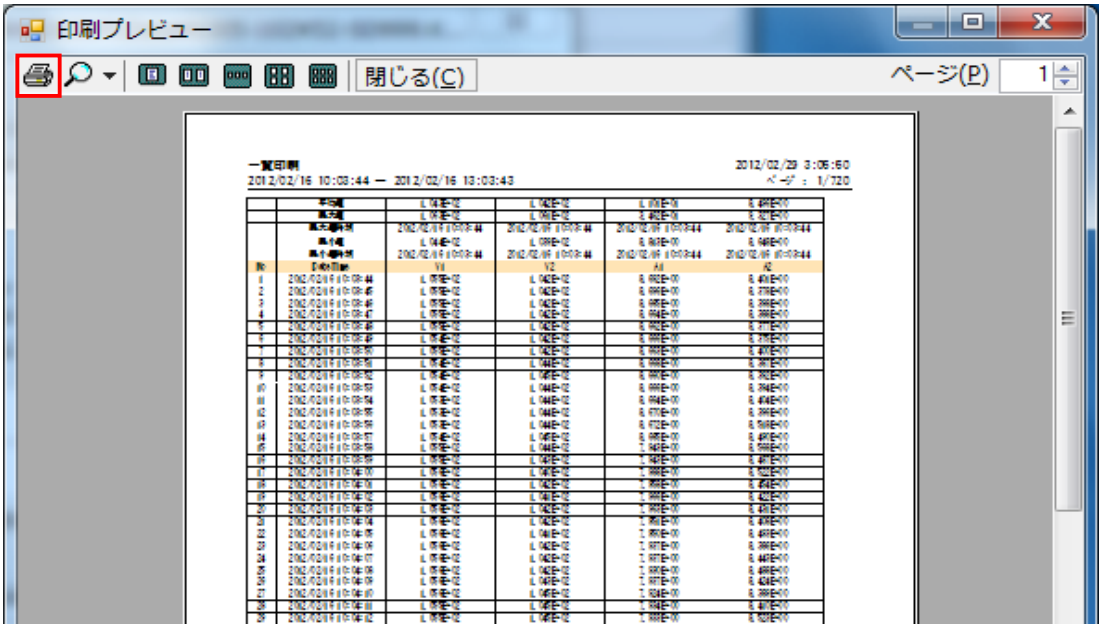


2. レポート/リスト出力画面の"リスト印刷"を選択します。

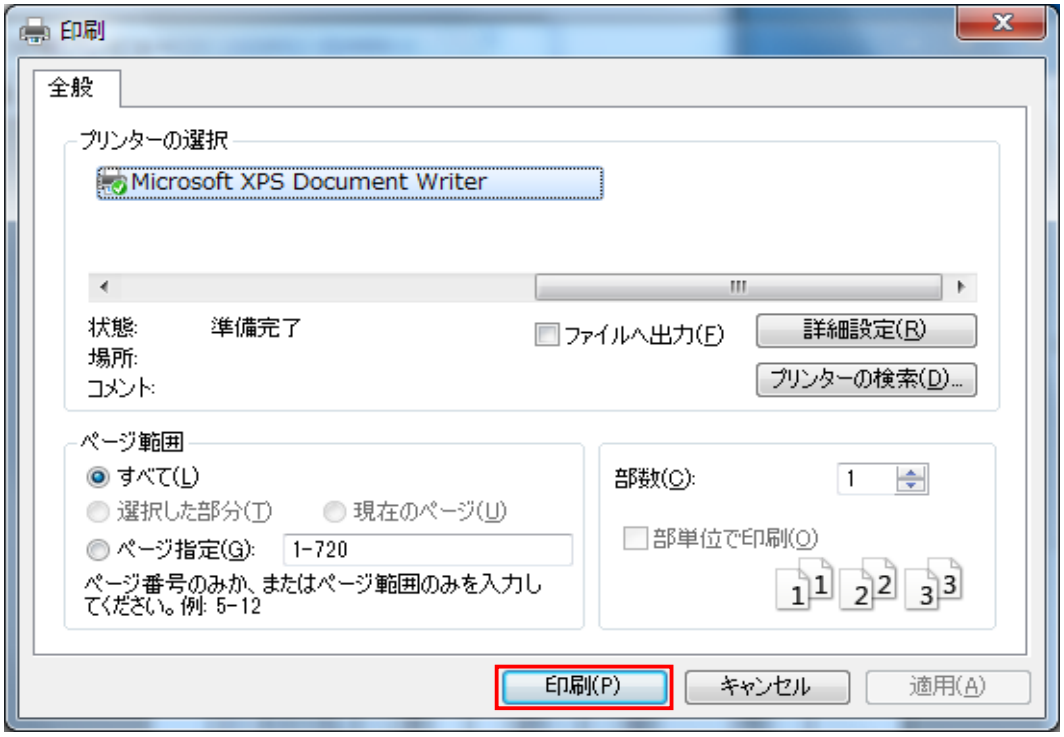


3. 印刷プレビュー画面が表示されます。

4. ″印刷″を選択すると、″印刷画面″が表示されます。

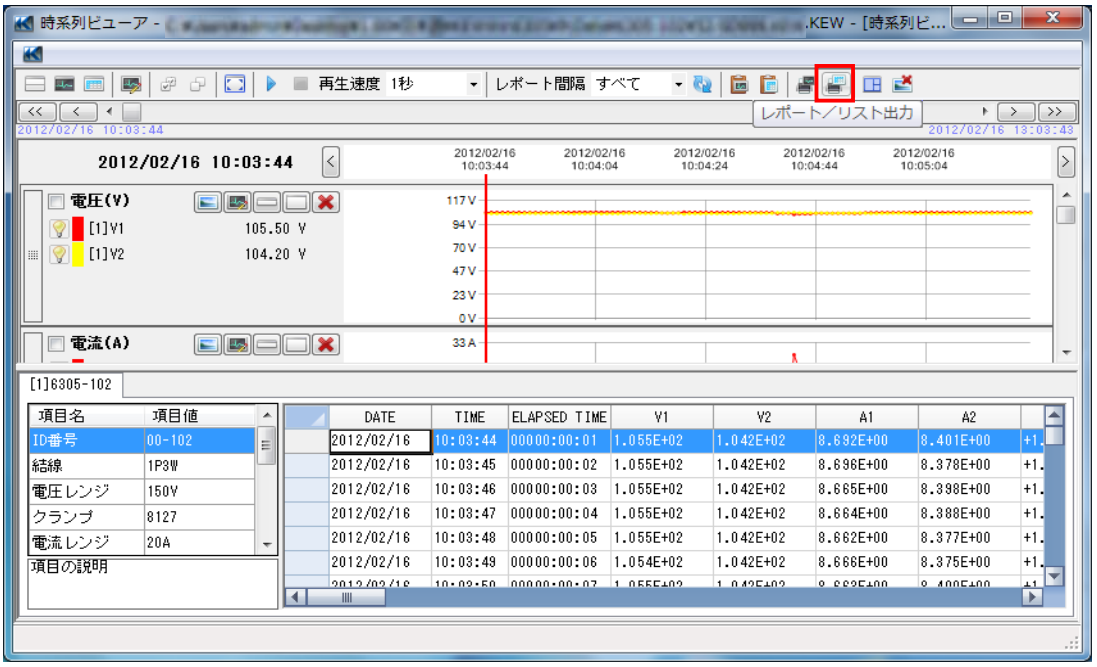


5. 印刷を選択するとリストが印刷されます。

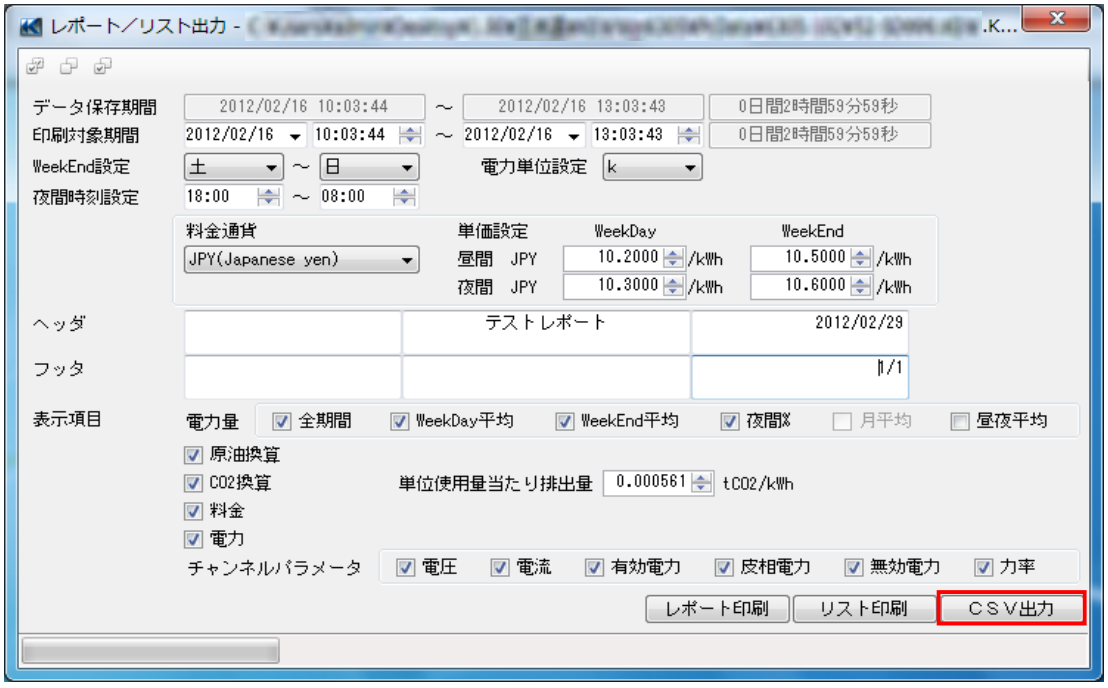


１５－３ CSV出力手順

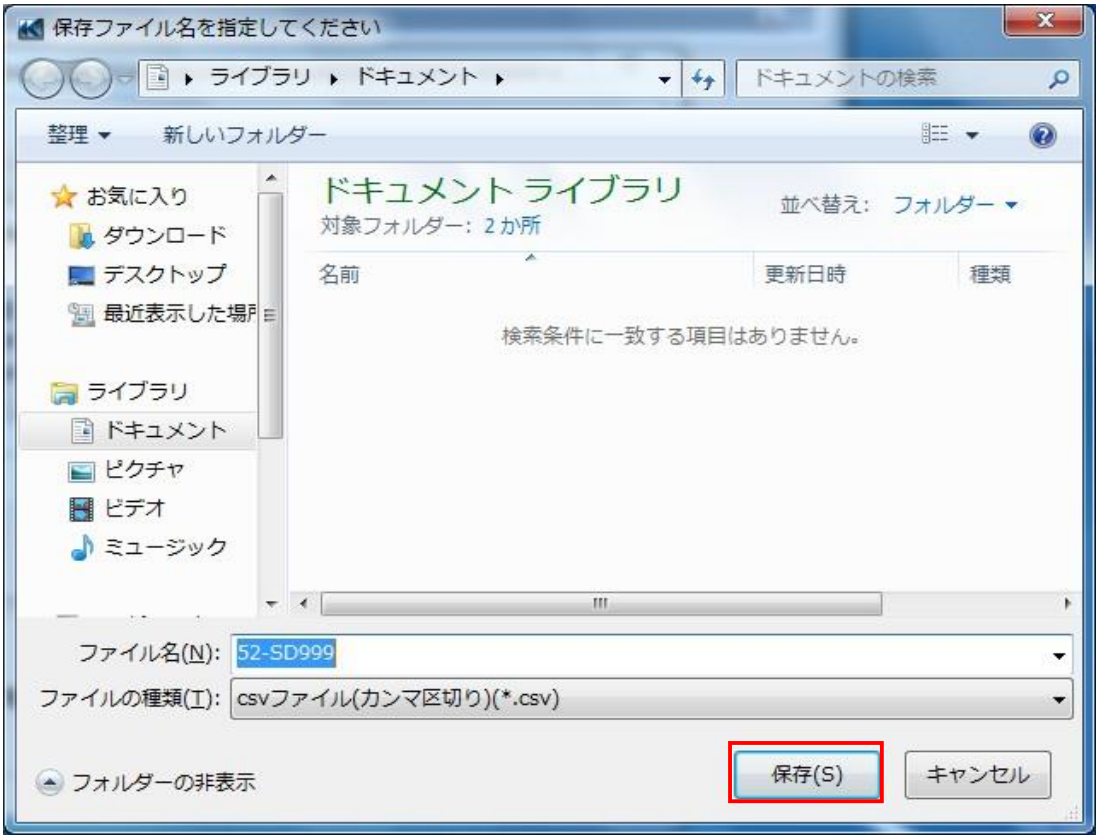
1. 時系列ビューアの"レポート/リスト出力"を選択します。



2. レポート/リスト出力画面の"CSV出力"を選択します。



3. 保存先を指定してファイル名を付け、保存を選択します。

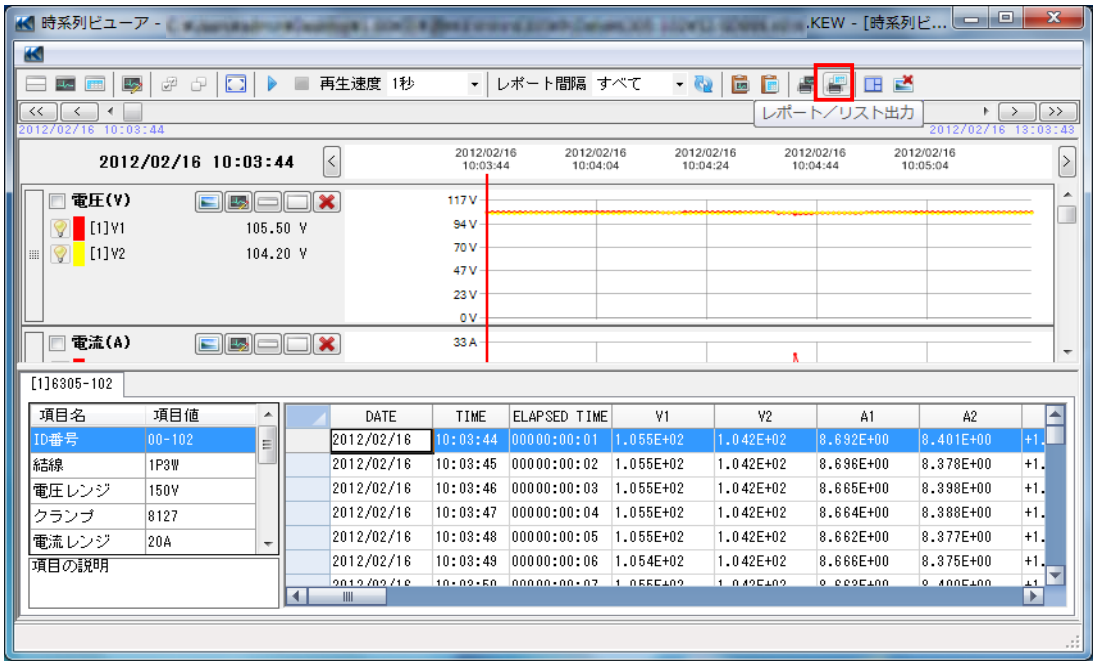


下記の画面が表示されたらCSV出力完了です。
"OK"を選択して画面を閉じてください。

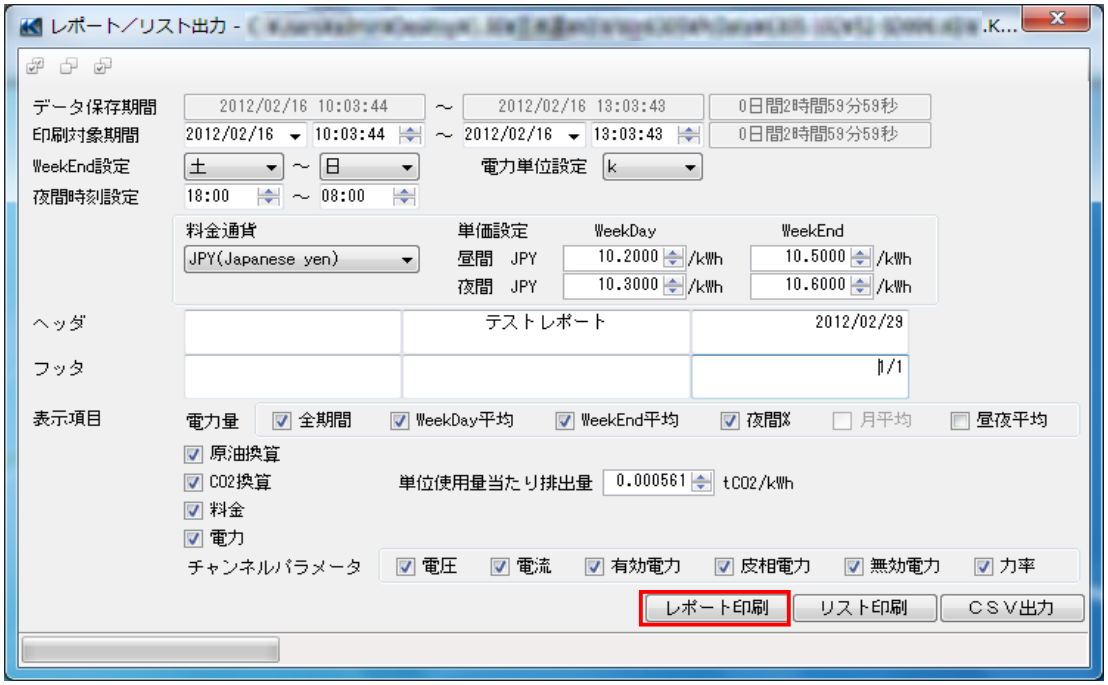


15－4 レポート印刷手順

1. 時系列ビューアの"レポート/リスト出力"を選択します。

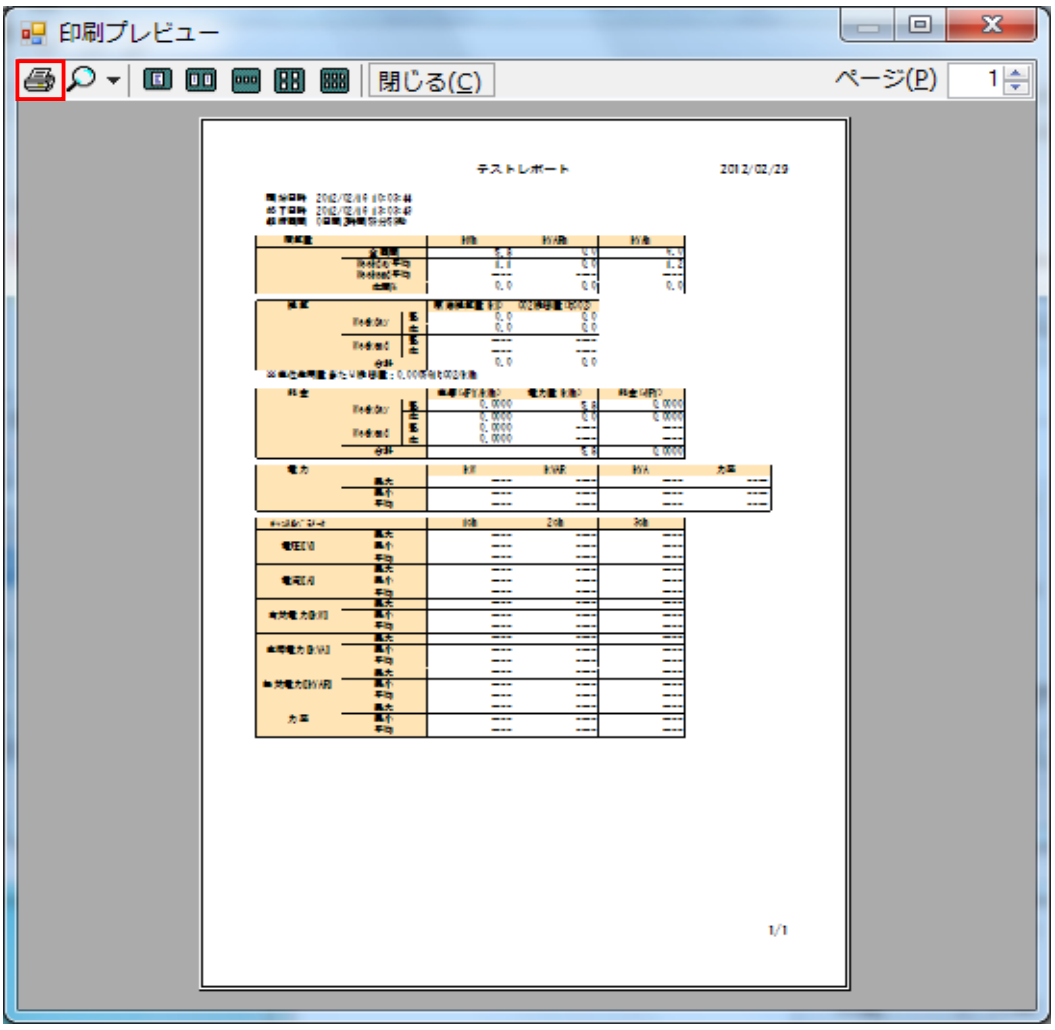


2. レポート/リスト出力画面の"レポート印刷"を選択します。

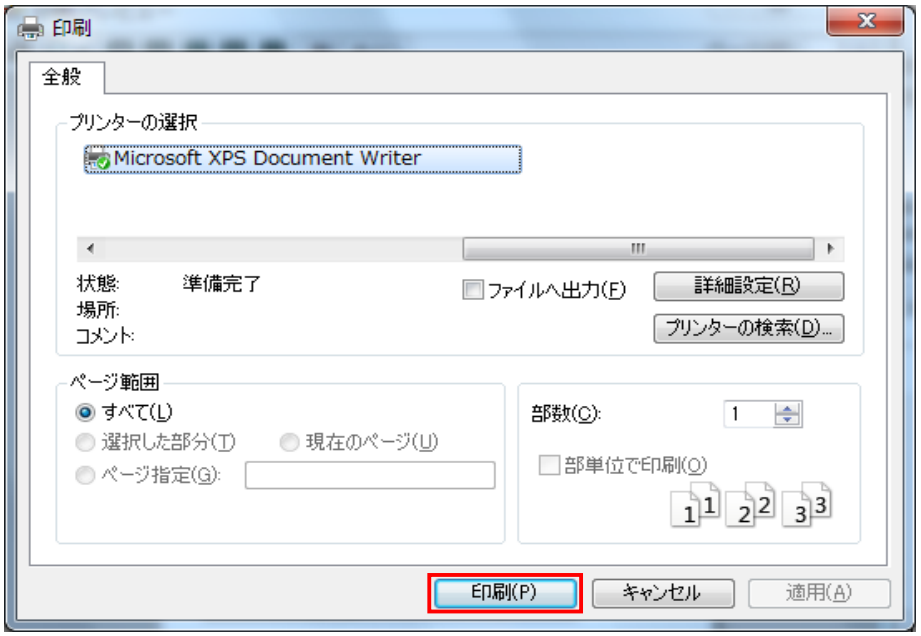


3. 印刷プレビュー画面が表示されます。

4. ″印刷″を選択すると、印刷画面が表示されます。

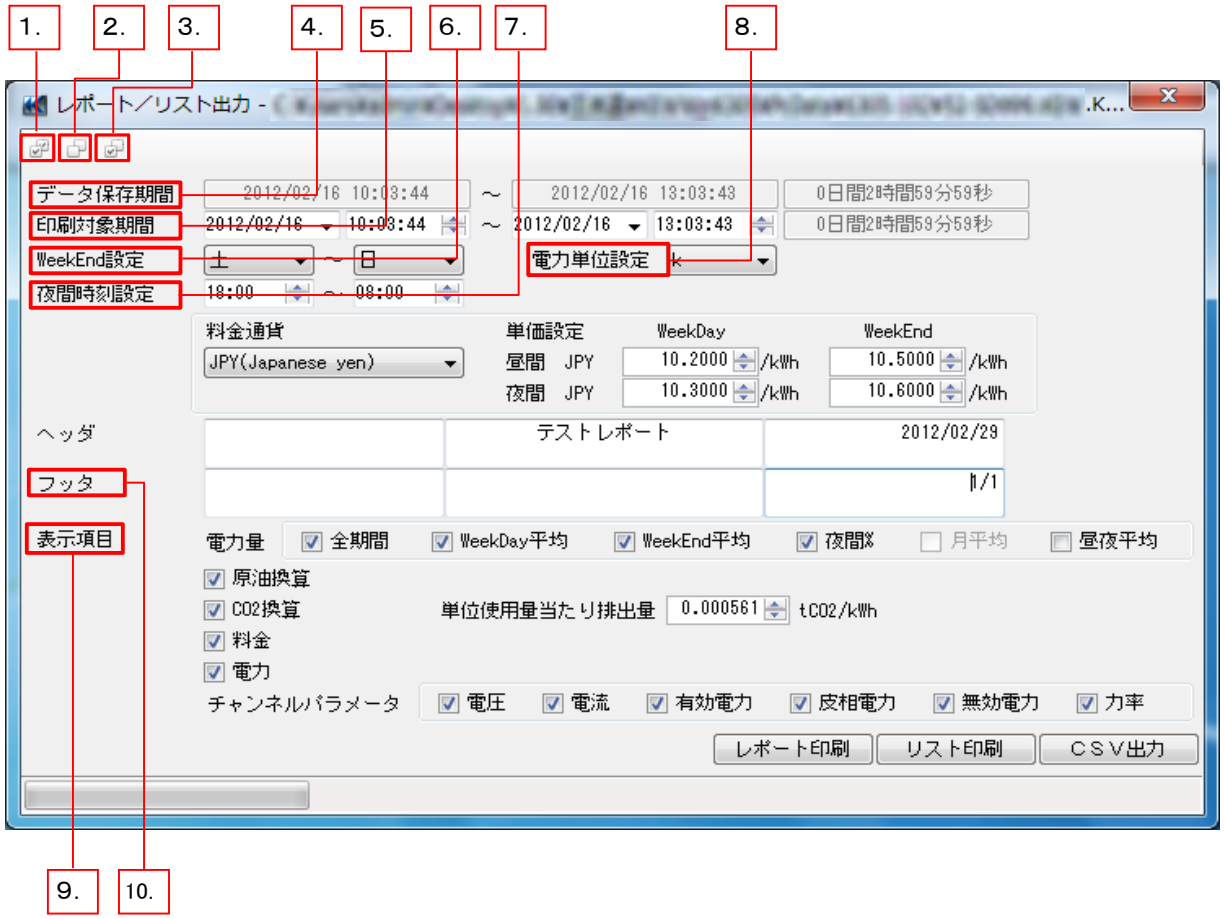


5. ″印刷″を選択するとレポートが印刷されます。

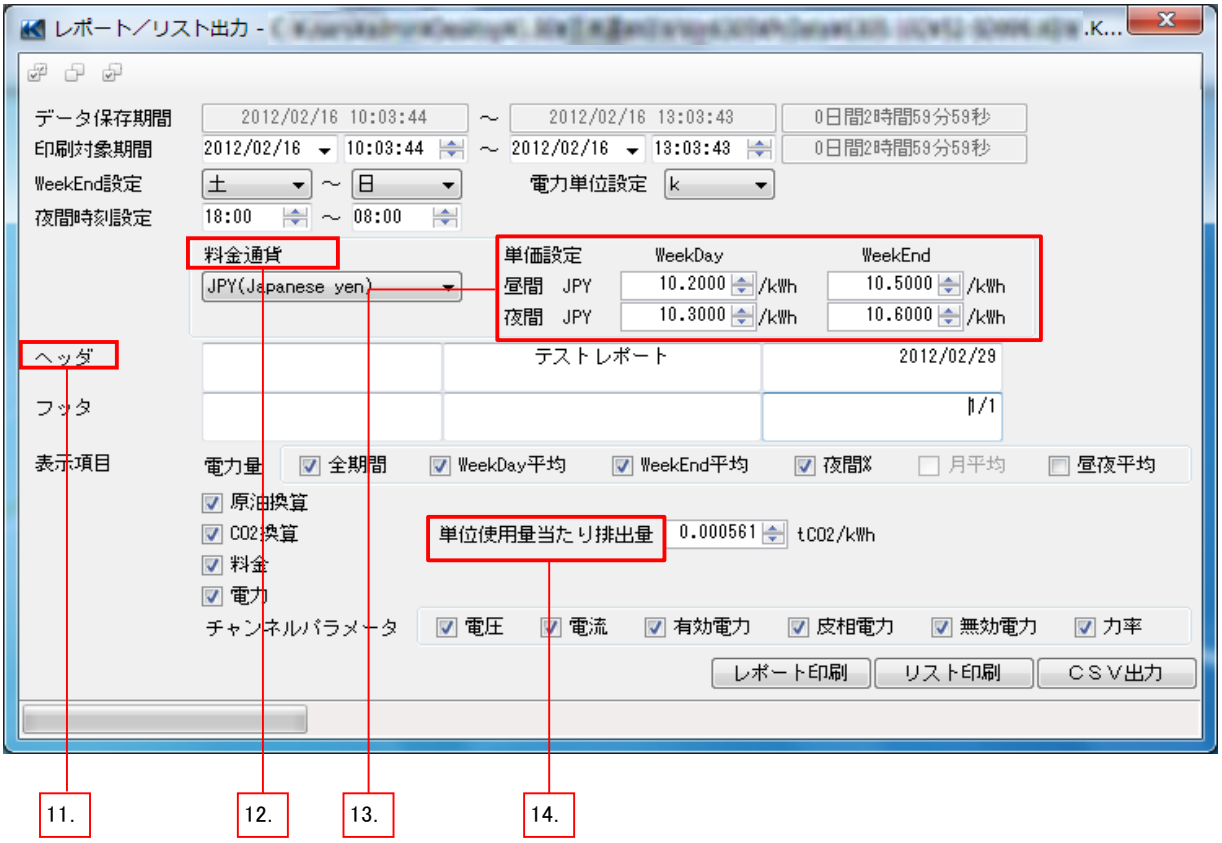


16. レポート機能項目説明

ここでは、レポート機能の各項目ついて説明します。



1.	全チェック	表示項目のすべてのチェック欄にチェックが入ります。
2.	全クリア	表示項目のチェック欄のチェックがすべて外れます。
3.	デフォルト	月平均、昼夜平均以外のチェック欄にチェックが入ります。
4.	データ保存期間	読み込んだデータファイルの測定開始から 測定終了までのトータル時間です。
5.	印刷対象期間	レポートを作成する期間を設定します。
6.	WeekEnd設定	1週間の内、週末をいつにするか設定します。
7.	夜間時刻設定	夜間時刻を設定します。 何時から何時までを夜間時刻とするか決めます。
8.	電力単位設定	電力量を表示する際の単位を設定します。
9.	表示項目	チェックボックスにチェックを入れた項目を印刷します。
10.	フッタ	印刷時にフッタ部分に表示される文字列です。 "1/1"と入力すると、"ページ番号/総ページ数"を 表示します。



11. ヘッダ　　印刷時にヘッダ部分に表示される文字列です。
"1/1"と入力すると、"ページ番号/総ページ数"を表示します。

12. 料金通貨　　料金通貨を設定します。

13. 単価設定
昼間/WEEKDAY　　WEEKDAYの昼の料金を設定します。

夜間/WEEKDAY　　WEEKDAYの夜の料金を設定します。

昼間/WEEKEND　　WEEKENDの昼の料金を設定します。

夜間/WEEKEND　　WEEKENDの夜の料金を設定します。

14. 単位使用量当たり排出量　　単位使用量当たり排出量を設定します。

17．測定ファイルの取り込み

ここでは、KEW6305の測定ファイルをアプリケーションに取り込む操作手順を説明します。

17－1 測定データのインポート手順1

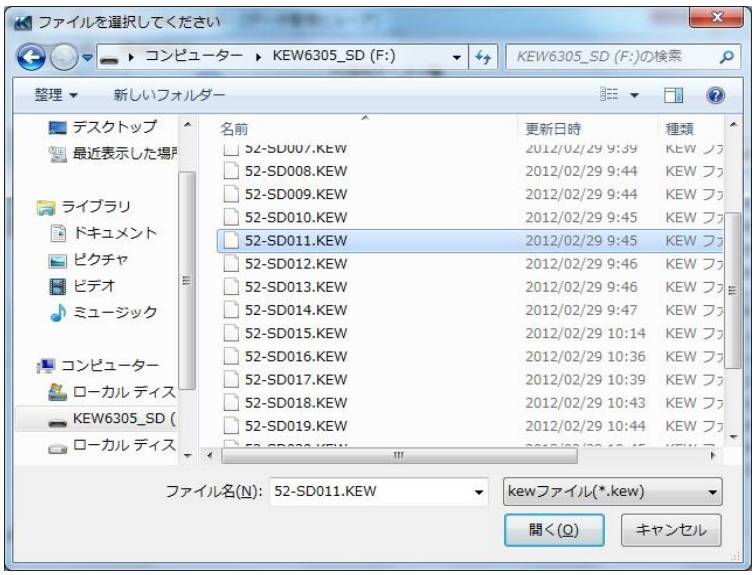
1．メニュー画面の"記録データ解析する"を選択します。
メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
"メニューを開く"を選択すると表示されます。



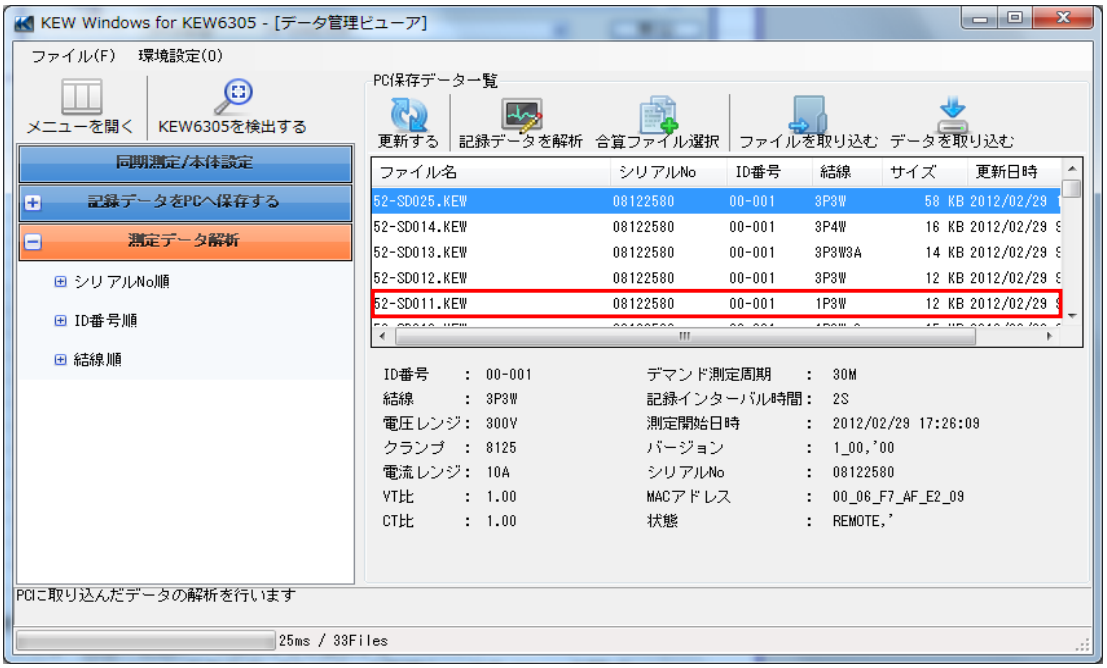
2．データ管理ビューアの"ファイルを取り込む"を選択します。



3．ファイルを開く画面が表示されるので、KEW6305の測定データを選択します。
(例)マイコンピューター→KEW6305_SD(F:)→52-SD011.KEW
↳ドライブ名、ファイル名はお客様の環境によって
異なる場合があります。



開くを選択すると、測定データ解析のPC保存データー覧に選択したファイルが追加されます。

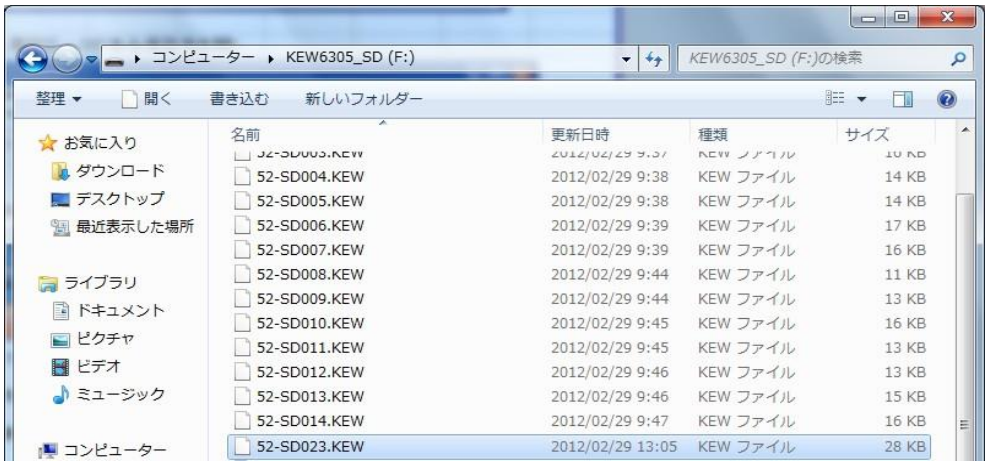


17－2 測定ファイルの取り込み手順2

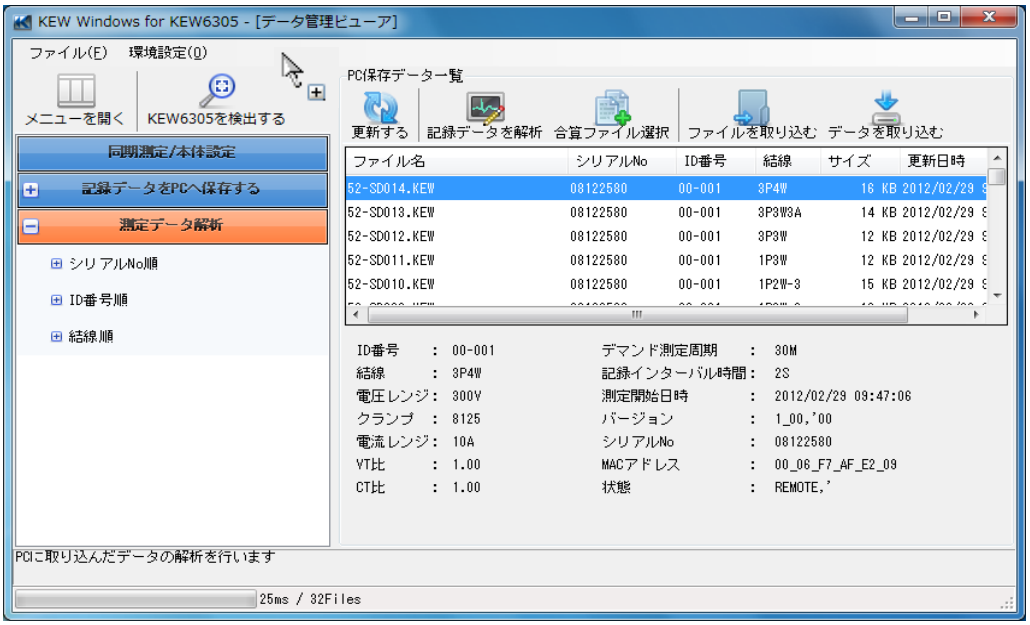
1. メニュー画面の"記録データ解析する"を選択します。
   メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
   "メニューを開く"を選択すると表示されます。



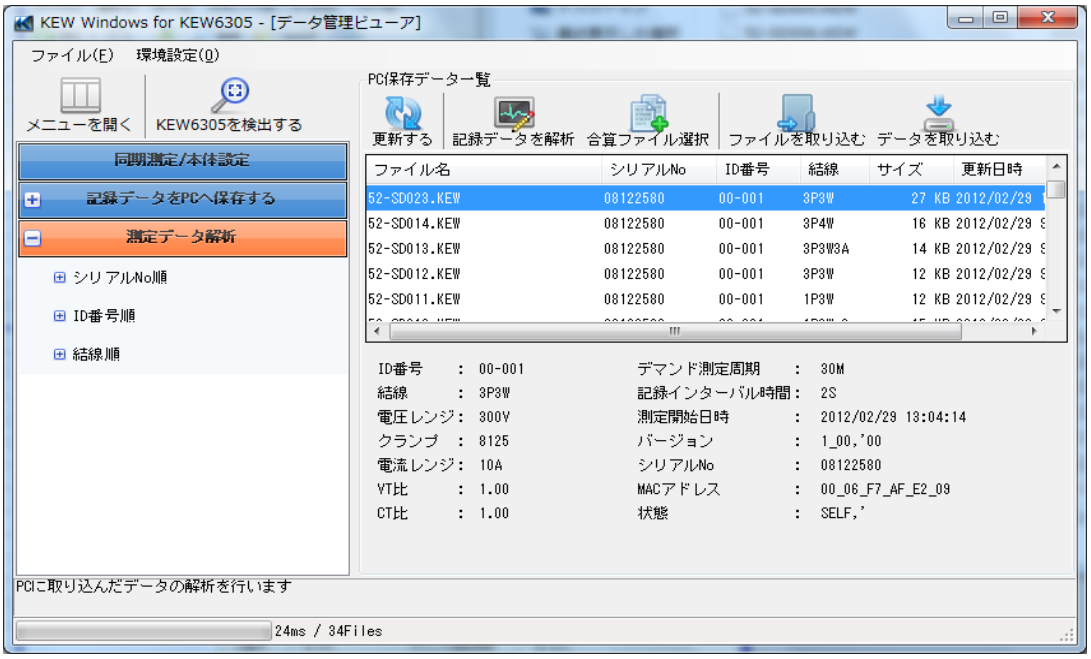
2. 取り込みたいKEW6305の測定データがある保存先を開きます。
   (例)マイコンピューター→KEW6305_SD(F:)→52-SD023.KEW
   ドライブ名、ファイル名はお客様の環境によって異なる場合があります。



3. 取り込みたいファイルを選択し、ドラッグしてマウスカーソルを
″データ管理ビューア″画面に移動させます。



4. データ管理ビューアまで移動させたらドラッグを解除します。
成功すると、PC保存データー覧にファイルが追加されます。



18. データ合算

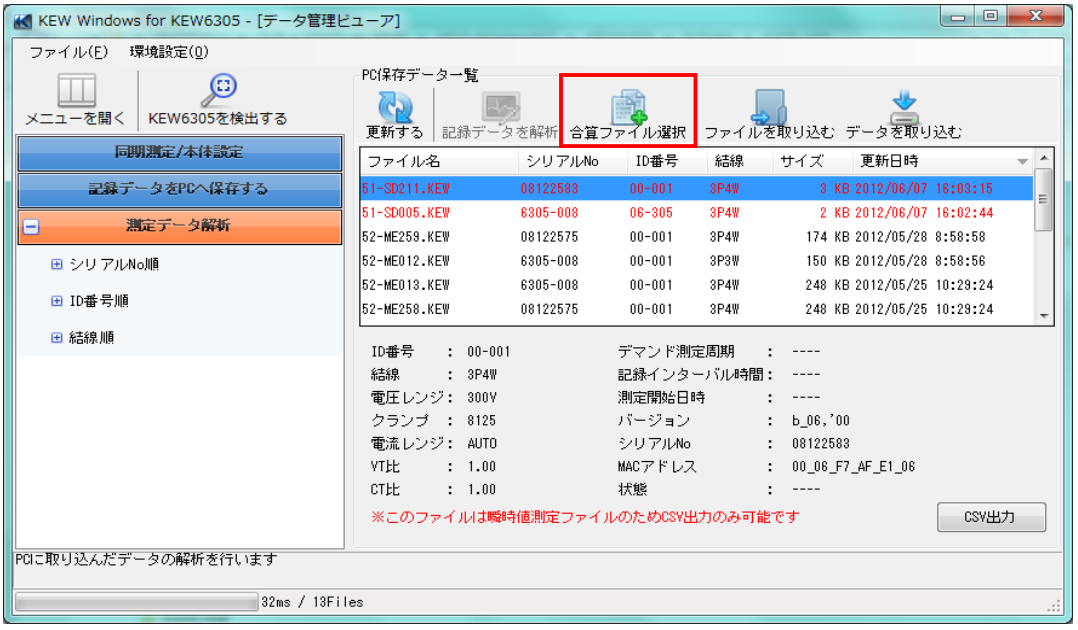
ここでは、2つの測定データの合算値を表示する手順を説明します。

18－1 個別に測定したデータの合算

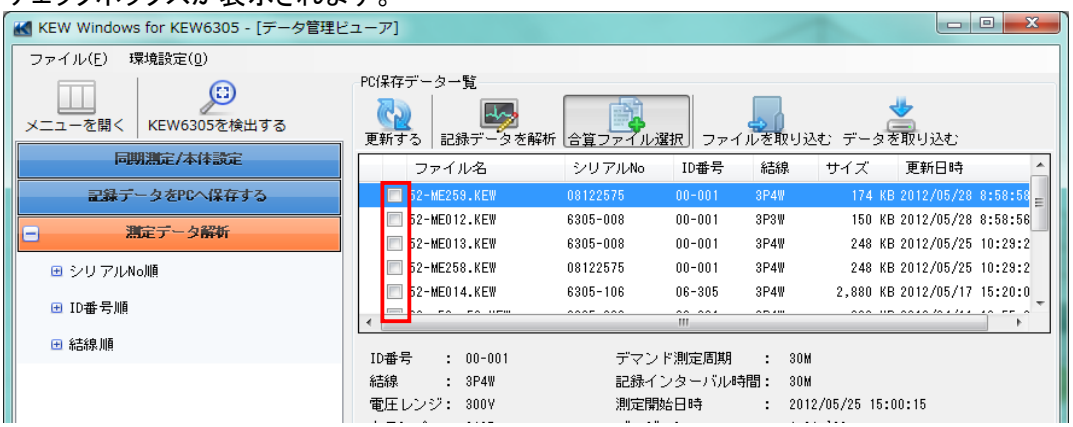
1. メニュー画面の"記録データを解析する"を選択します。
   メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
   "メニューを開く"を選択すると表示されます。



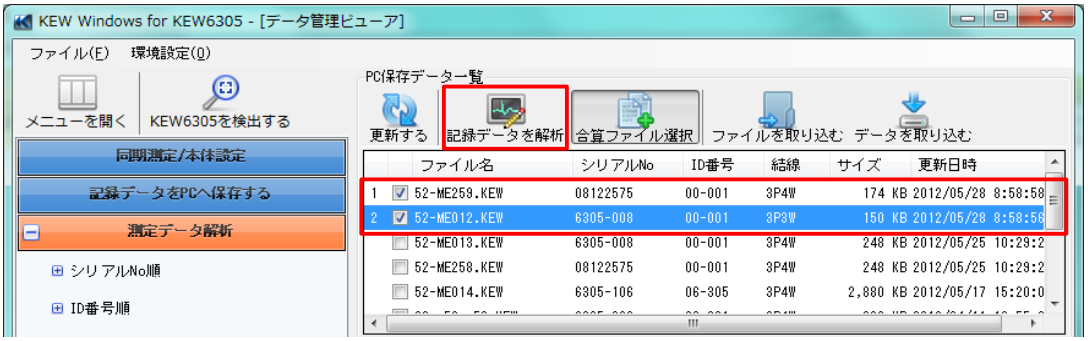
2. PC保存データー覧の"合算ファイル選択"を選択します。



3. "合算ファイル選択"ボタンを選択すると、ファイル一覧に、
   チェックボックスが表示されます。



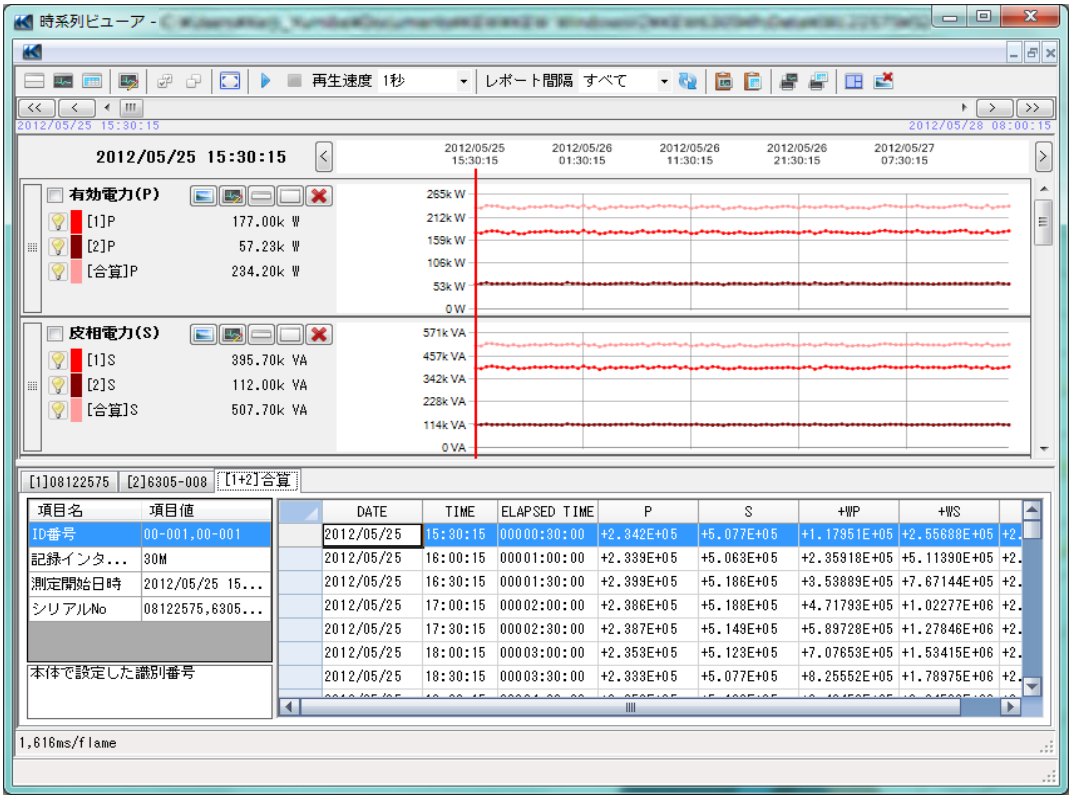
4.　　合算表示させたいファイルを2つ選択します。2つ選択したら、"データ解析"ボタンを選択します。
チェックボックスの左横に表示されている″1″、″2″については後で説明する、″18－5 個別測定データ合算の注意点″を参照してください。



合算表示させれるデータは最大2つまでです。
3つ以上選択しようとすると下記画面が表示されます。

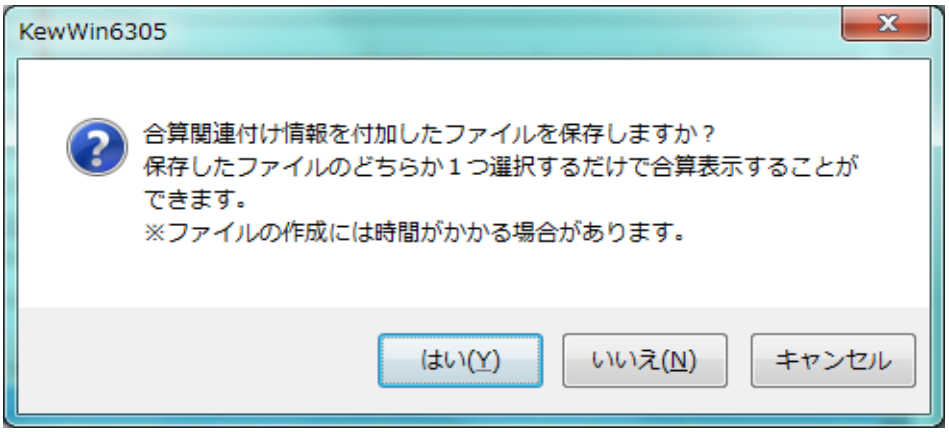


5. ″データ解析″ボタンを選択すると合算表示した時系列ビューアが表示されます。

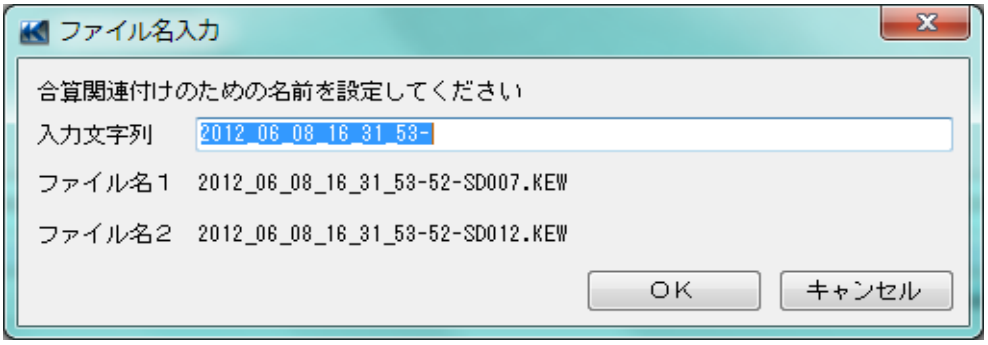


18－2 合算関連付け情報追加ファイル作成

1. 個別に測定したデータを合算表示させた後、時系列ビューアを閉じようとすると
   下記画面が表示されます。

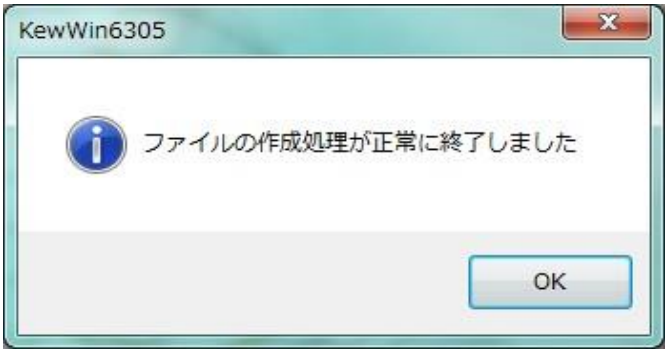


2. "はい"を選択すると下記画面が表示されます。
   "いいえ"を選択するとファイルを作成しないで時系列ビューアを閉じます。
   "キャンセル"を選択すると時系列ビューアの画面に戻ります。



"OK"を選択すると、合算した2つのファイルの合算関連付け情報を追加したファイルを作成します。ファイルを作成しておくと、次回データ合算を行うときに2つファイルを選択しなくても、今回作成したファイルのどちらか1つ選択するだけで自動で合算表示を行うことが可能となります。

下記画面が表示されると、ファイルの作成終了です。
″OK″を選択して、画面を閉じると時系列ビューアの画面も閉じます。

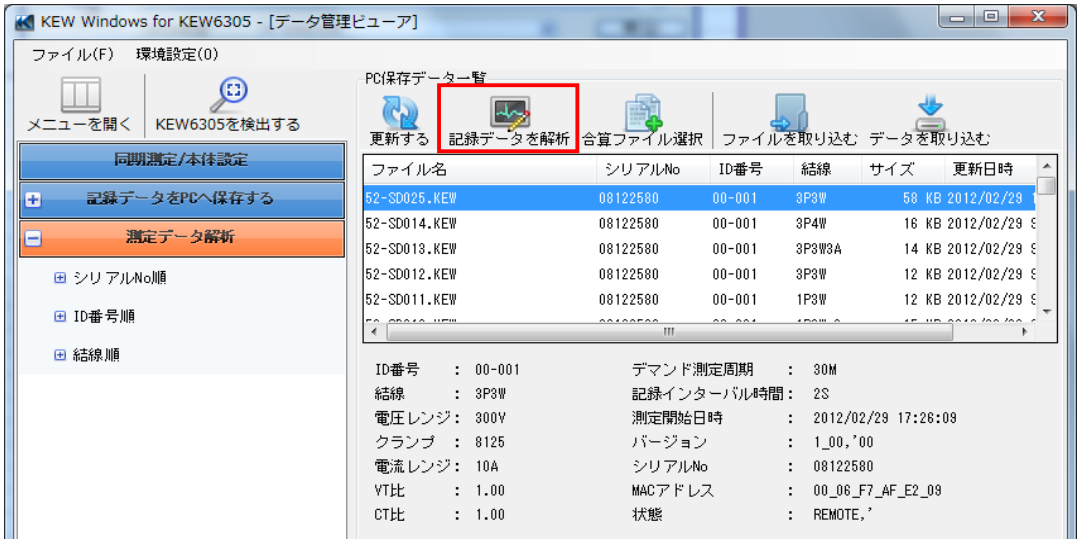


１８－３ PC経由で測定したデータの合算

1. メニュー画面の"記録データを解析する"を選択します。
   メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
   "メニューを開く"を選択すると表示されます。



2. PC経由で2台同期測定したファイルの内、どちらか１つを選択します。
   ファイルを選択した後"データ解析"ボタンを選択します。

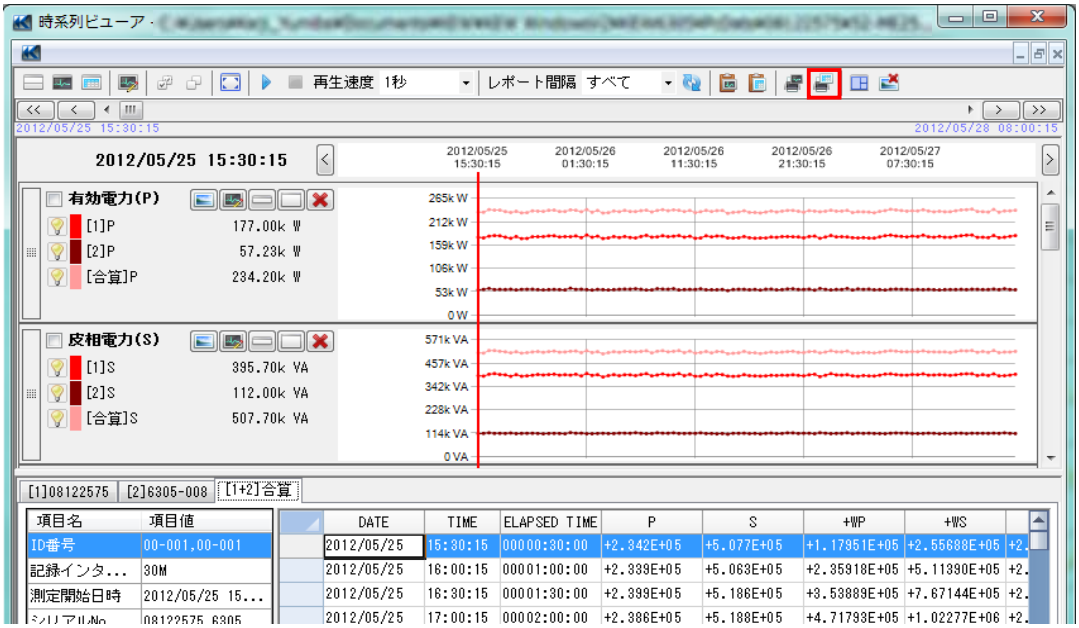


"データ解析"ボタンを選択すると合算表示した時系列ビューアが表示されます。

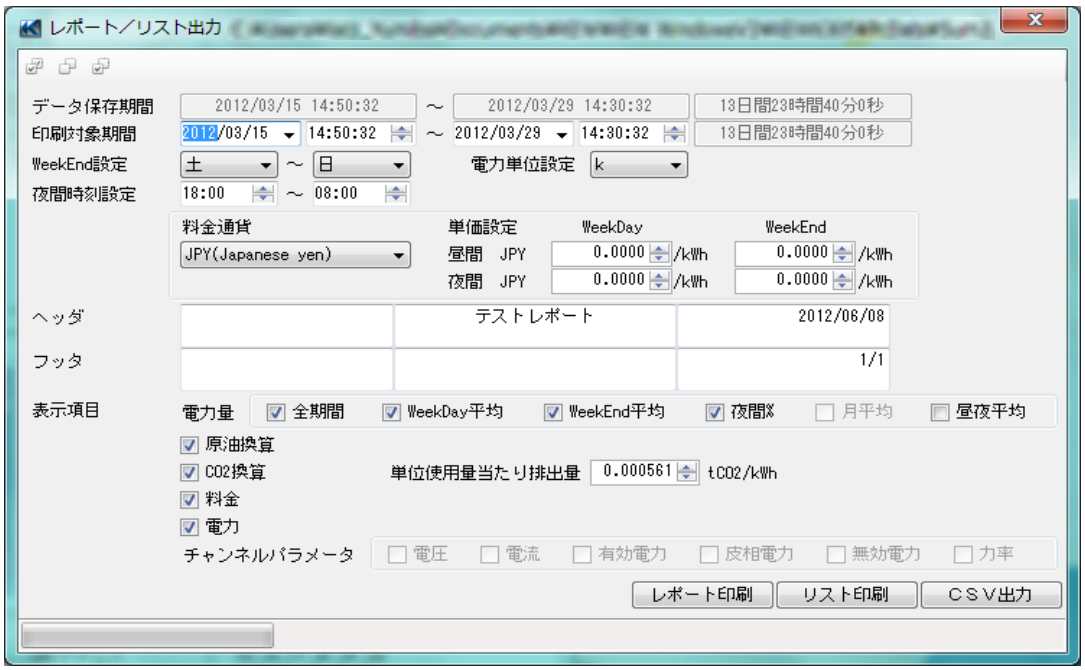


18－4 合算値の保存

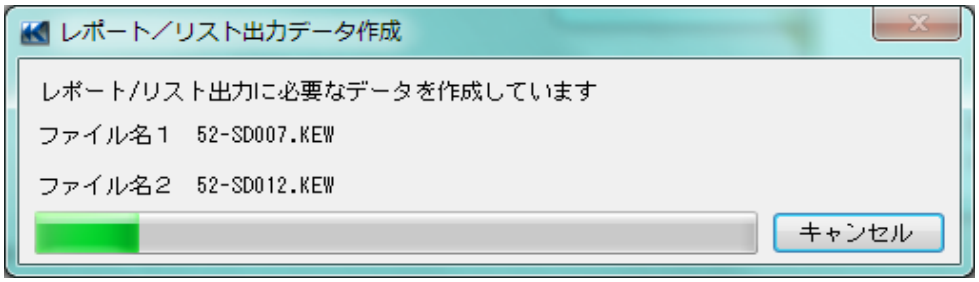
1. 合算シートを選択した状態でレポート/リスト出力ボタンを選択します。



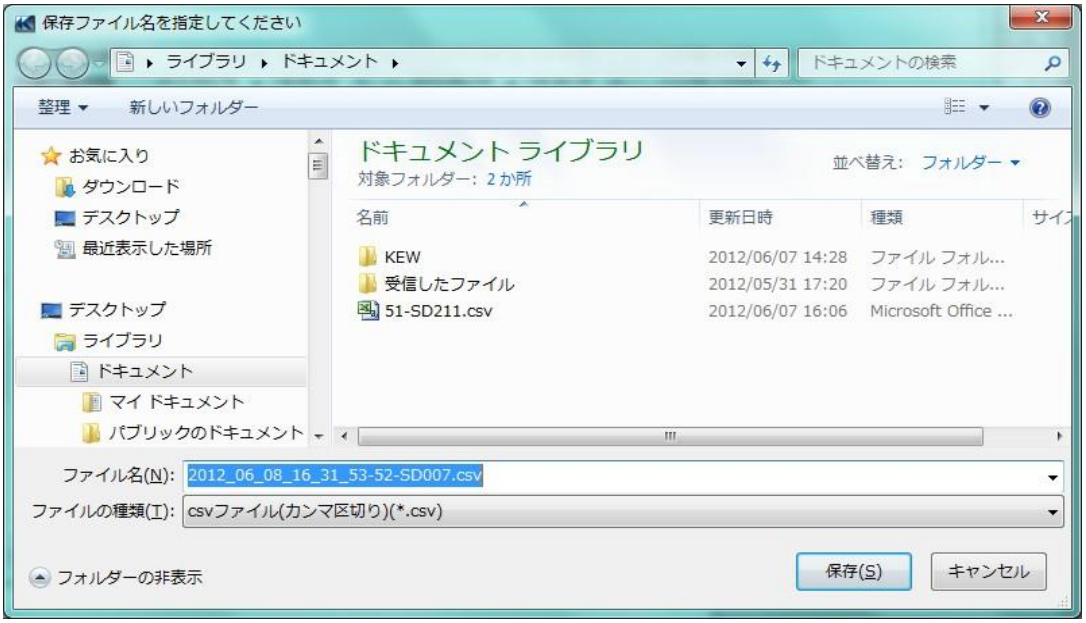
2. レポート/リスト出力ボタンを選択すると下記画面が表示されます。



ファイルサイズが大きい場合は、下記画面が表示されます。上記画面が表示されるまでお待ちください。



3. 2. の画面の"CSV出力"ボタンを選択してください。
"CSV出力"ボタンを選択すると、下記画面が表示されます。
保存場所、ファイル名を設定した後"保存"ボタンを選択するとCSVファイルを出力します。



CSV出力が終了すると下記画面が表示されます。
下記画面が表示されたら保存終了です。"OK"を選択して画面を閉じてください。



１８－５ 個別測定データ合算の注意点

1. 2つファイル選択するときに表示される"1"、"2"について
   ファイルを2つ選択したときに開始日時または、保存件数が異なる場合は
   ファイル１を基準に時系列ビューアを表示します。

2. 合算リスト左の測定環境を表示する項目について
   合算リスト左の測定環境を表示する項目には、ID番号、記録インターバル時間、
   測定開始日時、シリアルNoを表示します。
   ID番号、シリアルNoについては、ファイル１とファイル2の値を表示します。
   記録インターバル時間、測定開始日時にはファイル１の値が表示されます。
   下記表を参照ください。

	ファイル1シート	ファイル2シート	合算シート
ID番号	ファイル１の値	ファイル2の値	ファイル１の値,ファイル2の値
結線	ファイル１の値	ファイル2の値	----
電圧レンジ	ファイル１の値	ファイル2の値	----
クランプ	ファイル１の値	ファイル2の値	----
電流レンジ	ファイル１の値	ファイル2の値	----
VT比	ファイル１の値	ファイル2の値	----
CT比	ファイル１の値	ファイル2の値	----
記録インターバル時間	ファイル１の値	ファイル2の値	ファイル１の値
デマンド測定周期	ファイル１の値	ファイル2の値	----
測定開始日時	ファイル１の値	ファイル2の値	ファイル１の値
バージョン	ファイル１の値	ファイル2の値	----
シリアルNo	ファイル１の値	ファイル2の値	ファイル１の値,ファイル2の値
MACアドレス	ファイル１の値	ファイル2の値	----

3. 合算リストのDATE、TIME、ELAPSED TIMEの値について。
   合算リストのDATE、TIME、ELAPSED TIMEのセルにはファイル１の値が表示されます。

4. CSV出力したファイルのFILE ID、VERSION、INTERVAL、STARTについて
   CSV出力したファイルのFILE ID、VERSION、INTERVAL、STARTには
   ファイル１の値が表示されます。
   SERIAL NUMBER、ID NUMBERにはファイル１とファイル2の値が表示されます。
   CONDITIONにはファイル１とファイル2のファイル名が表示されます。

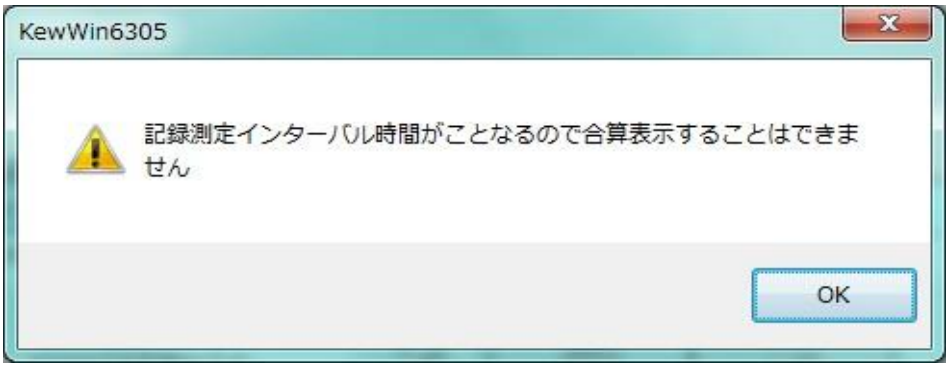
5. 選択したファイルの開始日時、または記録インターバル時間が異なる場合について

2つのファイルを選択して"データ解析"ボタンを選択したときに、測定開始日時、
記録インターバル時間、または両方が異なる場合には下記画面が表示されます。

測定開始日時が異なる場合



記録インターバル時間または、両方異なる場合



記録インターバル時間が異なる場合は、データ解析を行いません。
測定開始日時が異なる場合は、″OK″を選択するとデータ解析を行います。

19.　瞬時値測定ファイルについて

ここでは、瞬時値測定ファイルをCSVファイル出力する手順を説明します。

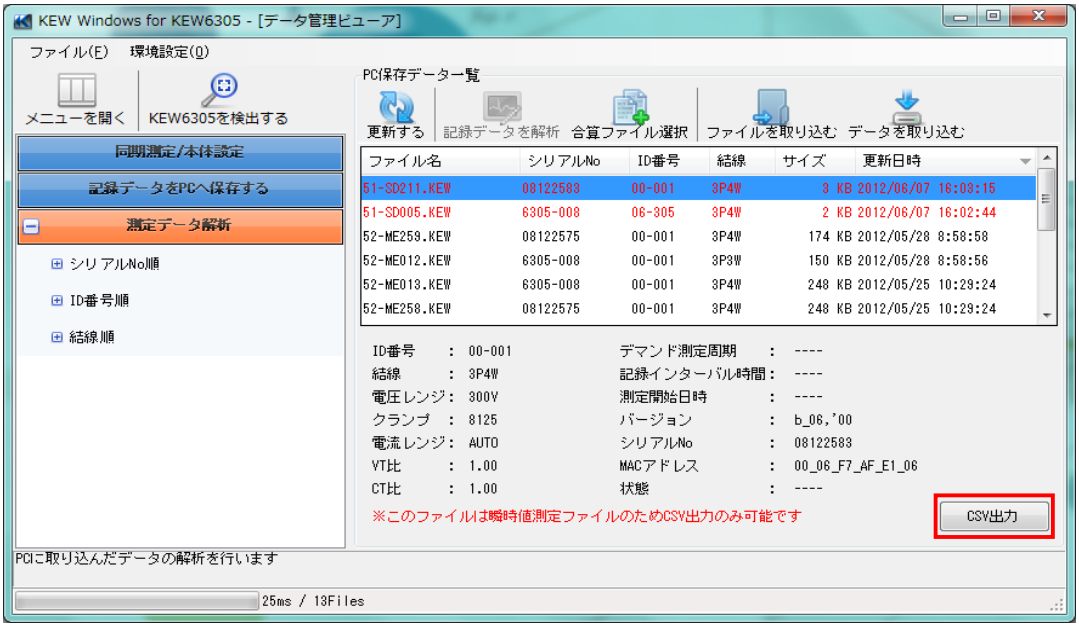
瞬時値測定ファイルはCSV出力のみ可能です。
データ解析ボタンは非選択状態となり選択することができません。

19－1 CSVファイル出力

1. メニュー画面の"記録データを解析する"を選択します。
   メニュー画面はアプリケーションの起動時、またはデータ管理ビューアの
   "メニューを開く"を選択すると表示されます。

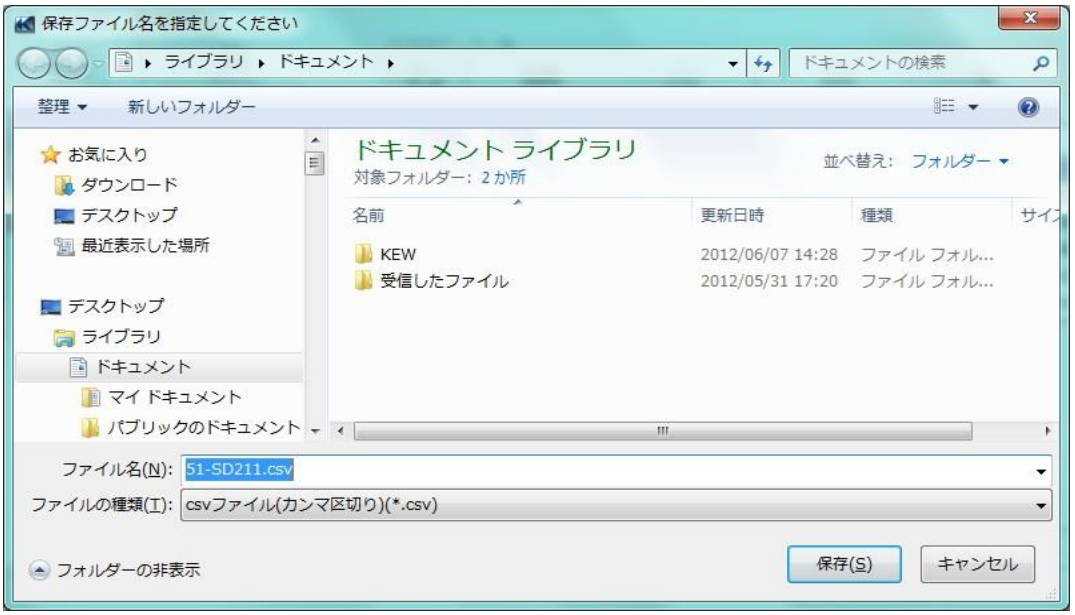


2. PC保存データー覧のファイルの中から瞬時値ファイルを選択します。
   瞬時値ファイルを選択すると"CSV出力"ボタンが表示されます。

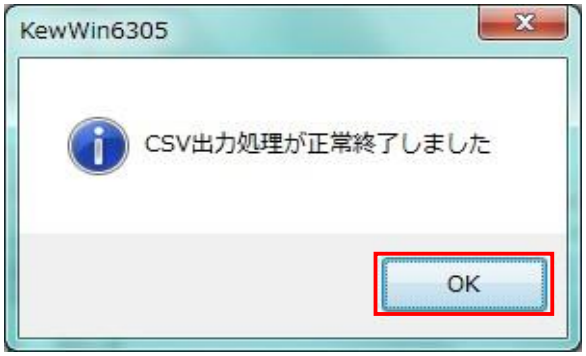


"CSV出力"ボタンは瞬時値測定ファイルを選択すると表示されます。
積算測定ファイルを選択している場合は表示されません。

3. ″CSVファイル出力″ボタンを選択すると、ファイル保存画面が表示されます。
保存する場所先、ファイル名を設定し″保存″ボタンを選択してください。



下記画面が表示されたらCSVファイル出力完了です。
″OK″ボタンを選択して画面を閉じてください。



20. こまったとき

ここでは、KEW Windows for 6305を使用していて、製品と接続できない、動作がおかしい、
など、考えられる原因と対処方法を説明しています。

＊ USBでPCと接続している状態で、"再検出"を選択してもKEW WindowsV2のモデルの欄にKEW6305が表示されない

USBケーブルで接続している場合は、一度PCからUSBを外し再度挿してください。
挿しなおしたら、"再検出"を選択してください。

上記の操作を行っても症状が改善されない場合は、USBドライバが
正しく認識されていない可能性があります。下記手順でドライバを再インストールしてください。

付属のCDをパソコンに入れ、CDドライブ上で右クリックし一覧の中から「開く」を選択してください。
表示された画面の中に「DRIVER」フォルダがあります。DRIVERの中にあるkewusb100_setup.exeを
起動させてインストールを開始してください。
インストール手順はインストールマニュアルを参照してください。

＊ BluetoothでPCと接続している状態で、KEW WindowsV2の接続状態の欄に"あり"が表示されない

Bluetoothで接続している場合は、ペアリングがされているか確認してください。
ペアリングの仕方については、お使いのBluetoothのマニュアルまたは、
スタートメニュー→すべてのプログラム→KEW→"6305ペアリング方法.pdf"を参照してください。

＊ USB接続している状態でKEW Windows for KEW6305でKEW6305本体と通信ができない

USB接続している状態で、同期測定、ダウンロード、本体設定などの通信処理が行えない場合は、
"KEW6305を検出する"を選択してください。その後、一度PCからUSBを外し再度挿してください。
挿しなおしたら、"KEW6305を検出する"を選択してください。
"記録データをPCへ保存する"の下に接続しているシリアルNoが表示されていることを確認してください。

＊ 同期・モニタリング測定において、グラフの更新が設定した間隔で更新されない

お使いのPCによっては環境設定で設定した更新間隔で更新されない場合があります。
（例：リアルタイム更新間隔を2秒と設定しているのにグラフの更新に3秒かかる）
現在グラフの更新にどれぐらい時間がかかるか、時系列ビューアの左下に記載されています。
単位はミリ秒です。
左下に記載されている時間より遅い更新間隔を設定してください。
左下に記載されている更新間隔を速くしたい時には、環境設定の"グラフ表示データ数"を少なくしてください。
"グラフ表示データ最大数"に大きい値を設定すると、左下の更新間隔が遅くなる場合があります。

＊ ファイルのダウンロード時間について

ファイルサイズが大きいほどダウンロードにかかる時間も長くなります。
ファイルサイズが大きい場合は、SDカードリーダなどを用いてPCにデータを取り込んでください。

USB転送速度	内部ﾒﾓﾘ3MBの転送約27秒
Bluetooth転送速度	内部ﾒﾓﾘ3MBの転送約10.5分

SDカードリーダを用いてファイルをPCに取り込む場合は、17. 測定ファイルの取り込みを
参照してファイルを取り込んでください。